

健康福祉学科教育課程

(令和2年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な履修科目						備考						
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		介護職員初任者研修	介護福祉士受験	社会福祉士基礎	メデイカルクラック	日商PC検定3級	介護予防運動		レインストラー	社会福祉士主任				
						前期	後期	前期	後期													
教 養 科	現代社会と人間	講		1	小平・大森		1															
	生活と情報	演	1		吉牟田	2								◎								
	ボランティア演習	演	1		関	2																
	コミュニケーション論	講	2		小平	2								◎								
	生活と社会	演	1		小平	2								◎								
	人間の尊厳と自立	講		2	吉牟田・関					2				◎								
	教養演習	演	1		専任全員	2								◎								
	現代社会と福祉	講	2		小平・関・中島	2								◎								
	レクリエーション概論	講		1	(岩上)		1							◎								
	レクリエーション活動援助法	演		1	(岩上)				2					◎								
健康	運動と健康	講	1		立島			1														
	健康スポーツⅠ	演	1		立島	2																
	健康スポーツⅡ	演		1	小椋					2												
外国語	英語	演		1	望月(スキャンラン)		2															
	キャンパス&ホームステイプログラム	演																				
小 計				10	7				14	4	1	2	0	4	0	0						
専 門 科 目	こころとからだのしくみ	医学一般Ⅰ	講	2		田淵	2							◎						◎		
		医学一般Ⅱ	講	2		石橋	2							◎	◎					◎	◎	
		心理一般	講		2	樋口			2						◎		◎					
		ターミナルケア論	講		2	中島						2			◎							
		医学一般Ⅲ	講		2	田淵			2						◎		◎				◎	
		発達と老化の理解	講	2		石橋	2								◎	◎		◎				
		認知症ケア論Ⅰ	講	2		(林浩)			2						◎	◎		◎				
		認知症ケア論Ⅱ	講		2	井上(串田)					2				◎						◎	
		障害者ケア論Ⅰ	講	2		中島			2						◎	◎		◎				
		障害者ケア論Ⅱ	講		2	中島					2				◎		◎					
		介護福祉分野	介護福祉論Ⅰ	講	2		毛利	2							◎	◎						◎
			介護福祉論Ⅱ	講	2		井上			2					◎	◎						◎
	高齢者福祉論Ⅰ		講	2		関				2				◎	◎	◎					◎	
	高齢者福祉論Ⅱ		講		2	関						2		◎	◎	◎					◎	
	障害者福祉論		講	2		関					2			◎	◎	◎					◎	
	介護予防論		講		2	小椋						2		◎		◎		◎				
	コミュニケーション技術Ⅰ		演	1		石橋	2							◎	◎							
	コミュニケーション技術Ⅱ		演	1		(山崎・宮口)	2								◎							
	生活支援技術Ⅰ		演	2		井上・毛利	4								◎	◎						
	生活支援技術Ⅱ		演	2		井上・毛利			4						◎	◎						
	生活支援技術Ⅲ		演		2	(松島・竹内)				4					◎							
	生活支援技術Ⅳ		実	1		(石黒)			3						◎	◎						
	生活支援技術Ⅴ		実		1	(川端)				3					◎							
	生活支援技術Ⅵ		演		1	毛利						2			◎							
	介護過程Ⅰ		演	1		井上・毛利	2								◎	◎						
	介護過程Ⅱ		演		1	井上・毛利			2						◎							
	介護過程Ⅲ		演		2	井上(介護系専任教員)				4					◎							
	介護過程Ⅳ		演		1	毛利(介護系専任教員)					2				◎							
	実習指導Ⅰ	演	1		毛利	2								◎								
	実習指導Ⅱ	演		1	井上			2						◎								
実習指導Ⅲ	演		1	井上				2					◎									
実習指導Ⅳ	演		1	毛利					2				◎									
基礎実習	実	2		毛利	*								◎									
介護計画実習	実		2	井上			*						◎									
介護過程実習	実		4	井上				*					◎									
総合実習	実		2	毛利					*				◎									
医療的ケア	医療的ケアⅠ	講		4	中島・松居					4				◎								
	医療的ケアⅡ	演		1	中島・松居						2			◎								

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な履修科目							備考					
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		介護職員 初任者研修	介護福祉士 受験	社会福祉 補入基礎	メディア アクリク ラック	日商 P C 検定 3 級	介護予防 運動 士 キャリア リスト	レイン スト ン グ イ ン ス ト ア ー		社会福祉 主事 任用				
						前期	後期	前期	後期													
						必 選	必 選	必 選	必 選													
専 門	福祉ビジネス分野	福祉ビジネスⅠ	講	1	小平			1														
		福祉ビジネスⅡ	講	1	小平・(林)			1														
		医療事務概論	講	1	小平・(小野)			1														
		介護事務概論	講	1	小平			1														
		情報処理演習	演	1	吉牟田			2						◎								
		医療・福祉とICT	講	2	吉牟田				2					◎								
		医療と介護の報酬請求	演	1	(小野・松島)				2					◎								
		医療秘書実務	演	1	小平				2					◎								
		富山型福祉特別講義	講	2	小平									◎								
		インターンシップ	演	1	小平				*					◎								
科 目	ソーシャルワーク分野	社会保障論	講	2	小平				2				◎							◎		
		児童家庭福祉論	講	2	明柴								◎								◎	
		地域福祉論Ⅰ	講	2	関								◎								◎	
		地域福祉論Ⅱ	講	2	関								◎								◎	
		相談援助の理論と方法Ⅰ	講	2	(村上)				2				◎									
		相談援助の理論と方法Ⅱ	講	2	(村上)					2			◎									
		相談援助演習Ⅰ	演	1	(室林)				2													
		相談援助演習Ⅱ	演	1	(室林)						2											
		キャリア	介護福祉総合演習Ⅰ	演	1	専任全員																
			介護福祉総合演習Ⅱ	演	1	専任全員																
キャリアデザイン演習	演		1	小平				2														
総合支援	総合的研究	演	2	専任全員			2	2														
小 計				32	66			20	0	15	14	8	35	0	28							
計				42	75			34	4	16	16	8	39	0	28							

）開講
せず

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - ところとからだのしくみ		担当教員名	田淵 英一					
実務経験	1987年より、富山県内の内科病院・精神神経科病院・重度心身障害者施設等にて非常勤医師として勤務してきた経験を活かし、臨床現場で行われている実際の医学一般について解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	医学一般III					
関連科目	医学一般II								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）を知り、生体機能を維持するために各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。								
学習目標	介護技術の基礎となる人体の構造や機能の基本的知識を習得し、理解する。また、介護サービスにおける安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学								
テキスト・ 参考書等	佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。								
LO-2	介護士が関わる解剖生理学系の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。								
LO-4	授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の”理”の中で生きていることを理解できる。								
LO-5	人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100							100	
LO-1	30							30	
LO-2	10							10	
LO-3	30							30	
LO-4	20							20	
LO-5	10							10	
備考	試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。 採点した答案用紙を、成績入力後に返却している。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	からだのしくみの理解 オリエンテーション、生命とは、進化論に基づくヒトのなりたち	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	からだのしくみの理解 遺伝子によるタンパク質合成のしくみ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	90分
第3回	からだのしくみの理解 運動系 骨、骨格、関節	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	からだのしくみの理解 運動系 筋(骨格筋と平滑筋)、ヒトの運動の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	からだのしくみの理解 神経系 構造と働き、大脳皮質の機能の概要	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	からだのしくみの理解 神経系 自律神経、感覚 感覚受容の仕組み、感覚の種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	からだのしくみの理解 感覚 視覚、聴覚の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	からだのしくみの理解 循環系 心臓の構造と機能、血液およびリンパ液の流れ	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	からだのしくみの理解 血液 血液の成分、赤血球・白血球(免疫)・血小板の働き	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	からだのしくみの理解 体液 組成・水分の出納バランス、呼吸器系 肺の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	からだのしくみの理解 消化器系 消化器官の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	からだのしくみの理解 代謝 栄養素と代謝	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	からだのしくみの理解 泌尿器系 腎臓 尿の生成・排泄の仕組み	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	からだのしくみの理解 体温調節 核心温・体温調節の仕組み、生殖と老化 生殖器の構造と機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	からだのしくみの理解 内分泌（ホルモン）系 内分泌臓器の種類、構造、機能	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	300分

授業科目名	医学一般			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - こととからだのしくみ		担当教員名	石橋 郁子					
実務経験	看護師の資格取得後、総合病院5年、看護教育13年、保健所（臨任職員）1年8か月従事したことをもとに、介護福祉士養成教育に必要なこととからだのしくみ、また、コミュニケーション技術について基礎的な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	高校までに習得した身体の構造や働きに関する基本的な知識		後継科目	医学一般					
関連科目	医学一般、生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修修了科目、介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格指定科目（選択）								
授業の概要	日常生活を送るために欠かせない基本的な行動（動作）に関することとからだのしくみを理解する。								
学習目標	1. からだとこととからのしくみを全体的に概説できる。 2. 睡眠、移動、食事等の日常生活動作の基本的な仕組みを説明できる。								
キーワード	からだ、ことと、解剖・生理、日常生活、機能低下								
テキスト・ 参考書等	介護福祉養成講座11 こととからだのしくみ 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	からだとこととからのしくみを理解し、睡眠、移動、食事等の日常生活に必要な行為の基本的な仕組みに関する知識を身につける								
LO-2									
LO-3	生活支援がどこにどの程度なぜ必要かを判断する能力を身につける。								
LO-4	こととからだのしくみを学ぶことに対して熱心に意欲を持って臨むことができ、積極的に発言することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	40				10			100
LO-1	50	20							70
LO-2									
LO-3		20							20
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ころとからだのしくみ からだのしくみ ・序章「健康」とは何か ・健康な生活について考える。生きている証とバイタルサインについて理解できる	
	【予習】テキスト2-11を読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する	60分
第2回	ころとからだのしくみ からだのしくみ ・バイタルサイン(生命徴候) 体温、脈拍、呼吸、血圧をグループで測定する。 ・安静と活動の変化について日常生活支援技術との関連性について理解する	
	【予習】前回の資料を読みポイント調べておく	30分
	【復習】グループで体験して、分かったことをプリントで復習する	60分
第3回	ころとからだのしくみ ころのしくみを理解する 第1章 人間の欲求やころのしくみの基本について理解する	
	【予習】テキストP14-23までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第4回	ころとからだのしくみ ころのしくみを理解する 第1章 ころとは何か脳のしくみ、記憶、思考 適応規制のついてグループで学習する	
	【予習】テキスト24-37を読んでおく	30分
	【復習】分からぬ言葉、内容についてまとめておく	60分
第5回	ころとからだのしくみ 休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ 第8章 ・休息と睡眠のしくみを理解する ・心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響と生活支援技術の関係性を理解する	
	【予習】テキスト240-261を読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第6回	ころとからだのしくみ 移動に関連したころとからだのしくみ 2章 3章 ・からだのしくみ からだの部位、機能と役割について理解する ・移動のしくみ 基本的な姿勢について理解する	
	【予習】テキスト40-82を読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第7回	ころとからだのしくみ 移動に関連したころとからだのしくみ 2章 3章 ・心身の機能低下が移動に及ぼす影響について理解する ・移動と生活支援の関連性について理解する 観察ポイント 連携ポイント	
	【予習】テキスト100-109までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第8回	ころとからだのしくみ 身じたくに関連したころとからだのしくみ 第4章 ・みじたくに関連したからだのしくみを理解する 感覚器のしくみを体験する(五感) ・心身の機能低下と身じたくに及ぼす影響について理解する 観察ポイント、連携ポイントを理解する	
	【予習】テキスト112-136を読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第9回	ころとからだのしくみ 食事に関連したころとからだのしくみ 5章 ・食事に関連したからだのしくみを理解する。飲み込むしくみを体験する ・心身の機能低下が食事に及ぼす影響について理解する	
	【予習】テキスト148-161までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分
第10回	ころとからだのしくみ 食事に関連したころとからだのしくみ 5章 ・心身の機能低下が食事に及ぼす影響と生活支援技術の関連性を理解する ・食事に關する変化と観察ポイント、連携ポイント	
	【予習】テキスト156-169までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニツッパパーで確認する。	60分

第11回	<p>こころとからだのしくみ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 第6章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、身体の清潔衣保持に関連したこころとからだのしくみを理解する ・入浴の効果と身体への影響について理解する 	
	【予習】テキスト172～182まで読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニッツペーパーで確認する。	90分
第12回	<p>こころとからだのしくみ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 第6章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能低下が、入浴、清潔保持に影響することを理解する ・入浴、清潔保持と生活支援技術との関連性を理解し、その注意点と観察ポイント、連携ポイントを学ぶ 	
	【予習】テキスト184～205までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニッツペーパーで確認する。	60分
第13回	<p>こころとからだのしくみ 排泄に関連したこころとからだのしくみ 第7章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつに関連したこころとからだのしくみを理解する ・排便、排尿のしくみを理解する 	
	【予習】テキスト208～218までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニッツペーパーで確認する。	60分
第14回	<p>こころとからだのしくみ 排泄に関連したこころとからだのしくみ 第7章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能低下が排泄に及ぼす影響について理解する ・排せつと生活支援技術の関連性を理解し、その観察ポイント、連携ポイントを学ぶ 	
	【予習】テキスト221～238までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返り、わからない言葉、内容をまとめておく。質問、ミニッツペーパーで確認する。	120分
第15回	<p>こころとからだのしくみ まとめ 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 第9章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「死」に対するこころの理解 ・終末期から危篤状態死後のからだについて理解する 観察ポイントを理解する 	
	【予習】テキスト264から299まで読んでおく	0分
	【復習】全授業を振り返り、わからない言葉、内容について調べて試験までに確認をしておく	0分

授業科目名	心理一般			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - こころとからだのしくみ - こころとからだのしくみ			担当教員名	樋口 康彦				
実務経験									
開講時期	1年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	なし				
関連科目	コミュニケーション論、人間の尊厳と自立								
資格等 取得との関連									
授業の概要	現代ほど人間の心理とそれが導き出す様々な行動のメカニズムが注目されている時はない。本講義では心理学の概論書に必ず出てくる基本事項について日常生活で体験する様々な出来事を例に挙げながら、できるだけ平易に説明していく。								
学習目標	心理学の入門書に記載されているような基本事項、性格、感覚、記憶などについて基本的な事柄を理解し、日常生活に役立てられるようにする。								
キーワード	性格、知能、記憶、学習								
テキスト・ 参考書等	特になし。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	心理学の基本的な分野である欲求、知能、性格、感情、学習、記憶、認知と思考、感覚、知覚について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		10			30			100
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5	60		10			30			100
備考	Aの30は授業態度とする。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。心理学とは何か。心理学の研究対象および心理学の研究方法について。	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	30分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第2回	欲求・動機づけ。欲求のメカニズムと種類について。	
	【予習】欲求および動機づけについて、本や心理学辞典などで調べる。	60分
	【復習】欲求のメカニズムについて考える。	60分
第3回	欲求・動機づけと行動。欲求充足のメカニズムについて。	
	【予習】欲求・動機づけと行動について、本で調べる。	80分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第4回	知能とは何か。知能の測定法および知能と創造性。知能に影響を与えるのは遺伝か環境か。	
	【予習】知能について、本や心理学辞典などで調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第5回	性格について。性格研究の歴史的展望および性格の測定方法。	
	【予習】性格研究の歴史的展望を、本や心理学辞典などで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第6回	性格形成の要因(1)。遺伝か環境か。	
	【予習】性格形成における遺伝と環境の影響について本やインターネットを用いて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第7回	性格形成の要因(2)。性格形成における社会的要因について。	
	【予習】性格形成における社会的影響について本やインターネットを用いて調べる。	60分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	60分
第8回	感情について。喜怒哀楽。感情のモデルおよび現代の感情理論について。	
	【予習】感情喚起のモデルについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第9回	学習について。レスポナント条件づけとオペラント条件づけ、学習の形成、モデリングなど。	
	【予習】学習成立の条件について考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第10回	記憶(1)。記憶の種類および記憶のメカニズムについて。	
	【予習】記憶のメカニズムについて考える。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分

第11回	記憶(2)。記憶の忘却と変容および効果的な記憶法について。	
	【予習】記憶の忘却と変容について本で調べる。	90分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	90分
第12回	認知と思考。脳の中での複雑な情報処理および心的イメージについて。	
	【予習】心的イメージについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第13回	感覚について。刺激と五感について。	
	【予習】五感の働きについて調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第14回	知覚(1)。図と地および錯覚について。	
	【予習】様々な錯覚が生じる原因について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分
第15回	知覚(2)。形・空間の知覚について。後期テストについての説明。	
	【予習】ヒトが形・空間を知覚する時の特徴について調べる。	120分
	【復習】授業内容についてノートを見て確認する。	120分

授業科目名	ターミナルケア論			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - ことごとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般 ~ 、心理一般、発達と老化の理解		後継科目	なし					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(領域ことごとからだのしくみ)								
授業の概要	人生の最終段階にある人と家族を支援するため、「死のとらえ方」「死」に対することごとの理解、終末期から危篤状態、死後のからだの理解、終末期における医療職との連携について学び、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を理解する学習とします。終末期の定義、統計からみた看取りを取り巻く状況、日常生活を支えるケア、身体症状とケア、意思決定支援、家族ケア、スピリチュアルケア、グリーフケア、疾患別終末期ケアについて								
学習目標	1. 人生の最終段階における「死」のとらえ方、「死」に対することごとについて理解する。2. 日常生活におけるケアについて理解する。3. 身体症状に応じたケアについて理解する。4. 意思決定支援について理解する。5. 終末期から危篤時におけるからだやことごとの変化、死亡時のからだの変化について理解する。6. 終末期医療の現状と医療職との連携について理解する。								
キーワード	死の概念、ターミナル、終末期医療、死の判定、医療統計								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉全書「ことごとからだのしくみ」小坂橋喜久代・松田たみ子編 メヂカルフレンド社 参考書 SHOEISHA「介護現場で使える看取りケア便利帳」介護と医療研究会著、医学書院「死を前にした人にあなたは何かができますか？」小澤竹俊								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人口動態統計、終末期の定義、終末期から死亡時のことごとからだの変化、医療職との連携について基礎的知識がある。								
LO-2	人生の最終段階の人へのケアを実施するための基礎的なコミュニケーション技術をもっている。								
LO-3	終末期の人の身体症状、疾患、本人及び家族の意向から適切なケアを考え、判断する力が十分ある。								
LO-4	終末期のケアについて関心をもち、本人及び家族のケアについて調べたりする意欲や態度がある。								
LO-5	生と死について文献やグループワーク等を通して、自己の死生観に気づき、他者の死生観にも共感し受容する姿勢がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		50			10			100
LO-1	30		10						40
LO-2			10						10
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、人生の最終段階における「死」の捉え方 人口動態統計（死亡場所、死因、年次推移）、終末期の定義とケアの概念、全人的苦痛	
	【予習】平均寿命、死因統計について調べてくる	60分
	【復習】死因、死亡場所等を振り返り、終末期の定義についてノートにまとめる。	60分
第2回	人生の最終段階における「死」の捉え方 看取りケアの現状、QOD、最期までのステージとチームケア	
	【予習】生と死について自分の考えをノートにまとめる。	60分
	【復習】最期までのステージとチームケアについてノートまとめる。	60分
第3回	死に対するこころの理解(死に対するこころの変化、死の受容、家族の心の変化等)	
	【予習】キューブラー＝ロスの死の受容プロセスを調べておく。	60分
	【復習】死を前にした人に自分として何ができるか考える。	60分
第4回	意思決定支援 スピリチュアルケア	
	【予習】終末期の意思決定支援ガイドラインに目を通しておく	60分
	【復習】意思決定支援について振り返りノートをまとめておく。	60分
第5回	家族ケア 家族の死に対する受容と終末期のニーズと支援	
	【予習】終末期の家族の心理と支援について考えをまとめておく。	60分
	【復習】家族支援についてノートを整理する。	60分
第6回	看取りケアの進め方 説明と同意 看取りケアの流れ 看取りケア実施までの手順	
	【予習】看取りケアについて調べておく。	60分
	【復習】看取りケアについて自分だったら本人及び家族にどのように説明し同意を得るか考えをまとめる。	60分
第7回	身体症状とケア 疼痛、呼吸困難、消化器症状へのケア	
	【予習】終末期の疼痛、呼吸困難について調べておく。	60分
	【復習】疼痛、呼吸困難、消化器症状のケアについてノートをまとめておく。	90分
第8回	身体症状とケア 全身倦怠感、浮腫、せん妄、不眠、うつケア	
	【予習】終末期の全身倦怠感、浮腫、せん妄について調べておく。	60分
	【復習】全身倦怠感、浮腫、せん妄、不眠、抑うつケアについてノートをまとめておく。	60分
第9回	疾患別終末期ケア 悪性腫瘍、認知症	
	【予習】悪性腫瘍と認知症について疾患の特徴を調べておく。	90分
	【復習】悪性腫瘍の方のケア、認知症の方のケアについて考えノートをまとめる。	90分
第10回	疾患別終末期ケア 脳血管障害、神経系難病	
	【予習】脳血管障害、神経系難病の疾患の特徴を調べておく。	60分
	【復習】脳血管障害の方、神経系難病の方のケアについて考えをまとめノートを整理しておく。	60分

第11回	終末期から危篤時のからだの変化とケア	
	【予習】教科書P318～P321を読んでおく。	60分
	【復習】本時を振り返り、終末期から危篤時のケアのポイントをまとめておく。	60分
第12回	死亡時のからだ 脳死と植物状態 死後の身体的変化（死体の冷却、死斑、死体硬直、乾燥など）、エンゼルケア	
	【予習】教科書P322～P325を読んでわからない言葉を調べておく。	60分
	【復習】死亡時のからだ、死後の身体的変化についてまとめておく。	60分
第13回	終末期医療とトータルペイン	
	【予習】終末期の意味について調べてくる。	60分
	【復習】本時の授業内容を整理する。	90分
第14回	終末期の医療職との連携	
	【予習】教科書P331～P336を読んでわからない言葉を調べておく。	60分
	【復習】終末期の医療との連携について各機関や専門職の役割をまとめておく。	60分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】1回～14回までの内容を振り返る。	60分
	【復習】死の三徴候、死の定義、植物状態、危篤時のからだの変化、死亡時のからだの状態、終末期医療などについて、まとめをする。	60分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W113-10				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - 発達と老化の理解			担当教員名	石橋 郁子				
実務経験	看護師の資格取得後、総合病院5年、看護教育13年、保健所（臨任職員）1年8か月従事したことをもとに、介護福祉士養成教育に必要なところとからだのしくみ、また、コミュニケーション技術について基礎的な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	特になし			後継科目	医学一般、心理一般				
関連科目	医学一般、医学一般、心理一般								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 初任者研修修了								
授業の概要	発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得し、高齢者の健康について学習する科目である。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うところとからだの変化を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	「発達と老化の理解」秋山昌江他 最新介護福祉士養成講座12 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	成長と発達の考え方、発達理論、形態的成長や身体機能、精神運動機能、心理社会的発達に関する基礎知識を身につける。また、老化に伴うところとからだの変化と日常生活や高齢者に多い病気や症状に関する基本的な知識を理解できる								
LO-2									
LO-3	人間にとって、また社会において老年とは何かについて自己の考えを発表することができる。また、要支援・要介護高齢者に接した時にどう対応すればよいかを考えることができる。								
LO-4	高齢者の生き方に関心をもち人間にとって、自ら課題に取り組む姿勢がある。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	20		10	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2									
LO-3			10		10				20
LO-4			10			10			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 人間の成長と発達 第1章 ・成長と発達用語の定義、生命誕生のドキュメント、 ・自分の成長と発達について振り返る	
	【予習】テキスト2～16までを読んでおく	60分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する	30分
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 人間の発達段階と発達課題 第2章 ・成長と発達の原則、成長発達に影響する因子、	
	【予習】テキスト20～46	30分
	【復習】本時を振り返りノートを整理する。	30分
第3回	人間の成長と発達の基礎的理解 人間の発達段階と発達課題 第2章 ・心理的機能の発達 発達理論	
	【予習】テキスト35～65までを読んでおく	30分
	【復習】学習範囲を振り返り、分からない語句等、内容についてまとめておく	90分
第4回	人間の成長と発達の基礎的理解 身体機能の成長と発達、心理的機能・社会的機能の発達	
	【予習】テキスト55～67までを読んでおく	30分
	【復習】人間の発達についてその特徴をテキスト、資料から見直しておく。	30分
第5回	老化にともなう心と体の変化 老年期の特徴と発達課題 ・ライフサイクルのなかの老年期 ・老年期の定義 老化の特徴 一次老化 二次老化	
	【予習】テキスト第3章を読んでおく。80歳から90歳以上で社会に活躍している高齢者について調べまとめておく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第6回	第4章 老化に伴うところからだの変化と生活 老化と加齢の違いを理解する 老化の学説老年期の発達課題について理解する	
	【予習】テキスト80～106までを読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第7回	老化に伴うところからだの変化と生活 老化に伴う身体的な変化と生活への影響 第4章 ・身体の生理機能の低下を理解する ・フレイルについて理解する	
	【予習】テキスト110～117までを読んでおく	30分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第8回	老化に伴うところからだの変化と生活 身体的機能の低下と日常生活への影響 ・骨格、筋系の変化、脳神経系の変化、感覚器系の変化について理解する	
	【予習】テキスト114～126までを読んでおく	0分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	0分
第9回	老化に伴うところからだの変化と生活 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ・血液・循環器系呼吸器系、消化器系、腎泌尿器系、生殖系、内分泌系、免疫系について理解する	
	【予習】テキスト126から136までを読んでおく。	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第10回	老化に伴うところからだの変化と生活 老化に伴う身体的な変化生活への影響についてまとめ(ミニテスト) ・老化に伴う心理的な変化と生活への影響について理解する ・知覚機能の変化、記憶機能の変化、性格の変化、動機づけについて理解する	
	【予習】テキスト143～162まで読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分

第11回	老化に伴うこころとからだの変化と生活 老化に伴う社会的変化と生活への影響 ・ 社会の中での課題について理解できる ・ 高齢者の社会活動について理解できる グループワーク	
	【予習】テキスト164から183まで読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第12回	老化に伴うこころとからだの変化と生活 高齢者と健康 第5章 ・ 健康長寿に向けての健康について理解できる ・ 高齢者のかかりやすい疾病の症状や特徴について理解する	
	【予習】テキスト188から200まで読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第13回	老化に伴うこころとからだの変化と生活 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 第6章 ・ 骨格系、筋系の疾患について理解できる ・ 脳、神経系の疾患について理解できる	
	【予習】テキスト202～223まで読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第14回	老化に伴うこころとからだの変化と生活 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 ・ 皮膚感覚器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、腎泌尿器系他の疾患について理解できる	
	【予習】テキスト228～265まで読んでおく	60分
	【復習】授業を振り返りノートを整理する。	30分
第15回	老化に伴うこころとからだの変化と生活 高齢者に多い症状・病気 高齢者に多い症状と日常生活における留意点 ・ 内分泌系、口腔疾患、悪性新生物、感染症、精神疾患等について理解できる ・ まとめ ミニテスト	
	【予習】テキスト266から287まで読んでおく	60分
	【復習】すべての授業を振り返りノートを整理して、試験までまとめておく	30分

授業科目名	医学一般			科目コード	W113-20				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - 発達と老化の理解		担当教員名	田淵 英一					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般I		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患について理解する。								
学習目標	生活習慣・老化に伴う代表的な疾患について、原因、症状、治療を知り、理解する。								
キーワード	病気、医療、原因、症状、治療								
テキスト・ 参考書等	新・社会福祉士養成講座 1 人体の構造と機能及び疾病 (福祉士養成講座編集委員会 中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療を説明できる。								
LO-2	介護士が関わる医療の専門技術や技法を習得している。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる患者の精神、肉体、経済、家族、環境の変化など、包括的に疾患を捉えることができる。								
LO-4	病気が発生する原因、予防、治療について探求する意欲をもてる。								
LO-5	医療現場において、他の医療スタッフと協働して医療に従事することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	30								30
LO-2	10								10
LO-3	30								30
LO-4	20								20
LO-5	10								10
備考	試験は記述式です。 疾病に関する原因、症状、治療法を中心に出题します。 医学一般前期での医学基礎知識が所々で必要となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 身体と精神の成長・発達：健康の捉え方、疾病と障害の概要 メタボリックシンドロームの背景・概念・定義、生活習慣病の背景・概念・種類	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	代謝系 糖尿病、脂質異常症、痛風	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	消化器系 胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)、過敏性腸症候群	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	消化器系 肝炎・肝硬変、胆石症、膵炎	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	腫瘍 良性腫瘍の種類・原因・症状・治療、悪性腫瘍の種類・原因・症状・治療	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	循環器系・血管系 虚血・充血・うっ血、血栓・塞栓、動脈硬化、高血圧	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	心疾患 狭心症、心筋梗塞	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	泌尿器系 尿失禁、排尿困難、前立腺肥大、腎炎、尿路結石	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第9回	内分泌系 甲状腺機能亢進症・低下症、クッシング病・症候群、先端肥大症・巨人症・小人症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	脳・精神疾患 脳出血、脳梗塞、認知症、統合失調症、感情障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第11回	呼吸器系 慢性閉塞性肺疾患、肺炎 運動器系 骨粗鬆症、骨折、変形性関節症	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	血液系 貧血、血友病 免疫系 アレルギー、膠原病	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	老年性疾病 廃用症候群、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイルティ、褥瘡、低栄養、脱水、嚥下障害	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	重症心身障害 脳性麻痺、進行性筋ジストロフィー	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	感染症 結核、インフルエンザ、AIDS、日和見感染の原因、症状、治療	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-10				
科目区分	専門科目 - こととからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	林 浩靖					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化、高齢者福祉論、介護実習、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。最新の知見を踏まえて認知症の人の心理を理解し、さまざまなケア方法を知ることによって自信を持って適切な対応ができるよう、様々な教材、ディスカッションも交えて実践力に繋がります。								
学習目標	1.認知症ケアの歴史や現状、国の施策を理解する 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴を学び、それに伴うこととからだの変化を理解する。 3.認知症の人の特性を理解し、日常生活における支援・ケアの基本について学び、共感的に理解することができる。								
キーワード	認知症 中核症状 行動・心理症状（BPSD） パーソン・センタード・ケア 認知症大綱								
テキスト・ 参考書等	「認知症の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状や歴史、認知症の原因疾患・中核症状・周辺症状、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業には前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢が常時あり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		25			25			100
LO-1	30		5			5			40
LO-2	10		5			5			20
LO-3	10		5			5			20
LO-4			5			5			10
LO-5			5			5			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症を取り巻く現状 実習体験を振り返り、認知症に関する授業前の自身の認知症の方への理解の状況を把握 自身の事例をワークにまとめ、グループ毎に発表し、意見交換を行う 「認知症」の意義と定義を学ぶ	
	【予習】本シラバスを読み、科目の概要や目的を抑える	60分
	【復習】自身の実習体験と他の人の体験をふりかえり、今後どのような知識が必要となるのかをまとめる 「認知症」の言葉の定義や意味を確認する	120分
第2回	認知症を取り巻く現状 認知症ケアの歴史について学ぶ(新オレンジプラン、認知症大綱など)	
	【予習】テキストP100からP109を読んでおく	60分
	【復習】テキストと配布資料より、痴呆から認知症への移り変わりの背景を確認し、現状と今後の方向性について理解を深める	120分
第3回	医学的側面から見た認知症の中核症状についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP32からP39を読んでおく	60分
	【復習】配布資料をもとに、認知症の中核症状について説明できるようにする	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎 行動・心理症状(BPSD)についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP47からP61までを読んでおく	60分
	【復習】中核症状と行動・心理症状の違いがわかり、説明ができる それぞれに含まれる症状について理解し、説明ができる	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解する	
	【予習】テキストP72からP76までを読んでおく	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解し、説明ができる	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「レビー小体型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP76からP78までを読んでおく	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」について理解する	
	【予習】テキストP79からP83までを読んでおく	60分
	【復習】「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第8回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「若年認知症」「MCI」について理解する	
	【予習】テキストP83からP86までを読んでおく	60分
	【復習】「若年認知症」「MCI」について理解し、説明ができる	120分
第9回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症の診断と、認知症の評価スケールについて理解する 実際に評価スケールを実施してみる(生活障害のスケールも含む)	
	【予習】テキストP40から46、P62からP71を読んでおく	60分
	【復習】授業の資料を再確認し、認知症の診断基準や評価スケールについて理解し、説明することができる	120分
第10回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症類似の状態について知る。「健忘」「せん妄」「うつ病」について理解をする	
	【予習】テキストP19からP21を読んでおく	60分
	【復習】「健忘」「せん妄」「うつ病」について、それぞれの「認知症」との違いがわかり、説明ができる	120分

第11回	認知症の治療 「薬物療法」「非薬物療法」について理解する。	
	【予習】テキストP87からP92までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の中核症状、行動・心理症状に対する「薬物療法」「非薬物療法」について理解し、説明できる。	120分
第12回	認知症の予防について理解する。	
	【予習】テキストP93からP97までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の予防についてどのようなことが効果的なのか理解し、説明できる。	120分
第13回	認知症者に対するコミュニケーション方法、適切な環境調整について理解する	
	【予習】テキストP181からP187、P245からP256までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の進行に伴い変化する、認知症の人の心理、コミュニケーションの特徴、関わる際の留意点、環境調整などを理解する	120分
第14回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 「パーソン・センタード・ケア」について理解をする	
	【予習】テキストP140からP148までを読んでおく	30分
	【復習】授業の資料を再確認し、「パーソン・センタード・ケア」の考え方を理解し、説明することができる	120分
第15回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 総合的なまとめ DVD（認知症介護に関する内容）	
	【予習】これまで学習したテキスト範囲、資料を確認する	30分
	【復習】DVDの各場面ごとの主人公の思いや周囲の人の関わりをワークシートにまとめる	180分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W115-11				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	井上 理絵 串田 美代志					
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人個々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を展開する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な行動と心理、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り一人ひとりの症状に合った対応方法を考える判断力を有している。								
LO-3									
LO-4	認知症高齢者施策に興味・関心を持ち、自分の住む地域のサポート体制の実態について、自ら調べることができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や家族の思いに共感し、適切な関わり方について理解する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	20		40				110
LO-1	20	10							30
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症当事者の人の気持ちを推察する	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】テキストP123～P137までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP138演習	90分
第3回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症の人の行動の根拠を考える	120分
	【復習】認知症ケアに関する論文を読む	60分
第4回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（4）事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（2） 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第6回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（3） 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分

第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式	
	【予習】センター方式シートを理解する	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 ひもときシート	
	【予習】ひもときシートについて調べる	120分
	【復習】ひもときシートを理解する	60分
第15回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の進行に応じた介護	
	【予習】	90分
	【復習】園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法などについて理解を深める	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-20				
科目区分	専門科目 - ことごとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、医学一般、発達と老化の理解		後継科目	障害者ケア論					
関連科目	生活と社会、介護の基本、生活支援技術、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害福祉の基本的理念、障害福祉制度等について理解する。 それぞれの障害特性に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2	障害のある人の尊厳を踏まえ、障害特性に応じたケアについて説明できる。								
LO-3	障害の特性、支援方法を踏まえ、利用者がよりよく生活するための介護を考える事ができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し、質問・意見・グループ討議に自分の考えを発言できる。								
LO-5	障害者の尊厳を保持し、関わりを深めようとする姿勢を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	40	30		10			100
LO-1		20	10	10					40
LO-2			10	10					20
LO-3			10	10					20
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	その他は、授業態度、グループワークでの発言等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の基礎理解 第1節障害の概念と第2節障害者福祉の基本理念	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	60分
	【復習】障害の概念について資料・ノートを整る。	60分
第2回	第3節障害者福祉に関する諸制度	
	【予習】テキストをよく読み、障害者福祉に関連する制度についてわからないところを調べておく。	60分
	【復習】障害者福祉の基本理念、障害者福祉に関連する制度について資料・ノートを整る。	60分
第3回	障害の基礎的理解 第4節障害者福祉制度と介護保険制度	
	【予習】テキストをよく読み、障害者福祉制度と介護保険制度について分からない言葉を調べておく。	60分
	【復習】障害者福祉制度と介護保険制度について資料・ノートを整る。	30分
第4回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 2章第1節 障害のある人の心理について理解する	
	【予習】テキストをよく読み、障害のある人の心理についてわからなことを調べておく。	60分
	【復習】障害のある人の心理について資料・ノートを整る。	60分
第5回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 身体障害その他の障害	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	60分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整る。	60分
第6回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 家族への支援	
	【予習】テキスト第5章家族への支援を読む	60分
	【復習】家族の支援について資料・ノートを整る。	60分
第7回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第2節肢体不自由(運動機能障害)を理解する	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	60分
	【復習】肢体不自由のある人の心理面・生活面からあ障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整る。	60分
第8回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第4節聴覚・言語障害の種類、原因、身体的・心理的・社会的側面の特性をとらえ、支援方法を理解する。	
	【予習】聴覚・言語障害の原因・種類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	60分
	【復習】聴覚・言語障害のある人の特性を踏まえ、支援方法について資料・ノートを整る。	60分
第9回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第3節・5節 視覚障害・重複障害のある人の原因・特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】視覚障害・重複障害、原因についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。目が見えないことからくる生活の支障を考える。	60分
	【復習】視覚障害、重複障害の特性に応じた支援について、生活上の留意点や制度・社会資源の活用についてまとめ、資料・ノートを整る。	60分
第10回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節内部障害のある人(心臓機能障害)の原因、治療方法、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】心臓機能障害の原因、治療方法、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。からだのしくみ心臓の機能について調べる。	60分
	【復習】心臓機能障害のある人の特性と支援方法について資料・ノートを整る。	60分

第11回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ呼吸機能を予習する。	60分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	30分
第12回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（腎臓機能障害）の原因、治療・管理、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】腎臓機能障害の原因、治療・管理、特性についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	60分
	【復習】腎臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	30分
第13回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（膀胱・直腸臓器機能障害、小腸機能障害）の症状、特性を知り、支援方法を理解する	
	【予習】膀胱・直腸障害、小腸機能障害の症状、特性についてについてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	60分
	【復習】膀胱・直腸臓器機能障害、小腸機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	60分
第14回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（HIV・肝臓機能障害）の症状と特性、支援方法について理解する	
	【予習】HIV・肝臓機能障害の症状・特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	60分
	【復習】HIV・肝臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	60分
第15回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 第2章第7節 重症心身障害の特性と生活、支援方法について理解する	
	【予習】重症心身障害の偏印と分類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	30分
	【復習】重症心身障害者の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	60分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W115-21				
科目区分	専門科目 - ところとからだのしくみ - 認知症・障害の理解		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目	医学一般 、 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	それぞれの障害に関する医学的・心理的知識を習得し、特性に応じた支援を理解する。 障害のある人の地域のサポート体制と多職種連携・協働について理解する。 家族の支援と介護負担に軽減について理解する。								
キーワード	知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病、多職種連携、家族支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害のある人の心理や身体機能に関する医学的基礎知識を理解し、正しく説明することができる。								
LO-2	障害のある人の尊厳を踏まえ、障害特性に応じたケアについて説明できる。								
LO-3	障害の特性、支援方法を踏まえ、利用者がよりよく生活するための介護を考える事ができる。								
LO-4	障害のある人の課題を自分のこととして考え、その解決にむけて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	障害の有無に関わらずすべての人を受容、共感することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	30			10			100
LO-1	10	20							30
LO-2	10								10
LO-3	10		10						20
LO-4			10			10			20
LO-5	10		10						20
備考	その他は授業態度、受講後の感想など								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、障害者ケア論 の振り返りと障害者ケア論 の学習目標を理解する。	
	【予習】障害の概念と障害福祉の基礎理念について障害者ケア論 のテキスト・資料を確認してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、障害者ケア論 で学ぶことについてノートを整理する。	90分
第2回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害とは、障害の原因、障害の特性に応じた支援、ライフステージに応じた関わりについて理解する	
	【予習】テキストP160-P166ページをよく読み、知的障害について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害者の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、知的障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第4回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害とは、障害の種類、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】 テキストP172～P182をよく読んで精神障害の種類と特性について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理し、精神障害者の支援について考える。	90分
第5回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、精神障害への支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害とは、障害の原因、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する	
	【予習】テキストP184～P195について、よく読んで高次脳機能障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 : 高次脳機能障害の支援の実際を理解する（特別講義）	
	【予習】前回の授業を振り返り、高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第8回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 発達障害とは、障害ごとの特性を理解する。	
	【予習】テキストP192～P202をよく読み、発達障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 生活の特性と生活支援、保護者の支援、支援機関について理解する。	
	【予習】テキストP203～P209をよく読み、発達障害者の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、資料等からノートを整理する	90分
第10回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病とは、おもな難病の理解、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】テキストP210～P219をよく読んで、難病について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分

第11回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病支援の実際(特別講義)	
	【予習】テキストをよく読み、こころからのしくみ(脳、神経)を学習する	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	第4章 連携と協働 第1節 地域のサポート体制について理解する(特別講義)。	
	【予習】テキストP224～P237をよく読んで、地域のサポート体制について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第13回	第4章 連携と協働 第2節 チームアプローチについて理解する(特別講義)。	
	【予習】テキストP238～P246をよく読んで、チームアプローチについて調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、チームアプローチについて考える。	90分
第14回	第5章 家族への支援 第1節 家族への支援について理解する。	
	【予習】テキストP261～P261をよく読んで家族の支援について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、家族の支援について考える。	90分
第15回	第5章 家族への支援 第2節 家族の介護力の評価と介護負担軽減について理解する。まとめ	
	【予習】テキストP269～P274をよく読んで、家族の介護力の評価について調べてくる。	90分
	【復習】家族の介護力を踏まえた支援について考える。定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護福祉士を取り巻く状況と介護福祉士誕生の背景、介護の対象となる高齢者や障害者の特性、介護実践の場、そして介護従事者の倫理を、テキストや資料を用いて説明します。介護の意義と役割及び専門性、自立の意味や自己決定、ICFの考え方の理解を目指します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の目的・理念、介護の社会化等、介護福祉に関連する重要な用語を説明できる。 2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、自分の意見を述べるができる。 								
キーワード	介護福祉、介護福祉士、社会福祉士及び介護福祉士法、介護の社会化、尊厳、自立支援								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2	自立を支援する環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法の基礎的知識を有する								
LO-3	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	本講義で習得した介護の基本となる知識について、新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を有する。								
LO-5	授業評価アンケートを通じて、毎回の授業を振ることにより介護福祉の基礎的な知識を有する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			10		10	100
LO-1	50		10						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5								10	10
備考	<p>その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。</p> <p>その他 C については、授業評価アンケートを通じて、毎回の授業の振り返りに点数を与える</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	職務の理解 介護の概念と多様なサービスの理解(居宅・施設)	
	【予習】本シラバスを読み、本講義の全体を把握すること。参考図書介護福祉辞典「福祉」の用語を調べておく。	30分
	【復習】福祉の用語を狭義と広義の両面から理解する。それぞれの生活の場について理解し、生活を支える方法を考える	60分
第2回	職務の理解 介護保険と多様なサービスの理解(介護保険外・社会資源)	
	【予習】テキストP2～P22まで読んでくる	30分
	【復習】介護保険の概要を理解し、介護保険外の市町村独自のサービスについて調べる	60分
第3回	自立に向けた介護 居宅・施設での仕事の内容 DVD「職務の理解」 訪問介護・通所介護・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・特別養護老人ホーム	
	【予習】テキストP23～35を読んでくる。	30分
	【復習】施設の特性と、サービス内容、仕事の内容について理解を深める	60分
第4回	介護福祉士を取り巻く状況「介護の成り立ち、歴史、概念」	
	【予習】テキストP35～45を読んでくる。	30分
	【復習】日本での介護の歴史と概念についてテキスト、ノートを基に整理する 介護問題の背景について整理する	60分
第5回	社会福祉士及び介護福祉士法と介護の基本理念	
	【予習】テキストP47～56とP125～P134まで読んでくる	30分
	【復習】介護の理解と、基本理念について学びを深め、説明できるようにする	60分
第6回	尊厳を支える介護(自立支援の考え方・介護におけるICF)	
	【予習】P138からP154まで読んでくる	0分
	【復習】ICFやストレングスの視点の理解を深められるように整理する	0分
第7回	尊厳を支える介護(QOLとノーマライゼーション)	
	【予習】 テキストP71から84まで読んでくる	30分
	【復習】生活とは何かを考え、ノーマライゼーションを説明できるようにする	60分
第8回	人権と尊厳を支える介護(高齢者虐待)	
	【予習】P86からP107まで読んでくる	30分
	【復習】高齢者虐待法、高齢者の養護者支援について事例を基に考えをまとめる	60分
第9回	人権と尊厳を支える介護(身体拘束)	
	【予習】テキストP110からP124まで読んでくる	30分
	【復習】身体拘束ゼロ作戦、個人の権利を守る制度の概要について復習する	60分
第10回	自立支援とリハビリテーションについて	
	【予習】テキストP155～P175まで読んでくる	0分
	【復習】自立支援とリハビリテーションの基本的な考え方について説明できるように整理する	0分

第11回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 残存能力の活用、意欲を高める介護	
	【予習】自立支援について復習してくる 介護予防の意義を調べる テキストP176から184まで読んでくる	30分
	【復習】残存能力の活用、意欲を高める支援について考えをまとめる	60分
第12回	自立に向けた介護 自立支援と介護予防 個別性の尊重と個別ケア、重度化防止、生活不活発病について	
	【予習】生活不活発病について調べる テキストP185からP199まで読んでくる	30分
	【復習】介護予防の考え方を深め、レポートにまとめる	60分
第13回	ケアマネジメントと多職種連携	
	【予習】ケアマネジメントの内容を調べる	30分
	【復習】ケアマネジメントと多職種連携介護過程の違いについて説明できるようにする	60分
第14回	介護実践における連携 他職種の理解とチームケア 介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケアの方向性	
	【予習】地域包括ケアの内容について調べる テキストP60からP76まで読んでくる	45分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	45分
第15回	介護実践における連携 介護に関わる職種	
	【予習】介護支援専門員、サービス提供責任者、チームケアに含まれる職種を調べる	45分
	【復習】公的なサービスを行うために必要な役割分担について考えをまとめる	45分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W121-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を展開する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	高齢者福祉論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護従事者の倫理、介護保険制度とケアマネジメント、安全の確保とリスクマネジメント、感染予防や腰痛予防などについて知識と理解を深める。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジメントおよび介護保険制度の概略を説明できる。 2. 介護従事者の倫理と安全について概説できる。 3. 介護が必要な人を支える仕組みについて概説できる。 								
キーワード	ケアマネジメント、介護従事者の倫理、安全の確保、リスクマネジメント								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 3 「介護の基本」 中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座 4 「介護の基本」 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアマネジメントや介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、介護従事者の倫理に関する基本的知識を有する。								
LO-2	ケアマネジメントや介護従事者の倫理に関する基本的知識を組み立てて考える力								
LO-3	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を有する。								
LO-5	介護を必要とする人を理解し、尊厳を大切に、自立支援や倫理的配慮ができる力								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		20			40			100
LO-1	40								40
LO-2						10			10
LO-3			20						20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護従事者の倫理 介護職の倫理社会的責任	
	【予習】テキスト「介護の基本」P110～P124まで読み、理解する	30分
	【復習】介護従事者の倫理と道徳、普遍的倫理判断の4つの視点について、テキストやノートを基に整理する。	30分
第2回	日本介護福祉士会倫理綱領 介護福祉士としての倫理的必要性 プライバシーの保護と人権	
	【予習】テキスト「介護の基本」P125～P135まで読む	45分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領の内容を理解し、覚える	45分
第3回	介護保険制度の背景と目的 生活を支えるフォーマルサービスとインフォーマルサービス	
	【予習】介護保険制度のしくみについて復習してくる テキスト「介護の基本」P48～P67	0分
	【復習】介護保険制度、障害者総合支援法、私的サービスの違いについてテキスト、ノートを基に整理する。	0分
第4回	介護保険制度と地域連携 介護と医療の連携	
	【予習】他職種連携について復習する テキスト「介護の基本」P68～P82	0分
	【復習】地域で人を支える必要性と具体的支援方法について考えをまとめる	0分
第5回	自立に向けた介護 医行為と介護の連携・役割	
	【予習】医行為について調べる	0分
	【復習】医行為の具体的な内容について復習し、介護職の行為についてまとめる	0分
第6回	自立に向けた介護 リハビリテーション	
	【予習】テキスト「介護の基本」P156からP175を読む	0分
	【復習】リハビリテーションについて概観する	0分
第7回	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	【予習】リスクマネジメントに意味を調べる テキスト「介護の基本」P200～P230	0分
	【復習】安全とリスクマネジメントの関係について具体的にイメージし復習する	0分
第8回	介護従事者の安全 感染予防・腰痛予防	
	【予習】感染予防・腰痛予防について調べる テキスト「介護の基本」P230～P254	0分
	【復習】介護従事者の安全と健康についてまとめる	0分
第9回	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み サービス提供とチームケア	
	【予習】テキスト「介護の基本」P183～P198	0分
	【復習】グループワークの内容を整理する	0分
第10回	介護の仕事の専門性	
	【予習】専門性、介護のキーワードをよく考える	0分
	【復習】理想の介護福祉士像について考えをまとめる	0分

第11回	介護を必要とする人の暮らしと地域包括ケアシステム	
	【予習】地域包括ケアシステムと生活圏域について調べる	0分
	【復習】自分の理想とするケアシステムについて考える	0分
第12回	介護を必要とする人の暮らしと地域包括ケアシステム	
	【予習】自分の理想とするケアシステムについて考える	0分
	【復習】理想と現実の差異について考え、今後のケアシステムの在り方についてまとめる	0分
第13回	介護を必要とする人の理解	
	【予習】生活のニーズとは何かを考える	0分
	【復習】生活ニーズと個人ケアについて自分の意見をまとめる	0分
第14回	介護実践における連携	
	【予習】「その人らしさ」とは何か、具体的事例をもとに考えをまとめる	0分
	【復習】介護職の環境と仕事内容について整理する	0分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所、理解不足の箇所を把握すること。	0分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し、定期試験に備えること。	0分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、介護過程 ・		後継科目	介護福祉論 ・ 、介護過程 ・ 、介護福祉総合演習 ・					
関連科目	介護福祉論 ・ 、生活支援技術 ・ 、社会保障、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	高齢者支援の基本理念や高齢者理解の視点に基づき、実際に展開する上での各専門職との連携や協働を効果的に進める方法について考察する。また、現在のわが国における社会的課題である介護の概念やその支援展開の方法について学ぶ								
学習目標	高齢者支援におけるソーシャルワークアプローチの展開方法について理解する 高齢者支援の展開過程や各局面における支援者の展開にいて習得する 介護の概念や介護過程の展開についての知識を得る								
キーワード	高齢者支援、ケアマネジメント、介護								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士養成講座編集委員会編「高齢者に対する支援と介護保険制度」（中央法規）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識／理解力】高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる								
LO-2	【技術・実践力】介護従事者に求められる技術や実践力に関する能力を身に備える。								
LO-3	【分析・判断力】介護従事者に求められる倫理観や高齢者支援に関する知識を基に、介護場面で遭遇する課題を解決するうえで必要な分析・判断力を有している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会的状況や高齢者福祉の動向などに関心をもち、専門職として意欲的な態度をもつことができる。								
LO-5	【全人的総合力】超高齢社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	60								60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	期末試験（筆記）で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の社会的理解	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢期における生活の変化と適応、家族と社会関係、社会参加と生きがい、高齢者の安全と差別について復習する	90分
第2回	高齢者の身体的理解と精神的理解	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】加齢に伴う身体機能の変化・基礎運動能力の変化、高齢者へのイメージ、高齢者の心理的特徴、老年期の心の病気を復習する	90分
第3回	高齢者の総合的理解、少子高齢社会と社会的問題、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】生涯発達の意味、高齢者の人生と社会変動、死とスピリチュアリティ、少子高齢社会、人口高齢化の地域間格差についてまとめる。	90分
第4回	少子高齢社会と社会問題の2、高齢者を取り巻く諸問題	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢者を取り巻く家族の状況、高齢者の健康問題、高齢者の介護問題、高齢者の経済的問題など理解する	90分
第5回	高齢者を取り巻く諸問題の2、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢者の生活意識の問題、	90分
第6回	高齢者保健福祉の起源と生成	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢者の古来からの定義、高齢者は過去にどれくらい存在したか、姥捨て山伝説と高齢者の遺棄、老後の生活、古代から近世への高齢者福祉の歴史、近代の高齢者福祉について理解する	90分
第7回	高齢者保健福祉制度の発展	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】第二次世界大戦後から昭和30年代の高齢者保健福祉、昭和40～60年代の高齢者保健福祉、平成の高齢者保健福祉について理解する	90分
第8回	高齢者保健福祉の法体系、老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢社会対策基本法、高齢社会対策大綱の概要、老人福祉法、老人福祉計画、優良老人ホーム、高齢者医療確保法、高齢者医療制度をめぐる動向と課題について復習する	90分
第9回	高齢者虐待防止法（特別講義）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】高齢者虐待防止法の目的、意義、特徴、定義、通報の義務などポイントを整理する。	90分
第10回	関係法規について	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】バリアフリー新法（改正）、高齢者住まい法、権利擁護と成年後見、社会参加と生涯学習について理科を深める。	90分

第11回	介護保険制度の基本的枠組み	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】介護保険制度の全体像、介護保険制度の目的と理念、介護保険法改正の背景と方向性について理解を深める	90分
第12回	介護保険制度の基本的枠組み2	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】介護保険財政、保険者と被保険者、介護保険給付の対象者、要介護認定のプロセス、保険給付、介護報酬について理解する	90分
第13回	介護保険制度の仕組み 地域支援事業、介護保険事業計画、サービスの質を確保するための仕組み、介護保険サービスにおける専門職の役割と実際など	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】地域支援事業、介護保険事業計画と、介護サービスの質を確保するための仕組み、専門職の役割と実際について理解する	90分
第14回	介護保険サービスの体系 居宅・施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービスについて	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】居宅サービス、住宅改修サービス、施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービスについての理解を深める	90分
第15回	前期のまとめとふりかえり	
	【予習】1回から14回までのテキスト範囲、配布資料と該当する部分の国試ナビを見てくる	90分
	【復習】国試ナビを使って前期の学びを確認する。練習問題をもとに前期の学習を振り返る	90分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高齢者福祉論、社会保障、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論、生活支援技術、社会保障、認知症ケア論、障害者ケア論、介護過程、介護過程、介護福祉総合演習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護の対象となる高齢者・障害者の特性、介護実践の場の特性を踏まえて、高齢者を支援する組織と役割、高齢者支援の方法と実際について学習する。								
学習目標	高齢者保健福祉制度を体系的に把握し、介護保険制度の基本的理解やサービスの体系について習得する								
キーワード	高齢者支援組織 高齢者支援方法 介護予防								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士要請講座編集委員会 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 新・社会福祉士養成講座13 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる								
LO-2									
LO-3	グループで意見交換することで高齢者支援に対する視点を共有し、高齢者福祉制度の内容について理解できる								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4									
LO-5									
備考	筆記試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	行政機関の役割、指定サービス事業者・国保連の役割、地域包括支援センターの組織体系と役割、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】国・都道府県・市町村の役割、指定サービス事業者の役割、国保連の役割、地域包括支援センターの目的と設置主体・活動の実際・職員配置・運営協議会についての理解を深める	90分
第2回	社会福祉協議会、ボランティア団体・非営利民間活動、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】社協と社会福祉法の関係、社協がこれまで果たしてきた役割と活動の実際、事業型社協、社協による小地域福祉活動、日常生活自立支援事業、NPOならびにNPO法への理解を深める	90分
第3回	高齢者支援の方法、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】高齢者理解の方法、個人・家族に対する相談援助、グループを活用した相談援助、地域を活用した相談援助、ケアマネジメント、介護予防ケアマネジメント、高齢者支援における留意点についてまとめておく。	90分
第4回	介護保険法における連携と実際	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】テキストの事例について自分の考えを深める	90分
第5回	公開セミナー（福祉・介護フォーラムを読み替え）	
	【予習】介護福祉士のこれからの役割について調べてくる。	90分
	【復習】レポートをまとめる。	90分
第6回	専門職の役割と実際、専門職による協働、専門職の倫理	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】専門職の役割と協働、専門職の倫理についてまとめておく。	90分
第7回	介護の概念と範囲、介護の理念	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護の概念と範囲、介護の実践構造、介護の目的価値・手段的価値、専門職倫理について自分の考えをまとめる。	90分
第8回	介護の対象、介護予防の概念、今後に向けた介護人材確保対策	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護の対象者、利用者の理解、生活の理解と家族支援、介護活動の場の理解、介護保険制度改正と介護予防、介護予防の対象と基本的な考え方、これからの介護予防、介護人材の推計、求められる介護人材のキャリアパス、介護人材確保対策の状況を整理する。	90分
第9回	介護過程の概要、介護過程の展開技法	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】介護計画、アセスメントの視点と対象、事実と情報、介護過程の展開の実際などをまとめておく。	90分
第10回	自立に向けた介護、家事における自立支援、身支度・移動・睡眠の介護、食事・口腔衛生の介護、入浴・清潔・排せつの介護	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】いろいろな生活支援技術についてまとめておく。	90分

第11回	認知症ケア1	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】認知症の理解、認知症の症状と認知症介護、認知症の人とその家族を支えるに関して整理しておく。	90分
第12回	認知症ケア2	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】新オレンジプラン、認知症ケアの実際について整理しておく。	90分
第13回	終末期ケア、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】終末期ケアをめぐる概念の変遷、高齢者の終末期の特徴、高齢者の終末期ケアの基本的な考え方、高齢者の終末期ケアの具体的展開、終末期ケアの実際についてまとめておく。	90分
第14回	住環境、近未来の高齢者福祉問題	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】家族との関係や居住環境、高齢者に対する住環境整備、高齢者の住宅問題、在宅生活継続の住環境整備と課題についてまとめておく。	90分
第15回	後期のふりかえり	
	【予習】該当する国試ナビのページに目を通してくる。	90分
	【復習】国試ナビを使って理解を深める	90分

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目	社会保障論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解します。障害者福祉制度の発展過程についても学びます。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む。）について理解を持ちます。								
学習目標	障害者総合支援法の背景及び目的がわかる。障害者総合支援法のしくみの基礎的理解ができる。障害者総合支援法における組織、団体の機能と役割をとらえられる。								
キーワード	障害者総合支援法、障害者基本計画、新障害者プラン、障害者権利条約、障害者差別解消法、障害者虐待防止法								
テキスト・ 参考書等	中央法規 新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識 / 理解力】障害者福祉の経緯や障害者観の変遷、制度の発展過程などを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】障害者に対する法制度と支援の仕組みを説明できる。								
LO-3	【分析・判断力】障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境のあり方について考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】障害者の福祉・介護需要の実態や、障害者の地域移行や就労の実態など広く関心を深められる。								
LO-5	【全人的総合力】社会的包摂の社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態、バリアフリー、障害者虐待、親亡き後問題、きょうだいへの支援	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、わからない用語は調べておく。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第2回	障害概念と特性、障害者の福祉・介護需要の実態、	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第3回	障害者の地域移行や就労の実態、居住、就学、高齢化、介護需要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第4回	障害者福祉制度の発展過程、障害者福祉の理念、障害観の変遷、障害者の権利条約と障害者基本法	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。障害者を取り巻く4つの障壁に関して、具体例を考えてくる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第5回	障害者総合支援法の目的、障害支援区分の判定の仕組みとプロセス、支給決定の仕組みとプロセス	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第6回	財源、障害福祉サービスの種類、障害者支援施設の種類、補装具・住宅改修の種類、	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第7回	自立支援医療、地域生活支援事業、苦情解決、審査請求、その他	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第8回	国・市町村・都道府県の役割、	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第9回	指定サービス事業者の役割、国民健康保険団体連合会の役割、労働関係機関の役割、教育機関の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第10回	相談支援専門員の役割、サービス管理責任者の役割、居宅介護従業者の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分

第11回	医療関係者との連携、精神保健福祉士との連携、障害程度区分判定時における連携、サービス利用時における連携、労働関係機関関係者との連携、教育機関関係者との連携	
	【予習】資料を復習してくる。	30分
	【復習】資料・ノートを整理する。	60分
第12回	相談支援事業所の組織体系、相談支援事業所の活動の実際	
	【予習】難病の種類を予習してくる。	30分
	【復習】国試ナビを使っておさらいしておく。	60分
第13回	身体障害者福祉法の概要、知的障害者福祉法の概要、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	60分
第14回	発達障害者支援法の概要、障害者基本法の概要、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	60分
第15回	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の概要、障害者の雇用の促進等に関する法律の概要	
	【予習】説明できない語句を調べる。	30分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	60分

授業科目名	介護予防論			科目コード	W121-15				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	なし					
関連科目	医学一般 ～ 、高齢者・障害者の心理 ・ 、障害者ケア論 ・ 、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 社会福祉主事(任用資格)指定科目								
授業の概要	高齢者の生活と運動、介護予防に関する基礎的な知識を理解します。リハビリテーションの考え方と基礎的知識をふまえたリハビリテーションの実際を具体的に学習します。病院・施設・在宅で行われるリハビリテーションの特徴を理解し、専門職との連携を学びます。オムニバス方式です。								
学習目標	高齢者の健康と運動について介護予防と関連させて理解します。リハビリテーションの理念と基礎原則を理解します。ここからからの障害の程度とその影響を理解します。リハビリテーションの展開過程について理解します。								
キーワード	介護予防、機能訓練、リハビリテーション								
テキスト・ 参考書等	なし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	リハビリテーションの理念、展開過程、基礎原則を理解する。障害の程度とその影響を理解し日常生活自立支援及び、社会生活能力の維持拡大への援助について理解する。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	リハビリテーションに関する動向に関心を持ち、積極的に授業に臨むことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた介護 高齢者の健康と運動	
	【予習】シラバスをみておく	90分
	【復習】リハビリテーション理念の展開 障害がある人の見方と変遷、 ICIDHとICFの違い リハビリテーションの種類	90分
第2回	自立に向けた介護 介護予防と運動	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】介護予防における介護福祉士の役割	90分
第3回	自立に向けた介護 リハビリテーションの考え方	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】リハビリテーションの理念	90分
第4回	自立に向けた介護 リハビリテーションと介護	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】配布資料	90分
第5回	自立に向けた介護 リハビリテーションの実際	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】リハビリテーション介護の目的 配布資料	90分
第6回	自立に向けた介護 障害別リハビリテーションの実際(1)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】障害の形態、機能訓練	90分
第7回	自立に向けた介護 障害別リハビリテーションの実際(2)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】パーキンソン病の特徴、移動介助、リウマチの特徴、脊髄損傷の特徴、大腿骨頸部骨折術後の注意点	90分
第8回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】遊びリハビリテーションの考え方、目的 日常生活につながる遊びリテーションを計画する	90分
第9回	自立に向けた介護 施設におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】施設リハビリテーションの考え方、流れ	90分
第10回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(1)	
	【予習】前回の資料、ノート類をみておく	90分
	【復習】維持期リハビリテーションサービス、訪問、通所リハビリテーションのついて	90分

第11回	自立に向けた介護 医療におけるリハビリテーション(2)	
	【予習】地域リハビリについて調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを資料で振り返る。	90分
第12回	自立に向けた介護 在宅におけるリハビリテーション	
	【予習】在宅で過ごす高齢者について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第13回	自立に向けた介護 地域リハビリテーション	
	【予習】地域リハビリ施設について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第14回	自立に向けた介護 リハビリテーション専門職との連携	
	【予習】医療職・リハビリ専門職について調べてくる。	90分
	【復習】本時で学んだことを振り返る。	90分
第15回	自立に向けた介護 福祉用具、住居の改造 福祉のまちづくり	
	【予習】福祉用具・住宅改修を調べてくる。	90分
	【復習】今まで学習したことを整理し、期末試験に備える。	90分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	石橋 郁子						
実務経験	看護師の資格取得後、総合病院5年、看護教育13年、保健所（臨任職員）1年8か月従事したことをもとに、介護福祉士養成教育に必要なことからだのしくみ、また、コミュニケーション技術について基礎的な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、介護職員初任者研修								
授業の概要	1 介護におけるコミュニケーションの意義と目的、介護技術とコミュニケーションの関係性。2 介護福祉士に求められるさまざまなコミュニケーション技法。3 コミュニケーション障害の理解、障害に応じたコミュニケーションの技法。4 チームにおけるコミュニケーションの意義と目的。記録、報告・連絡・相談、会議。これらを演習を通して理解できるようにする。								
学習目標	介護福祉士に求められる専門性とコミュニケーション技術の関係を明らかにしながら、介護場面における幅広いコミュニケーション技術の理解を目指すとともに、社会福祉援助技術の能力を身につけます。								
キーワード	傾聴 受容 共感 リフレ ミングトーク コミュニケーション障害 チームコミュニケーション 記録								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座「5 コミュニケーション技術」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術に関する基礎知識を身につける。								
LO-2	利用者や家族などに対し、基本技術を身につけ、適切なコミュニケーションができる。								
LO-3	事例から、利用者理解を踏まえ、介護場面に求められるコミュニケーション技術の判断ができる。								
LO-4	受講カードにその日の授業内容を正しくふり返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5	事例検討、グループワーク等に積極的に参加し、協働で成果に取り組むことができる。介護の対象者の全体像を理解しようとし、介護観を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		15		10	5			100
LO-1	50								50
LO-2					10				10
LO-3	20								20
LO-4						5			5
LO-5			15						15
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人とのコミュニケーション 1章 介護におけるコミュニケーションの基本について理解する ・介護におけるコミュニケーションの対象を理解する ・援助関係とコミュニケーションを理解する	
	【予習】シラバスを確認しテキスト第1章を学習する	15分
	【復習】コミュニケーションの意義と目的、コミュニケーションの対象について、ノート、配布資料を見直す。	30分
第2回	介護を必要とする人とのコミュニケーション 1章 介護における援助関係の特徴と援助関係の構築を理解する ・援助関係を意識したコミュニケーションの展開をグループで話し合う	
	【予習】テキスト第1章の第3節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】介護における援助関係についてテキスト、ノート、配布資料を見直す	30分
第3回	介護を必要とする人とのコミュニケーション 2章 コミュニケーションに関する基本技術（傾聴、受容、共感、パーソナルスペース）を理解する	
	【予習】テキスト第2章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】コミュニケーションの基本技術についてテキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第4回	介護を必要とする人とのコミュニケーション 2章 言語、非言語 準言語のコミュニケーション、質問法、感情表現とコミュニケーションについて理解する	
	【予習】テキスト第2章の第1節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習を振り返るテキスト、ノート、配布資料を見直す	30分
第5回	介護を必要とする人とのコミュニケーション 2章 動機づけものの見方とリフレ ミング 集団におけるコミュニケーションについて理解する	
	【予習】テキスト第2章の第2節と第3節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習について振り返る。テキスト、ノート、配布資料を見直す	30分
第6回	障害の特性に応じたコミュニケーション 3章 コミュニケーション障害について、その原因と支援の基本を理解する	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習を振り返る。、テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第7回	障害の特性に応じたコミュニケーション 3章 視覚、聴覚の障害のある人のコミュニケーションの実際を理解する	
	【予習】テキストをよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】講義ののポイントを振り返り、テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第8回	障害の特性に応じたコミュニケーション 3章 構音障害、失語症のある人の支援の実際を理解する	
	【予習】テキスト第3章の2節をよく読み授業の全体をとらえる。	15分
	【復習】演習におけるコミュニケーションの展開を振り返る テキスト、ノート、配布資料を見直す	30分
第9回	利用者の特性に応じたコミュニケーション 認知症がある人のコミュニケーションの実際を理解する	
	【予習】テキスト第3章2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習におけるコミュニケーションの過程を振り返る。てきすと、ノート、配布資料を見直す。	30分
第10回	障害のの特性に応じたコミュニケーション3章うつ、よくうつ状態の人、統合失調症の人のコミュニケーションの実際を理解する	
	【予習】テキスト第3章2節ををよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習からコミュニケーションの過程を振り返る。テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分

第11回	障害の特性に応じたコミュニケーション 3章 知的障害、発達障害のある人へのコミュニケーションの実際を理解する	
	【予習】テキスト第3章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】本日の演習を振り返り、テキスト、ノート、配布資料を見直す	30分
第12回	障害の特性に応じたコミュニケーション 3章 高次脳機能障害のある人のコミュニケーションの実際を理解する	
	【予習】テキスト第3章の第2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】演習を通してコミュニケーションの過程を振り返る。テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第13回	介護における家族とのコミュニケーション 4章 家族との関係づくりと家族支援の調整について理解する	
	【予習】テキスト第4章1・2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】家族関係のとらえ方や家族の介護ストレスについて振り返る。テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第14回	介護におけるチームのコミュニケーション 5章 チームのコミュニケーションと報告、連絡、相談について理解する	
	【予習】テキスト第5章の第1・2節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】チームのコミュニケーションの実際を振り返る。テキスト、ノート、配布資料を見直す。	30分
第15回	介護におけるチームのコミュニケーション 5章 記録について目的、種類、方法と実際について理解する	
	【予習】テキスト第5章の第3節をよく読んで、授業の全体像をとらえてくる。	15分
	【復習】記録についてまとめておく。定期試験のためにコミュニケーションの基本技術、対象者の特性に応じたコミュニケーション家族、チームにおけるコミュニケーションについて振り返りかえり学習しておく	30分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - コミュニケーション技術	担当教員名	宮口 覚 山崎 清之 小平 達夫						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・基本的な手話技術の習得 ・障害のとらえ方の理解 ・聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の概要、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	0分
	【復習】点字の組み立てを振り返る	0分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 視覚障害者の状況 点字の歴史	
	【予習】テキストを参照する	0分
	【復習】視覚障害者について、テキストノートから振り返る	0分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(1) ・点字を書く器具 点字を書く時のポイント	
	【予習】	0分
	【復習】本日学習した点字の書き方、読み方を振り返る	0分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(2) 点字の標記 ・語の書き表し方(かな使い、数字、アルファベット)	
	【予習】	0分
	【復習】点字の読み方を振り返る	0分
第5回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(3) ・分かち書 (文節分かち書、複合語、固有名詞)	
	【予習】	0分
	【復習】点字の表記について振り返る	0分
第6回	2. 点字	
	【予習】	0分
	【復習】点字の表記について振り返る	0分
第7回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】点字の表記について振り返る 視覚障害者のガイドについてテキスト等で見直す	0分
第8回	2. 点字 まとめ 試験 (点訳 墨訳 作文と点字についての設問)	
	【予習】点字の組み立てから、点字の表記について復習しておく 視覚障害者と点字の歴史、概要をまとめておく	0分
	【復習】	0分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなことが 言葉を使わなくて伝えてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話そう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話をしてみよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	自立支援 尊厳 支援技術 生活								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援 ・生活とはどのようなことかを考える。また、ICFの考え方についての基礎を学ぶ。	
	【予習】シラバス・テキスト目次を確認する。 テキスト「生活支援技術」P2～P29	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える ICFに基づいた生活・健康について考えをまとめる	90分
第2回	「感染予防」について、特にCOVID-19について学ぶ 健康を支える観察の視点、バイタルサインについて学ぶ。	
	【予習】COVID-19について調べる バイタルサインの意味を調べる	90分
	【復習】バイタルサインの重要性と正確な測定方法を復習しておく。	90分
第3回	生活支援における福祉用具の重要性と種類、適切な選択方法について学ぶ。	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P194～P212	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた住居環境の整備 心地よい睡眠環境の視点、ベッドの種類、「ベッドメイキング」演習について学ぶ。	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P227～P244	90分
	【復習】ベッドメイキングのポイントをおさえ、自宅のできる範囲で三角折りと手の使い方の練習をする	90分
第5回	休息・睡眠の意義と介護の視点について学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P216～P226、P245～P247	90分
	【復習】四季に応じた適切な睡眠環境について整理する	90分
第6回	自立に向けた移動の介護 自然な体の動き、起き上がりから立ち上がりについて学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P82～P130	90分
	【復習】ベッド上の動作や立ち上がり、立ち上がるまでの体の動きを意識し、介助方法について考える	90分
第7回	自立に向けた移動の介護 車いすの種類と使用方法、ボディメカニクス、移乗・移動動作、歩行について学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P131～148、P163～P190	90分
	【復習】車いすでの移乗・移動方法、歩行介助のポイントについて抑える	90分
第8回	自立に向けた身じたくの介護 身じたくと衣服の着脱と介護の視点について学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P2～P28、P47～P70	90分
	【復習】自身の爪の手入れを行う、左片麻痺を意識して部屋着の着脱を行う	90分
第9回	自立に向けた食事の介護 食事の在り方と介助方法、誤嚥の予防について学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P74～P101	90分
	【復習】食事介助と誤嚥予防について確認する	90分
第10回	自立に向けた食事の介護 口腔ケアについて学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P28～P46	90分
	【復習】口腔ケアのポイントを振り返る	90分

第11回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際（トイレ、福祉用具）について学ぶ	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P104～P123	90分
	【復習】心身機能・身体状況に応じた排泄方法について考える	90分
第12回	事例演習1-	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P87～152	90分
	【復習】起居動作・移乗介助等のポイントについて抑える	90分
第13回	事例演習1-	
	【予習】テキスト「生活支援技術」P47～P65 配布プリント	90分
	【復習】衣服の着脱介護のポイントを押さえる	90分
第14回	前期のまとめ振り返り	
	【予習】テキスト・ファイル確認	90分
	【復習】課題の練習	90分
第15回	前期のまとめ振り返り 実技試験	
	【予習】テキスト・ファイル確認	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術、生活支援技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期学習の振り返り	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】テキスト・ファイルを確認。	90分
第2回	自立に向けた排泄の介護 排泄障害、排泄介護の留意点、便秘予防	
	【予習】テキスト・ファイル確認	90分
	【復習】尊厳に配慮した、安全な排泄を考える	90分
第3回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴・清潔保持に関連した基礎知識 清拭を体験します	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第4回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助の基本技術 入浴ケアを体験します	
	【予習】入浴の物品準備	90分
	【復習】入浴事故についてまとめる	90分
第5回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 足浴介助を体験します	
	【予習】テキスト確認	90分
	【復習】入浴事故についてまとめる	90分
第6回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 まとめた入浴事故について発表する	
	【予習】発表準備	90分
	【復習】 入浴関係のまとめをする	90分
第7回	自立に向けた排泄の介護 具体的な介助方法と 休息・睡眠の復習	
	【予習】テキスト・ファイル確認	90分
	【復習】排泄介護のまとめをする	90分
第8回	自立に向けた睡眠の介護 安眠のための介護の工夫 電法	
	【予習】体調変化時の手当てについて考える	90分
	【復習】観察の復習（バイタルサインなど）	90分
第9回	快適な住環境整備と介護 介護実習普及センターに行きます	
	【予習】福祉用具について復習をしておく	90分
	【復習】福祉用具体験での学びをまとめる	90分
第10回	終末期の介護 終末期に関する基礎知識 死に至る過程と介護	
	【予習】テキスト確認	90分
	【復習】褥瘡予防と観察の復習	90分

第11回	総合生活支援技術演習 事例1	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手法 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り	90分
第12回	総合生活支援技術演習 事例2	
	【予習】前期・後期の復習	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手法 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返る	90分
第13回	全体のまとめ振り返り 自立に向けた介護 事例3 後期実技試験オリエンテーション	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分
第14回	全体のまとめ振り返り 自立に向けた介護 事例4 実技試験模擬	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分
第15回	全体のまとめ振り返り 実技試験	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】課題の練習と、定期試験対策。	120分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	松島 紘子 竹内 七々恵					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目	介護福祉論、看取り介護					
関連科目	生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	高齢者や障害者の自立を尊重し、適切な介護技術を用いて安全に援助できる知識や技術について習得する学習です。高齢や障害により従来の生活様式と状況が異なったときよりよい支援を考え実践できるように、講義やグループワーク・演習を通して学習します。								
学習目標	運動・認知・感覚機能低下など利用者の状態や状況に応じた適切な介助方法を理解し身につけます。福祉用具等を活用し、安全・安楽、プライバシーに配慮し、その人らしい適切な介助方法を身につけます。								
キーワード	自立支援、潜在能力、心身の状況、福祉用具の活用、ICF								
テキスト・ 参考書等	生活支援技術 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	高齢者・障害者の心身の状況に応じて、自立生活支援に必要な専門的知識を習得し、根拠に基づいた生活支援技術を行うことができる。								
LO-2	学生同士で高齢者や障がい者の利用者像を設定し、利用者の状態に合わせた、基本の応用となる生活支援技術を実施することができる。								
LO-3	高齢者、障がい者の状態・状況をアセスメントし、それに合わせた生活支援の方法を考えることができる。								
LO-4									
LO-5	演習を通して、コミュニケーションの基本を身につけ、相手の気持ちを察することができる。他者への共感的態度を持つことができ、協調、協同して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		10		40	10			100
LO-1	40								40
LO-2					40				40
LO-3			10						10
LO-4									
LO-5						10			10
備考	レポートについては、授業中の提出課題の提出状況、内容によって評価する。 その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	利用差の状態に応じた生活支援技術とは・災害時における形態別介護	
	【予習】生活支援技術 p 282	90分
	【復習】床からの立ち上がり自宅で実施する。ワークシートの記入。	90分
第2回	高次脳機能障害に応じた介護－食事－	
	【予習】生活支援 p 220～生活上の困りごと	90分
	【復習】レポートを記入し、次週までに提出する事	90分
第3回	A L S ・パーキンソン病に応じた介護 ー口腔ケア、食事ー	
	【予習】p 2 5 6パーキンソン病の理解	90分
	【復習】A L S 患者の社会生活について知る（本やインターネット等で調べてみる）	90分
第4回	高次脳機能障害に応じた介護－身だしなみ・衣類の着脱－	
	【予習】生活支援 利用者の状態に応じた介助 p 8 -	90分
	【復習】生活支援 217高次脳機能障害について 生活支援 12, 13ウォッシュクロスの作り方、清拭について	90分
第5回	視覚障害に応じた介護	
	【予習】生活支援技術 p 33生活上の困りごと	90分
	【復習】ワークシートの記入	90分
第6回	肢体不自由に応じた介護 衣服の着脱	
	【予習】生活支援 テキスト持参（p 12～肢体不自由に応じた介護） 生活支援 衣服の着脱の介助 p 5 1 上着、スポンの着脱の介護	90分
	【復習】ワークシート記入し、提出	90分
第7回	肢体不自由に応じた介護 -移動2福祉用具の活用-	
	【予習】生活支援 p 1 4 9 -福祉用具を使用した移乗の介助	90分
	【復習】レポートを記入し、次週までに提出する	90分
第8回	高次脳機能障害に応じた介護 - 移動 3 -	
	【予習】生活支援 p 131～車椅子の構造名称、車椅子の基本的な使い方	90分
	【復習】ワークシートの作成	90分
第9回	知的・精神障害に応じた介護	
	【予習】生活支援 194、204に目を通す	90分
	【復習】レポート提出	90分
第10回	筋ジストロフィーに応じた介護	
	【予習】p 2 8 8 主な症状・二次的障害等	90分
	【復習】レポート提出	90分

第11回	心臓機能障害に応じた介護-睡眠、安楽な姿勢、寝具環境-	
	【予習】生活支援 p 2 2 7 ベッドメイキング	90分
	【復習】ワークシート記入	90分
第12回	聴覚障害・言語障害に応じた介護	
	【予習】p47聞こえのしくみ、難聴の種類について	90分
	【復習】レポート提出	90分
第13回	肢体不自由に応じた介護-排泄-	
	【予習】p 28 事例を読む	90分
	【復習】ワークシート記入	90分
第14回	悪性関節リウマチに応じた介護	
	【予習】p 270 悪性関節リウマチとは	90分
	【復習】レポート提出	90分
第15回	事例をもとにした形態別介護の実践	
	【予習】課題の確認	90分
	【復習】レポート提出	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-20				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	石黒 康子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	医学一般、生活支援技術、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることを目指す。自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習する。行事食・郷土食などの伝統食やマナーなど生活文化についても学習し、健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識の習得する。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康 食生活 生活習慣病 介護食								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会：『最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術』、第5章 自立に向けた家事の介護 (pp.216-259)中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30	10				100	
LO-1	50	10						60	
LO-2									
LO-3			30					30	
LO-4									
LO-5				10				10	
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	家事の意義と目的、栄養と健康、食生活の現状と問題点について講義する。	
	【予習】 日常の家事の必要性について考えてみる。また、自分の食生活を振り返ってみる。	90分
	【復習】 自分の食生活について見直しを行い、講義から課題を見出し解決方法を考える。	90分
第2回	身体の機能と栄養素の役割、疾病との関係を講義する。	
	【予習】 医学一般のテキストをもとに、身体の機能について復習を行い、要点を確認しておく。	90分
	【復習】 栄養素の役割についてまとめ、疾患との関係を把握しておく。	90分
第3回	食品の分類と特性について講義する。	
	【予習】 日頃、摂取している食品について、過不足がないか調べてみる。	90分
	【復習】 食品の特性と調理との関係を把握する。	90分
第4回	食品の加工と保存、食品の安全性について講義する。	
	【予習】 食品についている表示やマークについて調べてみる。	90分
	【復習】 食品の消費期限、賞味期限の正しい意味を理解し、冷蔵庫の庫内にある食品で確認する。	90分
第5回	献立と料理、献立作成、調理の手法を理解する。	
	【予習】 我が家の食事ができるまでの流れを把握する。	90分
	【復習】 献立作成のポイントをまとめ、高齢者向きを考えた場合の展開方法を把握する。	90分
第6回	高齢者・障害者の食生活のあり方を理解する。	
	【予習】 老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。	90分
	【復習】 高齢者・障害者がおいしく食べれる調理の手法をまとめる。	90分
第7回	食事と生活習慣病の関係を理解する。	
	【予習】 食事と生活習慣病の関連する病気を調べる。	90分
	【復習】 生活習慣病を予防するための食事のポイントをまとめる。	90分
第8回	調理実習（1）「介護食」	
	【予習】 咀嚼・嚥下困難者について調べる。	90分
	【復習】 嚥下困難に適する食材・調理方法をまとめる。	90分
第9回	調理実習（2）「日本料理の基礎」炊飯、出しのとり方 他	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】 実習ノートを作成し、実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	90分
第10回	調理実習（3）「行事食1」ちらしずし、清し汁 他	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】 実習ノートに実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	90分

第11回	調理実習(4)「西洋料理」マカロニグラタン 他	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートに実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	90分
第12回	調理実習(5)「行事食2」正月料理	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】実習ノートに実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	90分
第13回	調理実習(6)「行事食3」我が家のお雑煮	
	【予習】我が家の雑煮の作り方を家の人に習い、使用する材料の確認をする。	90分
	【復習】課題レポート(1)を作成する。	90分
第14回	調理実習(7)生活習慣病予防のための食事	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	90分
	【復習】課題レポート(2)を作成する。	90分
第15回	調理実習(8)「自由献立」高齢者の献立作成・調理	
	【予習】グループで献立作成・検討を行い、材料の確認・用意、発表等の練習をする。	90分
	【復習】課題レポート(3)を作成する。	90分

授業科目名	生活支援技術				科目コード	W123-21			
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	川端 明美					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	生活の理解と生活支援について学習します。 住生活の基本的な知識を理解し、自立した生活のための居住環境整備について学習します。 衣生活の基本的な知識と技術を習得し、被服管理について学習します。								
学習目標	住生活、衣生活についての基本的な知識と技術を学ぶことを通して、支援を必要としている人の自立を尊重し支援できることを目指します。								
キーワード	自立 生活 家事 生活支援 居住環境整備 被服管理								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術」 中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自立に向けた衣服管理と居住環境整備に関する知識を習得している。								
LO-2	自立に向けた生活を支援するための衣生活、住生活の基本的な知識と技術を身につけている。								
LO-3	自立に向けた生活支援のためのニーズを捉えることができる。								
LO-4	その人らしい自立生活支援に関心をもち、課題解決のための工夫をすることができる。								
LO-5	生活支援のために協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20	20	10				100
LO-1	50								50
LO-2				20					20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考	右記のアクティブラーニングを約半分の授業で実施します：グループワーク、プレゼンテーション、実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の理解と生活支援 家事の意義と家事支援	
	【予習】自分や身近な人の生活に関心を持ち、特徴をまとめる 洗濯、掃除、ごみ捨て、裁縫のいずれかの家事を行い、そのプロセスをまとめる	60分
	【復習】高齢者の生活の特徴をまとめる 高齢者の生活を支える家事支援について考える	60分
第2回	高齢化と住宅政策 住まいの機能と日本住宅の特徴	
	【予習】高齢者の住まいの種類とその特徴についてまとめる	60分
	【復習】日本住宅の特徴と住居内での事故についてまとめる	60分
第3回	住環境アセスメント	
	【予習】住空間の種類と特徴をまとめる	60分
	【復習】高齢者の心身の特徴と住居内での事故の予防方法を考える	60分
第4回	居住環境の整備（空間構成、広さ、動線、材質、バリアフリー）	
	【予習】自分の家の広さ、高さ、幅、空間のつながりをまとめる	60分
	【復習】人体寸法をもとに空間の高さ、幅、広さをイメージできるようにする	60分
第5回	居住環境の整備（住宅改修、福祉用具の活用）	
	【予習】住宅改修の支援について考える 転倒しやすくなった人、杖、歩行器、車いす等を使用する人、介助する人の居住環境の工夫を考える	60分
	【復習】住宅改修についてまとめる 自宅の浴室またはトイレの床、壁、照明器具、換気扇の掃除をする	60分
第6回	居住環境の整備（空気環境、温熱環境、光環境、音環境）	
	【予習】空気環境、温熱環境、光環境、音環境の課題とその支援について考える	60分
	【復習】空気環境、温熱環境、光環境、音環境の整備についてまとめる	60分
第7回	居住環境の整備（インテリアデザイン、カラーワーク）	
	【予習】雑誌等のインテリア（色、材質、小物唐）をみて、気に入ったものを切り抜いておく 実習先の施設での安全性、快適さの確保について気づいたことを思い出してまとめる	60分
	【復習】まちのビクトグラムの位置、色、形、大きさを調べる 入居施設におけるプライバシーの保護、交流の促進について考える	60分
第8回	被服の機能 介護が必要な人の衣生活支援	
	【予習】青年期、壮年期、老年期の衣生活の特徴をまとめる 被服による皮膚障害などの危険な場面を考える	60分
	【復習】衣服の着装について高齢者の困難事例とその支援をまとめる	60分
第9回	被服の管理（しみ抜き、洗濯、アイロン、保管、修繕等）	
	【予習】自分の衣服の表示（サイズ、組成、取り扱い）を調べる 衣服用洗剤等のメーカーのホームページを調べて気づいたことをまとめる	60分
	【復習】衣服用洗剤等の使用上の注意をまとめる	60分
第10回	手縫いによる小物製作	
	【予習】被服の修繕が必要な場合を調べる 玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】衣服の修繕の種類と技法をまとめる 玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めを練習する	60分

第11回	手縫いによる小物製作	
	【予習】手縫いによる修繕ができる場合を考える ボタンつけ、スナップつけ、まつり縫い、コの字とじの仕方をWeb等で調べる	60分
	【復習】自分の服の修繕の点検をする ボタンつけ、スナップつけ、まつり縫い、コの字とじの練習をする	60分
第12回	手縫いによる小物製作	
	【予習】自立に向けた衣服の工夫、衣服の管理の工夫を考える	60分
	【復習】自分の服の修繕をする	60分
第13回	高齢者にも配慮したまちのコンビニエンスストア（グループワーク）	
	【予習】利用したことのあるコンビニエンスストアの広さ、商品等の配置を観察する	60分
	【復習】高齢者にも配慮した広さ、配置等を考える	60分
第14回	高齢者にも配慮したまちのコンビニエンスストア（グループワーク）	
	【予習】高齢者にも配慮した商品、サービスを考える	60分
	【復習】プレゼンテーションの練習をする	60分
第15回	高齢者にも配慮したまちコンビニエンスストア（プレゼンテーション）	
	【予習】プレゼンテーションの練習をする	60分
	【復習】本授業と関連する前年度の介護福祉士国家試験問題を解く	60分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W123-22				
科目区分	専門科目 - 介護 - 生活支援技術		担当教員名	毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢・障害者の心理、障害者ケア論、生活支援技術		後継科目	なし					
関連科目	ターミナルケア論、介護過程各論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	死を迎えることや残された者の思いなど、さまざまな「死」を取り巻く状況を講義やグループワークをとおして学習します。終末期を理解し、QOLを高める身体・生活援助やコミュニケーション技術を身につけ、介護福祉士としての死生観を養います。								
学習目標	看取り介護の重要性を理解し、終末期から臨終期の適切なケアを理解します。 在宅・施設における看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解し、自分の死生観を養います。								
キーワード	終末期、終末期介護、死生観、グリーフケア、他職種連携、								
テキスト・ 参考書等	新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」中央法規 (株)三菱総合研究所 「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」2007年3月								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	終末期の心身状況を理解し、在宅・施設における他職種連携、終末期の介護技術の基本について十分に理解できる。								
LO-2									
LO-3	緩和ケア、リビングウィル等、尊厳の保持を理解し、自分自身の死生観を深めることができる。								
LO-4	尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を考え、専門職としての介護能力を高めるために興味関心の視野を広げようと積極的に取り組む姿勢が十分に見受けられる								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢がグループワークの中で見ることができる。また、その場の状況に応じた適切な言葉かけを仲間にかけることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			40						40
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4			10						10
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	終末期の介護 終末期の意義と介護の役割	
	【予習】テキスト P 366 ~ P 373までを読んでくる	60分
	【復習】終末期の意味を学び、終末期ケアの考え方を理解し、終末期における介護の役割を学ぶ	120分
第2回	終末期の介護 高齢者の終末期医療	
	【予習】テキスト P 183 ~ P 1188までを読んでくる	60分
	【復習】看取りの場所の変化、医療の実際、インフォームドコンセントについて押さえる	120分
第3回	終末期の介護 在宅での看取り	
	【予習】テキスト P 188 ~ 199までを読んでくる	90分
	【復習】事例から自分の思いをまとめ、ワークシートに記入する	90分
第4回	終末期の介護 施設での看取り(1)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ガイドライン」に目を通してくる	90分
	【復習】今まで体験してきた実習施設と照らし合わせて内容を考える	90分
第5回	終末期の介護 施設での看取り(2)	
	【予習】テキスト P 199 ~ 209までを読んでくる	90分
	【復習】看取り介護の具体的な実践内容を理解する	90分
第6回	終末期の介護 施設での看取り(3)	
	【予習】㈱三菱総合研究所「特別養護老人ホームにおける看取り介護ハンドブック」に目を通してくる	90分
	【復習】家族との連携の大切さや介護福祉士としての役割について考えを深める	90分
第7回	終末期の介護 緩和ケアの実際	
	【予習】緩和ケアとは何かを調べる	90分
	【復習】緩和ケアの具体内容について理解を深める	90分
第8回	終末期の介護 食事・睡眠を支える介護	
	【予習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な食事・睡眠を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第9回	終末期の介護 排泄・清潔を支える介護	
	【予習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要な排泄・清潔を支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分
第10回	終末期の介護 その人らしさを支える介護	
	【予習】終末期に必要なその人らしさを支える介護に必要なことを考える	90分
	【復習】終末期に必要なその人らしさを支える介護の重要性と具体的内容を理解する	90分

第11回	終末期の介護 死後の支援（エンゼルケア）	
	【予習】エンゼルケアについて調べる	90分
	【復習】死後の支援における介護福祉士の役割について理解を深める	90分
第12回	終末期の介護 グリーフケア	
	【予習】グリーフケアについて調べる	90分
	【復習】グリーフケアについての意義と具体的方法について理解を深める	90分
第13回	終末期の介護 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べる	90分
	【復習】DVDを観ての感想をワークシートにまとめる	90分
第14回	終末期の介護 特別講義 「施設での看取りの実際」	
	【予習】実際に現場で働いている卒業生に看取りについて質問したいことをまとめる	90分
	【復習】施設での看取りの実際の特別講義から考えたことや思いをレポートにまとめる	90分
第15回	終末期の介護 まとめ課題「孤独死を介護福祉士として考える」についてレポート作成	
	【予習】孤独死について調べ、考えをまとめる	60分
	【復習】看とり介護全体から、孤独死を考え、介護福祉士の役割と関連させてレポートを作成する	120分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくために介護過程という思考過程の基本を主に、テキストを使用しながら、学習します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、そしてアセスメントの意味を理解します。利用者個々のニーズを把握する能力と介護計画を立案する能力を養います。 「分析的思考」と「総合的思考」を養うためにICFの概要や考え方を習得します。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程の流れを理解し、アセスメントの必要性を理解する能力を十分有する。 ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を捕え、様々な視点からニーズを見出し、それに関連することを分析する能力が十分身につけている。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは 自分の身近におきた最近の出来事（困ったこと・迷ったこと）についてどのように解決してきたか考える。	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程の意義 自分の身近におきた出来事について解決していくプロセスを理解する。グループワークを通して、解決していくプロセスを話し合う。	
	【予習】本学に入学する1カ月前の生活を振りかえり、自分の行動をノートにメモしておく。	60分
	【復習】他の人がどのように対応していたか、解決しているプロセスをワークシートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。（1）コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】テキストP5～7を読んでおく。	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。コンセンサスゲーム（2） グループでより良い解決方法を検討しあう。発表する	
	【予習】テキストP5～9までを読んでおく	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第5回	介護過程の意義 身近に起こる出来事を問題解決過程を使い思考できる。（3）事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】テキストP1～9を読む	90分
	【復習】テキストP7の表1-1と自分が考えた事例1について振り返る。	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の意義 介護過程の意義・目的・展開について学習する	
	【予習】テキストP12～P15を読んでおく	60分
	【復習】本時のノートとテキスト範囲を読み振り返る。	120分
第8回	介護過程の基礎的理解（1）介護過程の展開	
	【予習】テキストP13～18を読んでおく	90分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解（2）介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP18～21を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解（3）介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP23～32を読んでおく	60分
	【復習】ニーズとは何か本時のノートを見て振り返る。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点を用いたワークシートに記述したものをを用いて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。コンセンサスゲーム 既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。 介護計画実習での情報収集ができるよう事例をとおして記録用紙の書き方を学びます。 専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。 また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社 平成27年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 介護過程の構成要素を振り返る 各自が基礎実習で、かかわった利用者についてどのようなニーズがあったか考える ワークシートに記述する	
	【予習】介護過程の構成要素、ICFの視点を見ておく。	60分
	【復習】基礎実習で自分がかかわった利用者の情報について振り返る。	120分
第2回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループワーク 各自がかかわった利用者の状況、必要な情報は何か話し合いワークシートにまとめる。	
	【予習】学習範囲について、テキストを見直す。	60分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る。	120分
第3回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループでまとめ意見を発表する。	
	【予習】学習範囲をテキストを見て読んでおく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞いて振り返る。	120分
第4回	介護過程の展開 事例学習 1 - ICFの視点で必要な情報は何か考えワークシートに記述する。	
	【予習】前回と同じテキストのページを読み確認する。生活支援技術のテキストを読む	60分
	【復習】ワークシートの記述内容をテキストを見て振り返る。	120分
第5回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループワーク グループで意見交換し、ICFの視点をまとめる	
	【予習】生活支援技術のテキストで必要なところを見て確認しておく	60分
	【復習】グループでまとめた意見を振り返っておく。	120分
第6回	介護過程の展開 事例学習 1 - グループ発表とまとめ	
	【予習】テキストの確認 生活支援技術のテキスト確認	60分
	【復習】他のグループの発表を聞いて振り返り、情報収集についてICFの視点をまとめておく。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 - グループワーク ICFの視点で意見交換する。	
	【予習】授業日までに、事例2の必要な情報収集をICFの視点のワークシートに記述しておく。	60分
	【復習】グループで意見交換した内容を振り返る。生活支援技術のテキストを読み確認しておく。	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習 2 について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習 1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付いたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1-3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37-39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51-53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について説明後、実習記録D1～3に記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引きP37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例D1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例 情報収集したD1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引きP37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの情報からアセスメント(解釈、意味づけ、統合)を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引きP37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキストP97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E-1表を記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例4 Mさんの情報を確認してE-1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの介護上の課題を考える。グループで、E-1表から意見をだし、E-2表を完成させる。	
	【予習】テキストP66～108、手引きP37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ~ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作製した受け持ち利用者の情報収集から ICF の視点に基づいてアセスメントを理解します。介護過程を展開していく上で、生活課題と目標、介護計画の立案、実施、評価していく際の観点や留意点を学びます。利用者の自立支援の視点に立ち、利用者の状況、状態に応じた介護過程を展開していく能力を身につけます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICF の視点をとってアセスメントし、計画的に実践・評価することを理解する。 2. 利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。 3. 事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。 								
キーワード	他職種連携、計画立案・実施・評価、再アセスメント、ケースカンファレンス								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社 介護福祉教育研究会 「楽しく学ぶ介護過程」 久美出版 大川弥生著								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画を立案し、計画を実施・評価する方法を十分に理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本学作成の ICF モデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術を ICF の視点を基にして、介護過程の展開に十分に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと予習・復習を確実に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会での司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		20		10				100
LO-1	40								40
LO-2			10						10
LO-3	30								30
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ICFの構成要素について確認する。ICFの視点から計画実習で受け持った利用者の情報を見直し、情報収集の必要性を理解する。ICFの視点を記述し、E-1を完成させる	
	【予習】テキストP50～見直す 介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。	120分
第2回	ICFの構成要素について確認する。ICFの視点から計画実習で受け持った利用者の情報を見直し、情報収集の必要性を理解する。ICFの視点を記述し、E-1を完成させる	
	【予習】テキストP50～見直す 介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集について見直す。	120分
第3回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。E-1から課題を明確にしE-2を完成させる	
	【予習】テキストP60～80を読んでおく。	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについてテキスト、ノートから振り返る。自己の事例でE-1を完成させる	120分
第4回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (1) 自己の事例のアセスメントを展開する。E-1から課題を明確にしE-2を完成させる	
	【予習】テキストP60～80を読んでおく。	60分
	【復習】情報収集からアセスメントについてテキスト、ノートから振り返る。自己の事例でE-1を完成させる	120分
第5回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。ICFの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E-2から援助計画を考へF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP97～126を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第6回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントを理解する (2) 複数の情報を判断していく過程が分かる。ICFの10の視点から介護上の課題を取り上げ、E-2から援助計画を考へF表を作成する。課題解決に向けた優先順位と重要性和緊急性について理解する。	
	【予習】テキストP97～126を読んでおく	60分
	【復習】情報を判断していく過程をテキスト、実習の手引き、ノートから振り返る。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる (3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE-1・E-2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP95～126を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第8回	介護過程の実践的展開 介護過程におけるアセスメントが理解できる (3) 取り上げた課題の優先順位について分かり、自己の課題についてE-1・E-2・Fを見直し発表する準備ができる。	
	【予習】テキストP95～126を再度読み、自己事例を見直す。	60分
	【復習】本時の授業からテキスト、実習の手引きから振り返り自己事例を完成させ提出する	120分
第9回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分
第10回	介護過程の展開 グループワーク 自己の事例から課題として取り上げたものについて発表する。	
	【予習】情報収集・整理について復習してくる。	90分
	【復習】グループメンバーの意見を受け、自己事例のアセスメントを振り返る	90分

第11回	介護過程の展開 共通事例1をとおして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第12回	介護過程の展開 共通事例1をとおして、事例の全体像を理解する。10の視点E-1を記述できる(1)	
	【予習】事例の情報を読み全体像を考えておく。ICFの10の視点について復習してくる。	90分
	【復習】テキスト、実習の手引きからICFの10の視点を振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループでE-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第14回	介護過程の展開 グループワーク 各自で考えた共通事例1の10の視点を、意見交換し、介護上の課題を抽出する。グループでE-1 E-2を作成する	
	【予習】自分で考えた、事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る	90分
第15回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第16回	介護過程の展開 グループワーク 介護上の課題2つを取り上げ、アセスメントE-2表から援助計画F表を検討していく	
	【予習】自分で考えた事例の10の視点を見直す。	90分
	【復習】グループで意見交換した10の視点E-1・E-2を完成させ提出する	90分
第17回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1についてアセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96-101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第18回	介護過程の実践的展開 介護計画を立案していく過程が理解できる。グループワーク 共通事例1についてアセスメントから課題を引出し、援助計画を立案するプロセスについてグループで検討し、発表の準備ができる。	
	【予習】テキストP96-101を読んでおく。実習の手引きP41を読んでおく。	90分
	【復習】本時の授業内容をテキスト、実習の手引きで振り返る。	90分
第19回	介護過程の実践的展開 共通事例1グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132-140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分
第20回	介護過程の実践的展開 共通事例1グループ発表 意見交換	
	【予習】テキストP132-140を読んでおく。実習の手引きP42を読んでおく。	90分
	【復習】介護計画を立案していく過程を振り返る。	90分

第21回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE-1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51~56を参考にする。	90分
第22回	介護過程の実践的展開 共通事例2における事例の全体像についてグループで意見交換し、情報を整理してE-1表を作成する。	
	【予習】共通事例2を読み、事例の全体像を考える	90分
	【復習】10の視点について見直しておく。実習の手引きP10 51~56を参考にする。	90分
第23回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE-1からE-2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第24回	介護過程の実践的展開 共通事例2のアセスメントをおこないE-1からE-2、F表を作成する。	
	【予習】実習の手引きP41を確認しておく。	90分
	【復習】アセスメントする過程を振り返る。	90分
第25回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E-1・E-2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132~147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第26回	介護過程の実践的展開 共通事例2をとおして 介護上の課題そして介護計画を立案していく過程を振り返り E-1・E-2・F表を見直し、発表の準備ができる。	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】テキストP132~147を参考にする。実習の手引きP42を読み確認する。	90分
第27回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第28回	介護過程の実践的展開 共通事例2について、発表し意見を交換する	
	【予習】実習の手引きP41~43を読み確認しておく。	90分
	【復習】グループワークで検討した意見について振り返る。	90分
第29回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148~198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分
第30回	介護過程の展開 介護過程の実施と評価、総合評価について理解し、記録用紙G表の記述ができる。	
	【予習】テキストP148~198を読んでおく。実習の手引きP43を読んでおく。	90分
	【復習】介護過程の展開についてテキスト、実習の手引きで確認しておく。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W124-14				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護過程		担当教員名	井上 理絵 毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程、介護過程		後継科目	なし					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程とケアマネジメントの関連性について学び、介護過程とチームアプローチの必要性について理解を深めます。介護過程実習の自己の事例でケーススタディを行い、グループワークで、意見交換を実践する。MDS方式、包括的自立支援プログラムなど、介護の現場で活用されるアセスメントシートについて知識を深めていきます。								
学習目標	利用者の状況に応じて、応用・活用できるよう能力を養います。 専門職として必要な知識・技術を身に付け、多職種との連携ができる能力を身に付けます。利用者を取り巻く生活環境を意識して、社会の動向に関心を寄せ、よりよい生活支援に取り組むことができる能力を身に付けます。								
キーワード	介護過程の展開、アセスメント、ICF、施設ケアプラン、事例検討								
テキスト・ 参考書等	石野育子編著 最新介護福祉士全書7「介護過程」メヂカルフレンド社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	実習での経験を踏まえて、介護過程の一連の展開に必要な知識や技術を十分に有している。								
LO-2									
LO-3	ICFの視点を基に、利用者の状況に応じた介護過程の展開を応用・活用することができる。								
LO-4									
LO-5	他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程とチームアプローチ自己の介護過程実習を振り返る 情報収集D 1～3 アセスメントE - 1・E - 2を振り返る (1)	
	【予習】介護過程実習で作成した受け持ち利用者のD1.2.3E 1.2F G表を見直してくる	60分
	【復習】自分の事例を発表できるようにまとめる	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 自己の事例におけるアセスメントから介護計画F、Gまでを見直し発表できるようまとめる。(2)	
	【予習】自己の事例を見直す	60分
	【復習】自己の事例を振り返りシートに記入する	120分
第3回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成(担当教員から助言を受け自己の事例を既定の用紙に記述する)(1)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員に助言を受け自己の事例を振り返る	120分
第4回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る ケーススタディの作成 (2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員の助言を受け、自己の事例を既定の用紙のまとめる	120分
第5回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク (1)	
	【予習】自己の事例について見直す	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第6回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例を発表する グループワーク(2)	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】発表メンバーの事例を振り返りシートに記入する	120分
第7回	介護過程とチームアプローチ 介護過程実習を振り返る 事例発表 グループワーク(3)	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第8回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 事例の発表 グループワーク(4)	
	【予習】テキストP 66～120を読んでおく	0分
	【復習】介護過程実習から自己の情報収集について振り返る グループワークの振り返りシートを見直す	0分
第9回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る アセスメント(情報の分析・意味付け・統合)から課題の把握 MDSを用いたアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 120～149を読んでおく	0分
	【復習】介護過程実習の自己事例から課題の把握と介護計画の立案を振り返る グループワークでの振り返りシートを見直す	0分
第10回	介護過程とチームアプローチ 介護過程について全体を振り返る 情報収集からアセスメント三団体方式によるアセスメントの展開	
	【予習】テキストP 129～204を読んでおく	60分
	【復習】介護過程実習における自己の事例の介護計画立案、実施 評価を振り返る グループワークの振り返りシートを見直す。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 特別講義	
	【予習】前回までのアセスメント方式を見直しておく	60分
	【復習】特別講義を受け、気づいたことを整理してレポートし、提出する	120分
第12回	介護過程の実践的展開 介護過程の展開 認知症の事例におけるケアプランの実際	
	【予習】ケアプランにおける展開についてテキストを見直す	60分
	【復習】事例における介護過程の展開を振り返る	120分
第13回	介護過程の実践的展開 介護施設におけるケアプランの実際（障害のある利用者の場合） 特別講義実施	
	【予習】介護保険で使用するアセスメントツールをテキストから見直す	60分
	【復習】介護過程とケアプランの違いを見直す	120分
第14回	介護過程の実践的展開 在宅におけるケアプランの実際（在宅で活用されるアセスメントツール）	
	【予習】介護保険における在宅サービスについて調べて置く	60分
	【復習】介護保険におけるケアプランと介護過程の展開についてテキストから復習しておく	120分
第15回	介護過程の展開 介護過程の展開において専門職として守るべき倫理、道徳、姿勢を考えまとめる『課題作成』	
	【予習】これまで学んだ介護過程の展開のまとめをする	60分
	【復習】専門職としてあるべき姿を見据える	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者とは接することができるようにロールプレイで実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、訪問介護、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	令和2年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。 各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基本理解 介護実習の意義・目的・目標	
	【予習】介護実習についてイメージし、疑問点を考える	20分
	【復習】実習の予定を確認し、実習施設について調査票を記入できるようにする	25分
第2回	実習施設の理解 高齢者介護施設と障害者施設の概要と生活について 実習施設の希望調査について	
	【予習】実習の手引きを読む	40分
	【復習】各種施設の生活の特徴を整理する 近隣の実習施設について調べる	20分
第3回	実習施設の理解 その他の施設・事業所について	
	【予習】地域の施設について 調べる	30分
	【復習】調査したことを報告できるようにまとめる	30分
第4回	地域にある調べた施設について発表する	
	【予習】地域の施設について 調べる・まとめる	30分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする提出できるようにする	30分
第5回	実習全体の流れについて 基礎実習の流れ(施設)(訪問)	
	【予習】実習の手引きを読む	40分
	【復習】実習に向けてイメージし、手引きを読む	20分
第6回	基礎実習のプログラム 基礎実習の目的・目標(施設)	
	【予習】実習の手引きを読む	30分
	【復習】実習に向けて具体的な取り組みをイメージする 実習の手引きを読む	30分
第7回	介護実習の方法 到達目標を理解して、実習の課題の整理 一日の生活スタイルについて考えまとめる	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】実習の手引きを読む	25分
第8回	実習施設について 実習施設の理解 在宅ケア 基礎実習の流れ(訪問)・目的・目標・流れ	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】実習の手引きを読む	40分
第9回	介護実習における記録 日々の活動記録について	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】課題を作成し提出する	40分
第10回	介護実習における記録 「利用者とのかわりの記録」について	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】課題を作成し提出する	40分

第11回	介護実習に対する準備 実習の心得・カンファレンスについて	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】実習の手引きを読む	25分
第12回	介護実習に対する準備 基本的な接遇と感染症予防について	
	【予習】一般的なマナーを調べる	20分
	【復習】自己行動を振り返り、マナーと感染予防の実践を生活に取り入れる	25分
第13回	オリエンテーション 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】施設に電話をかけたアポイントメントを取り、報告する	30分
第14回	特別講義 「施設における介護と介護職員の役割・実習生に望むもの」	
	【予習】実習の手引きを確認し読む	20分
	【復習】事前レポート作成	40分
第15回	実習スケジュール、評価について	
	【予習】実習の手引きを読む	20分
	【復習】実習に必要な物品準備、試験に向けての復習	40分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	「平成27年度 介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	実習指導、介護福祉論、社会保障、介護過程、介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、介護過程実習に向けての課題を明確にします。また、グループワーク等により、各々の体験の共有化を図り、学びを深めます。								
学習目標	介護過程実習の目的や到達目標を理解し、実習への自己目標や心構えを確かなものにする。								
キーワード	介護過程、情報収集、アセスメント、介護計画立案・実施・評価 夜勤実習								
テキスト・ 参考書等	平成27年度富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程実習の実習目的・目標、実習内容などを理解する。								
LO-2									
LO-3	介護過程実習における実習期間の自己の実習プログラムを計画する。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			50						50
LO-2									
LO-3			50						50
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護計画実習事後指導（1） 介護計画実習を振り返る 介護過程実習、総合実習の配属について説明を受け、希望する施設・事業所の希望を考える。	
	【予習】介護計画実習のファイルやメモを見て、自分で振り返りを行う。	90分
	【復習】実習希望施設の場所の確認、概要の確認を行う。	90分
第2回	介護計画実習事後指導（2） グループ別実習報告を行い、利用者との関わりからの気付きや学び、介護職員や関連職種への態度や姿勢から学んだこと、指導で指摘されたこと等を話し合い、自分の体験と照らし合わせての差異から考え方を深める。	
	【予習】グループ演習ワークシートを記入しておく。	90分
	【復習】他の学生の体験も自分の体験を通して学んだことと同様になるよう、討議で出た意見をまとめ、さらなる利用者理解や専門職としてのあり方についての理解を深める。	90分
第3回	介護計画実習事後指導（3） 実習の評価を知り、次の介護過程実習へつなげる。	
	【予習】介護計画実習の記録や自己評価表、手引きの評価部分を見て、自分自身の10日間の実習を客観的に振り返る。	90分
	【復習】実習先の評価と自己評価の違いの原因を考える。今後の目標に向けてどのような努力をしていかなければならないのか、自分の行動目標と向き合う。	90分
第4回	介護過程実習事前指導（1） 介護過程実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの過程実習の内容を読む。	90分
	【復習】介護過程実習の全体の進め方を確認する。	90分
第5回	介護過程実習事前指導（2） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する E-1表、E-2表	
	【予習】前回計画実習のD表1～3を見直す。実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙E-1表、E-2表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、E-1表、E-2表の目的と書き方について理解する。	90分
第6回	介護過程実習事前指導（3） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する F表、G表	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目標を確認し、記録用紙F表、G表の記載の視点をよく読む。	90分
	【復習】資料に基づき、F表、G表の目的と書き方について理解する。	90分
第7回	介護過程実習事前指導（4） 介護過程実習における自己の課題を明確にする。	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目的と到達目標を確認する	90分
	【復習】介護計画実習からの自己課題を明確にし、設定した自己目標を確認し、どのようにすれば達成できるか、具体的な行動目標を明らかにする。	90分
第8回	介護過程実習事前指導（5） 介護過程特別講義を聴講する。	
	【予習】介護過程実習の内容を見直す。	90分
	【復習】特別講義を受けて気づいたことをまとめレポートする	90分
第9回	介護過程実習事前指導（6） 事前レポートを作成する	
	【予習】第7回の実習指導で明確になった目標・課題を思い出し、シートに記入しておく。	90分
	【復習】事前レポートを完成させる。	90分
第10回	介護過程実習事前指導（7） 「受け持ちしたい利用者像」を作成する。	
	【予習】介護計画実習で受け持ちした利用者との関わりを振り返りや見出した課題から、介護過程実習で受け持ちしたい利用者を考える。	90分
	【復習】「受け持ちしたい利用者像」と自己課題との関連性を確認する。	90分

第11回	介護過程実習事前指導（8）経験録より生活支援技術の到達度と自己評価を振り分け、自己の実習プログラムを計画する。夜勤実習、通所介護・通所リハビリ体験実習をすることを理解する。	
	【予習】介護課程実習の内容を見直す。手引きを基に、4週間のシミュレーションを行う。	90分
	【復習】実習の手引きを参考に、4週間の介護過程実習の自己プログラムを見直す。	90分
第12回	介護過程実習事前指導（9）事前オリエンテーション実習記録の記述方法、注意事項について理解できる。	
	【予習】受け持ちたい利用者像と自己の課題を見直す。	90分
	【復習】介護過程実習の記録方法、注意事項について確認する	90分
第13回	介護過程実習事前指導（10）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】介護過程実習における介護過程記録用紙の記入の仕方等を振り返る。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第14回	介護過程実習事前指導（11）介護過程の展開についての理解を深める。	
	【予習】D-1.2.3表、E-1.2表、F表、G表の記入方法や書き方の視点をしっかり理解する。	90分
	【復習】介護過程の授業と関連して、具体的な記入方法を理解する。	90分
第15回	介護過程実習事前指導（12）介護過程実習に向けての自己の考えを明らかにできる。	
	【予習】手引きやこれまでの資料から介護過程実習の意義と目的、自己目標を関連付けて考えをまとめる。	90分
	【復習】介護過程実習の自己課題・目標が達成できるよう、より考えを深める。	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W127-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護総合演習		担当教員名	毛利 愉子					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護過程実習		後継科目						
関連科目	実習指導 実習指導 介護福祉論 ~								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	学生自ら設定する学習課題に基づき、介護福祉士として必要な能力を総合的に習得します。								
学習目標	さまざまな利用者の暮らし、多様な介護サービスのあり方を検討する。主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身に付ける。								
キーワード	多様な介護サービス 自主的 自己課題 介護観								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	様々な利用者の全体像を総合的に理解し、個別性を踏まえたうえで、ケアのあり方を理解する								
LO-2	自立に向けた生活支援技術のあり方を考え、実践することができる。生活意欲を引き出すコミュニケーションを工夫できる。生活支援技術の到達レベルを確認し、補完することができる								
LO-3	チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-4	自己の課題の達成に向けて計画的に、取り組むことができる。各自の介護観について理解を深めることができる								
LO-5	協調性や責任感があり、意欲的に取り組むことが十分にできる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		50						100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3			50						50
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程実習の事後指導（1）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】実習記録、経験録を見直す	20分
	【復習】自己評価を見ながら振り返る	25分
第2回	介護過程実習の事後指導（2）自己の事例を整理する	
	【予習】受け持った利用者の記録D1～3、E-1・E-2,F,G表を見直す	20分
	【復習】受け持った利用者の記録で、情報や内容があいまいなところを訂正する。既定の方法で整理する	25分
第3回	総合実習の目的、意義について理解する。実習配属事業の確認とリーダーを決める	
	【予習】実習の手引き総合実習の内容を確認	40分
	【復習】総合実習の流れ（プログラム）を確認する。配属先（事業所）の特徴を調べておく	20分
第4回	多様な施設における介護の展開について理解できる。DVD グループワーク	
	【予習】実習施設の特徴をすべて調べる	30分
	【復習】各事業所のサービスについてその特徴を確認しておく	30分
第5回	特別講義を受ける	
	【予習】総合実習について実習の手引きを見直す	40分
	【復習】特別講義を受けて気づいたことをレポートにして提出する	20分
第6回	グループワークを通して、総合実習における自己の課題を明確にする	
	【予習】今までの実習を振り返り、到達していないこと、苦手なことなどをまとめておく	30分
	【復習】グループワークで意見交換したことから自己の課題を整理しておく	30分
第7回	総合実習における自己の課題を設定し、完成させて提出する	
	【予習】今までの実習記録や経験録、事前事後レポートを見直す	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	25分
第8回	総合実習事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	20分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	25分
第9回	自己の課題を踏まえ、自主的な実習になるための自己プログラムを作成する	
	【予習】実習の手引き 総合実習のプログラムを見ておく	20分
	【復習】他者の意見を聞き自己のプログラムを見直す	40分
第10回	実習事前報告 事前訪問で気づいたこと、注意事項を報告する。他者の意見を受け実習の課題を確認する	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	40分

第11回	総合実習最終オリエンテーション	
	【予習】実習に必要なことを確認しておく	20分
	【復習】自己のプログラムを見直して実習に備える	25分
第12回	事後報告 事後レポートを確認する	
	【予習】実習終了し、自己の課題について振り返り事後レポートを完成させておく	20分
	【復習】実習が終了し、他者の意見を聞いて、学んだことを整理しておく	25分
第13回	総合実習を終えて グループワーク（1） 自己課題の達成と介護に対する考え方	
	【予習】実習記録 事前事後レポート 経験録を見直す	20分
	【復習】グループワークの意見を受け、自己の課題を整理しておく	40分
第14回	総合実習を終えてグループワーク（2） 介護に対する考え	
	【予習】前回の意見を踏まえ、自己の意見を整理しておく	20分
	【復習】他者の意見を受け、自己の介護観をレポート提出する	40分
第15回	総合実習報告会 発表	
	【予習】自己の総合実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分

授業科目名	基礎実習			科目コード	W129-10				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習	担当教員名	毛利 愉子						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	実習指導	後継科目	介護計画実習 実習指導						
関連科目	生活支援技術 医学一般								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	言語による意思疎通が可能な高齢者または障害者と関わり、施設における生活やその人らしい暮らし方が理解でき、学内で学習した基礎的な生活支援技術について理解を深めます。また、在宅で福祉サービスを受けている利用者の居宅を訪問介護員と一緒に同行訪問し、個別ケアを理解すると共に、利用者・家族とのコミュニケーションの実践を行います。								
学習目標	1. 利用者とかかわりを持つための基本がわかる。2. 高齢者・障がい者等の多様な生活を知る。3. 自立に向けた生活援助を見学・体験して、生活支援技術について理解を深める。								
キーワード	基礎実習、コミュニケーション、生活支援、施設実習、訪問介護実習								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 利用者都関わりを持つための基本がわかる。多様な暮らし方がわかる。								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。個々の生活支援方法の違いが理解できる。利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。利用者とかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。社会的役割 施設・事業所について理解できる。家族とかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】A表追記	0分
第2回	2日目 1.利用者との交流を図るため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第3回	3日目 1.利用者との交流を図るため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。(ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわり、コミュニケーション技法を用いて意図的な会話を展開する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】自己課題を調査まとめておく。	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	0分
第6回	6日目 1・2・3・6・7は同様。	
	【予習】B表記入	0分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	0分
第7回	7日目 1・2・3・6・7は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】B表記入 反省会の準備をする。	0分
	【復習】A表・B表・C表(1枚)・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分
第8回	訪問介護実習1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者との行動予定を確認する。 4.利用者の在宅生活の流れとサービス内容を知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習事業所(パンフレット、HPなど確認)・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 訪問実習のファイル確認。	0分
	【復習】A表記入 毎日の記録・訪問の記録の記入	0分
第9回	訪問介護実習 2日目 1.同行訪問の対象利用者の状況やサービス内容と目的について理解する。 2.利用者の状況に応じたコミュニケーションができる。 3.サービス内容を見学し、補助的役割ができる。	
	【予習】地域の地図確認 居宅サービスについて調べる 自己課題の確認事項	0分
	【復習】毎日の記録・訪問の記録の記入	0分
第10回	訪問介護実習 3日目 1-3同様 4.実習の成果についてまとめ、意見を言うことができる。(反省会)	
	【予習】地域の地図確認 居宅サービスについて調べる 自己課題の確認事項 反省会の準備	0分
	【復習】A表・毎日の記録・訪問の記録・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W129-11				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	井上 理絵					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	基礎実習 生活支援技術 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の背景を知り、個人の全体像を把握することができるよう、情報を収集していくことを目指します。また、利用者の個別的ニーズがわかり、反応を確かめながら介護を展開します。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の全体像を把握し、ICFに基づいて記録できる。 2. 多職種との協働を経験し、介護職員の役割が理解できる。 3. 自立に向けた援助の在り方を考え、実践できる。 4. 受け持ち以外の利用者の状態を大まかにとらえることができる。 5. 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践する事ができる。 6. 施設職員の役割が理解できる。								
キーワード	介護計画実習、受け持ち利用者、ICF、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者を大まかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。 自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。								
LO-3	記録と計画 利用者の全体像が分かるように、具体的に記録する。 実行可能な開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習施設（パンフレット、HPなど確認）・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 実習先に電話でアポイントを取る。 事前レポート完成 受け持ちしたい利用者像を記入。 A・B表記入	0分
	【復習】 A・B表記入	0分
第2回	2日目 1.受け持ち利用者を決定するため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 A表追記	0分
第3回	3日目 1.受け持ち利用者を決定する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。（ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。	0分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわかり、本人の思いを引き出すように意図的な会話を展開して情報収集する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表記入 レクリエーションの企画書作成。	0分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。 8.受け持ち利用者の情報・生活支援方法の根拠を考え、指導者・担当教員と相談する。 9.レクリエーションの相談・確認を行う。	
	【予習】 B表記入	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 C・D表を記入する。 経験録を記入確認する。 レクリエーションの準備。	0分
第6回	6日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表を記入する。	0分
第7回	7日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	0分
	【復習】 自己課題をまとめておく。	0分
第8回	8日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入 レクリエーションの準備をする。	0分
	【復習】 D表の下書き完成 自己課題を調査まとめておく。	0分
第9回	9日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入	0分
	【復習】 カンファレンスの準備 自己課題をまとめておく。	0分
第10回	10日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】 B表記入 反省会の準備をする。	0分
	【復習】 A表・B表・C表(2枚)・D表・レクリエーション企画書・報告書・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	0分

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W129-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護計画実習		後継科目	総合実習 実習指導					
関連科目	介護過程 、 、 、 基礎実習 実習指導 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための「受け持ち利用者」の介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正という介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。								
学習目標	「受け持ち利用者」のアセスメント・計画・立案・実践・評価・修正といった介護過程のプロセスを全面的に理解する。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実践することができる。								
キーワード	介護計画立案・実施・評価 受け持ち利用者 生活支援技術 夜勤実習 通所介護・通所リハビリ実習								
テキスト・ 参考書等	平成26年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。さまざまな社会資源を知り、活用の仕方が理解できる。								
LO-2	個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。生活支援技術の習得には、積み重ねが必要であることを理解できる。								
LO-3	ニーズを踏まえた実行可能な介護計画を立案し、実施、評価、修正ができる。介護過程や実施した事柄を具体的に簡潔に記録することができる。								
LO-4	受け持ち利用者の援助を中心に、他の職種・職員との協働を体験する。専門性のあり方について理解できる。								
LO-5	居宅サービスを体験し、施設と地域とのつながりが理解できる。個別性を尊重した自立支援について理解を深めることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】1日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。持ち物の確認を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第2回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】2日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。受け持ち利用者を決定するための情報を整理する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第3回	受け持ち利用者の決定。(候補者を2、3人あげ、指導者に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し、同意を得る) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ アレンスをやる。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】3日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第4回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】4日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第5回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファ	
	【予習】5日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にして記入していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第6回	受け持ち利用者の情報収集・確認(再度、不足している情報を多方面から収集する。追加・訂正したものを指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】6日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報を記入し、仕上げる。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第7回	受け持ち利用者の情報収集完成(実習の手引きの記入上の留意点を再度確認し、全体像を捉えていく。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】7日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。完成したD1.2.3表を基に、10の介護の視点を文章化していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を介護上の課題を明確にするために、介護の10の視点から情報の意味づけ、統合を行う。	0分
第8回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し	
	【予習】8日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第9回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験し	
	【予習】9日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表、F表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第10回	中間カンファレンス(D-1.2.3表、E-1.2表、F表を基に、生活上の課題及び援助の方向性、具体的援助内容について説明し、助言を得る) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをやる。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】10日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。中間カンファレンスの準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。中間カンファレンスの振り返りをし、記録を整理する。	0分

第11回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】11日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第12回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】12日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第13回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第14回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第15回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】15日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第16回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】16日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第17回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】17日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第18回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】18日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第19回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】19日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第20回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】20日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分

第21回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】21日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第22回	介護過程の再アセスメント・介護計画立案・実施・評価をする 修正した介護計画を利用者に説明し、同意を得る。また、職員に口頭または文書で報告し、協力をお願いする。修正した介護計画の具体的援助内容は、行動予定に組み込み、利用者の意思を尊重し反応を確かめながら実施する。結果は必ず実習指導者に報告する。利用者の特性に応じた生活支援技術を実施し、経験したことを報告、記録する。	
	【予習】22日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分
第23回	まとめ・反省会 介護計画立案・実践・評価という一連の介護過程を振り返る。利用者にとって計画はどのような意義があったのかを総合評価する。設定した実習の自己目標が達成できたかどうか、実習全体をとおして気づいたことをまとめる	
	【予習】23日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。反省会に向けての準備をする	0分
	【復習】全ての記録類を確認して、提出用ファイルに綴じて提出する お礼状を書く	0分

授業科目名	総合実習			科目コード	W129-13				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護実習		担当教員名	毛利 愉子					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	実習指導、基礎実習 計画実習 過程実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士資格取得								
授業の概要	実習施設、事業所において実習指導者の指示、助言を受け、自己の課題を目標に自主的な姿勢で実習を展開する								
学習目標	1 さまざまな利用者の暮らし等を知り、多様な介護サービスのあり方を理解する 2 主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身につける								
キーワード	利用者理解 主体性 自己プログラム チームワーク 介護観								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者理解 さまざまな利用者の全体像を総合的に理解する。個別性を踏まえたうえでのケアの在り方を理解する								
LO-2	記録と計画 利用者の全体像が分かるように具体的に記述する 見学・体験した事柄を実習記録に記述することができる								
LO-3	生活支援技術 自立に向けた技術・意欲を引き出すコミュニケーションを工夫し、技術の到達レベルを確認できる								
LO-4	チームワーク チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-5	実習課題自己の課題の達成に向け計画的に取り組み、介護観について理解を深める								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前オリエンテーション 施設見学 事前レポートの提示	
	【予習】事前レポートの確認 オリエンテーションの記録内容の確認 質問内容	45分
	【復習】オリエンテーションを受けてきた内容を確認し記録する	45分
第2回	施設の一日の流れを知る 利用者の生活環境と一日の過ごし方を理解する 利用者との意図的なかかわりを実践する	
	【予習】実習の計画表を立て確認する	45分
	【復習】一日の実習を振り返り、見学・体験したことを記録に記載していく 翌日の自己の目標を考える	60分
第3回	実習指導者の説明を受け、基本的な生活支援技術を見学・体験していく ミニカンファレンスで気づいたことを発表し助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第4回	実習指導者の説明を受け基本的な生活支援技術の見学・体験をする ミニカンファレンスで気づいたことを発表し、助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第5回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第6回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第7回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第8回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第9回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分
第10回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	45分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	60分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア		担当教員名	中島 眞由美 松居 紀久子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し医療的ケアが必要な児・者及びその家族の相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	「医学一般 . . . 」 「介護福祉論 . . . 」を履修していること		後継科目	医療的ケア					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	医療的ケアの制度の概要、個人の尊厳と自立、倫理上の留意点、感染予防、安全管理体制等について基礎的知識を理解する内容とする。 喀痰吸引及び経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう基礎知識と実施手順を理解する内容とする。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法制度や倫理、職種の役割、救急蘇生法、感染予防など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎的知識を得る。 2. 喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、喀痰吸引を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 3. 経管栄養に必要な人体の構造と機能、経管栄養を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編「医療的ケア」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「こころとからだのしくみ」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「社会の理解」中央法規、介護福祉士養成講座編「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医行為に関連する法律や医療倫理、たんの吸引や経管栄養の実際の手順や留意点、救急蘇生法など、医療的ケアを安全・適切に実施するための基本的知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全に実施するための感染予防・健康チェックなどの基本的技能をもっている								
LO-3	医療的ケアの対象者とその範囲を理解し、提示された事例で適切に判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に授業に臨む姿勢を保持している。								
LO-5	医療的ケアを実施するにあたって本人及び家族に思いに共感し、人間の尊厳を考えることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	50		10						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章医療的ケア実施の基礎 第1節医療的ケア 医療的ケアとは何か 医療的ケアについて学ぶ意義 医行為について テキストP2～11 中島 1回～2 1回	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護の概念を復習してくる。	30分
	【復習】医療的ケアとは何か、医療行為は法的にはどのような行為か整理する。	30分
第2回	第1章医療的ケア実施の基礎 第1節医療的ケア 医療的ケアとは何か 医療的ケアについて学ぶ意義 医行為について テキストP2～11	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】介護福祉士が医療的ケアを行う要件を整理する。	30分
第3回	第1章第1節医療的ケア 喀痰吸引等制度 医療制度とその変遷 社会福祉士及び介護福祉士法の改正 喀痰吸引等制度の概要 テキストP11～21	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領、介護福祉士法の義務規定、個人の尊厳について整理する。	30分
第4回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 喀痰吸引等研修と介護福祉士養成課程における医療的ケア テキストP21～27	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	60分
	【復習】介護福祉職による喀痰吸引等制度と医療的ケアについて整理する。	90分
第5回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアを取り巻くその他の制度 介護保険法 障害者総合支援法 テキストP28～35	
	【予習】社会保障論で学習した制度について復習してくる。	60分
	【復習】医療的ケアを取り巻くその他の制度について整理する。	30分
第6回	第1章第2節安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性 リスクマネジメントの考え方と枠組み ヒヤリハット・アクシデント P37～P44	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護における安全の確保とリスクマネジメントについて復習してくる。	30分
	【復習】安全に喀痰吸引を行う重要性、リスクマネジメントの必要性を再確認する。ヒヤリハットとアクシデントの違いを整理する。	30分
第7回	第1章第3節清潔保持と感染予防 感染予防の基礎知識と正しい手洗い方法 うがい方法について テキストP62～67	
	【予習】介護福祉論 で学習した感染症対策について復習してくる。	30分
	【復習】感染を予防する標準予防策について整理する。	30分
第8回	第1章第3節清潔保持と感染予防 介護福祉職自身の健康管理と感染予防 P68～71	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、介護職の健康管理について理解する。	30分
	【復習】予防接種の種類、ケア内容と防護の必要性について整理しておく。	30分
第9回	第1章第3節清潔保持と感染予防 療養環境の清潔と消毒法 滅菌と消毒 テキストP71～77	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点を整理しておく。	90分
第10回	第1章第4節健康状態の把握 身体・精神の平常状態 バイタルサイン テキストP79～86	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、バイタルサインについて調べておく。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、自分の体温、脈拍をチェックしてみる。	30分

第11回	第1章第4節 健康状態の把握 急変状態 急変時の対応と事前準備 テキストP87～89	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、急変状態とその対応について整理しておく。	30分
第12回	第2章喀痰吸引 第1節高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 テキストP94～99	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、呼吸のしくみを調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、いつもと違う呼吸状態について整理する。	30分
第13回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 喀痰吸引とは テキストP100～104	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、喀痰吸引とはどのようなものか説明できるようにする。	30分
第14回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器と吸引 P104～112	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第15回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器装着者の生活上の留意点 人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医師・看護職との連携 テキストP113～116	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、人工呼吸器装着者の生活上の留意点について整理する。	30分
第16回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 子どもの吸引 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 説明と同意 P118～123	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、子どもの吸引について整理し、子ども及び保護者の気持ちと対応をまとめて書く。	30分
第17回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸器系の感染と予防 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全管理 テキストP123～132	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、吸引時に想定されるトラブルと対応事例について整理する。	30分
第18回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 急変・事故発生時の対応と事前対策 まとめ テキストP132～138	
	【予習】喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認について復習してくる。	30分
	【復習】第1節を振り返り、喀痰吸引の基礎的知識を整理しておく。	30分
第19回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順 喀痰吸引実施の手順と留意点1 テキストP138～154	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、喀痰吸引前の観察項目についてわからないことは調べて記録する。	30分
第20回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引の実施手順と留意点2 P138～154	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日も学習した内容を振り返り、吸引の実施手順について整理する。	30分

第21回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引にともなうケア 報告および記録 P154～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引におけるケアについて整理する。	30分
第22回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系のしくみと働き P164～170 松居 2 2回～3 3回	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、図3-1や簡略な消化器系統図を書く。	30分
第23回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系の主な症状 P170～171	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、消化器のしくみをまとめる。	30分
第24回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養とは P172～177	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第25回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養の実施上の留意点 P178～181	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	30分
第26回	第3章 第1節 経管栄養概論 子どもの経管栄養 P181～183	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、成人との違いを考える。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第27回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養に関する感染と予防、利用者・家族の対応、同意と説明 P184～188	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	30分
第28回	第3章 第1節 経管栄養概論 危険、注入後の安全確認 急変・事故発生時の対応と事前対策 P188～195	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからないところを出してくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	30分
第29回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P200～210	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	30分
第30回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P212～215	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	30分

第31回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 経管栄養に必要なケアと報告・記録 P215～219	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、経管栄養についてまとめる。	30分
第32回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 必要物品の準備 P44～57	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、デモンストレーションを実施する。	30分
第33回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 AED P49～59	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	30分
第34回	まとめ 医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養についての基礎的知識についてまとめる。	
	【予習】学習したこと全体を復習し、疑問点を出す。	30分
	【復習】期末試験に備えまとめる。	30分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 医療的ケア	担当教員名	中島 真由美 松居 紀久子						
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し政策立案をはじめ医療的ケアが必要な障害児・者、高齢者等の支援をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	障害者ケア論	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	喀痰吸引及び経管栄養について、根拠に基づき安全かつ確実に実施できるよう、シミュレーターを用いて学習します。また、救急蘇生をデモンストレーションに見て、手引きに基づき実施します。								
学習目標	1 医療的ケアを安全適切に実施するために基礎的な知識・技術に基づき確実な実施ができる。 たんの吸引をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 経管栄養をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 2 救急蘇生法をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。								
キーワード	医療的ケア たんの吸引 経管栄養 救急蘇生法 介護業務								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「医療的ケア」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療的ケアを安全に効果的に実施する上で必要な知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全・適切に実施するための技能を有しており、5回以上実施手順に基づき全工程をクリアできる。								
LO-3	利用者の状態に応じた医療的ケアについて考え判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に授業に臨む姿勢を保持している。								
LO-5	医療的ケアをシミュレーターを用いてグループメンバー同士で協力し合い円滑に進むよう行動できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30				50	20			100
LO-1	20								20
LO-2					50				50
LO-3	10								10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業の参加態度に点数をつける。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	経管栄養演習1 胃ろうデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケアを復習してくる。	90分
	【復習】本日実施したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	90分
第2回	経管栄養演習2 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに従い12回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第3回	経管栄養演習3 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	90分
第4回	経管栄養演習4 胃ろうのケアまとめ 口腔内・喀痰吸引を一人ずつチェックリストに従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票の基づき、振り返る。	90分
第5回	経管栄養演習5 経鼻経管栄養のケアデモンストレーション 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】医療的ケア で学んだことを復習してくる。	90分
	【復習】本日学習したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	90分
第6回	経管栄養演習6 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第7回	経管栄養演習7 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第8回	経管栄養演習8 経鼻経管栄養のケアまとめ 一人ずつチェックリストにもとづき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第9回	喀痰吸引演習1 口腔内吸引・鼻腔内吸引のデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	90分
	【復習】本日実施したおことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	90分
第10回	喀痰吸引演習2 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分

第11回	喀痰吸引演習3 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第12回	喀痰吸引演習4 口腔内吸引・鼻腔内吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第13回	喀痰吸引演習5 気管カニューレ内部の吸引デモンストレーション 必要物品・手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	90分
第14回	喀痰吸引演習6 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第15回	喀痰吸引演習7 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第16回	喀痰吸引演習8 気管カニューレ内部の吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	90分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	90分
第17回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	90分
第18回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	90分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	福祉ビジネス						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	福祉ビジネスとは「個人または組織が、人々の抱える福祉的課題を軽減または解決するために、財・サービスを提供する活動」のことである。本科目は、日本の福祉ビジネスの全体像を把握したうえで、特に福祉ビジネスで起業することの意義や方法などを学ぶ。								
学習目標	本科目では、福祉ビジネスと他のビジネスとの比較を通じて、福祉ビジネスの特徴を学修するほか、福祉ビジネスの起業に焦点をあて、資金調達の方法、福祉ニーズの捉え方、ビジネスモデルの構築方法などについて事例研究を交えながら学修する。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識をしっかりと身につけている。								
LO-2	福祉ビジネス分野に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野に求められる基礎的な技能をある程度身につけている。								
LO-4	福祉ビジネス分野に求められる基礎的な技能を身につけようという意欲はある。								
LO-5	福祉ビジネス分野に求められる基礎的な技能がない。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	80		20						100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 福祉ビジネスとは何か	
	【予習】	0分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	180分
第2回	日本の福祉の歩み	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第3回	福祉ビジネスとは 定義と流れ	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第4回	福祉ビジネスとは 他のビジネスとの比較	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第5回	福祉ビジネスの提供物 サービス	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第6回	福祉ビジネスの提供物 財	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第7回	福祉ビジネスの起業事例 児童	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第8回	福祉ビジネスの起業事例 高齢者	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】これまでの講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W151-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	小平 達夫 林 千晶						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	福祉ビジネス	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	社会福祉学の基礎理論とともに、経営管理や労務管理、リスクマネジメント領域の理論を学ぶことで、実際の福祉の現場で活躍できる実践的な知識や素養を身につける。同時に福祉領域における良質なサービスを提供できる組織と管理について説明することができる。								
学習目標	社会福祉サービスの特徴、社会的ニーズを説明する。 社会福祉サービスを提供する組織・施設の経営管理について言及する。 福祉サービスを担う人材形成のあり方について説明する。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉の現場で活躍できる十分な実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識を十分に身につけている								
LO-2	福祉の現場で活躍できる実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識を身につけている								
LO-3	福祉の現場で活躍できるある程度の実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識をある程度身につけている								
LO-4	福祉の現場で活躍できる実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識を身につけようという意欲はある								
LO-5	福祉の現場で活躍できる実践的な知識と素養、福祉領域の組織とその管理の知識を身につけようという意欲がない								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	80		20						100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 福祉ビジネスとは何か。一般ビジネスビジネスと制度ビジネス（介護保険）についてとその相違点。	
	【予習】「ビジネス」というワード調査及び「介護保険制度」について調べてくる。	0分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	180分
第2回	就労支援事業所のビジネスモデルよりイノベーションを理解する。	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第3回	就労支援事業所のビジネスモデルより4C（コミュニケーション、コラボレーション、コーディネーション、コンサルテーション）を理解する。	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第4回	住環境から福祉ビジネスを考える	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第5回	住環境から福祉ビジネスを考える	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第6回	住環境から福祉ビジネスを考える	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第7回	住環境から福祉ビジネスを考える	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分
第8回	まとめと振り返り	
	【予習】前回配布した資料を予習する	90分
	【復習】これまでの講義内容について、わからない点などが無いが復習する	90分

授業科目名	情報処理演習			科目コード	W151-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活と情報		後継科目						
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムについて学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの応用操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	未定								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC3級の問題(文書作成・データ活用)の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する	45分
第2回	ファイルとフォルダの操作(1) 文書処理に関する知識 レイアウト 問題1	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第3回	ファイルとフォルダの操作(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	ワープロの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	文書の作成の基本	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】文書の作成を完了する	25分
第6回	社外文書の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	インターネットの活用	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成 クリッカー問題 1 2 3 4 5 6	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W151-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 福祉ビジネス	担当教員名	吉牟田 裕						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	生活と情報								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	生活を支えるために利用者が用いる情報システムや、一人暮らしの高齢者の生活を見守る情報ネットワークシステム、介護施設において、ケアプランの作成・介護保険の請求・介護記録の蓄積・分析に用いられる情報システムに注目し、福祉と情報の関わりについて学ぶ。								
学習目標	福祉のさまざまな場面で利用される情報システムの構成や設計理念を理解し、介護現場での情報機器を活用方法を身につけることを目的とします。								
キーワード	情報システム、ネットワーク、生活支援、見守り、介護記録								
テキスト・ 参考書等	プリントを配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉のさまざまな場面で利用される情報システムの構成や設計理念を理解する。								
LO-2	介護現場での情報機器の活用方法を身につける。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	70								70
LO-2			30						30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス (授業内容の説明、成績評価など) 情報システムと福祉	
	【予習】本シラバスを熟読する	20分
	【復習】情報システムと福祉の概要について理解する	25分
第2回	情報システムの発展と福祉 上山清二著「Webで学ぶ情報処理概論」より [リンク] コンピュータの構成	
	【予習】	0分
	【復習】これまでの情報システムとの発達と、福祉への応用を理解する。	45分
第3回	生活を支援する情報システム(1)「読み上げる」	
	【予習】	0分
	【復習】いろいろなアプリケーションの読み上げを使って評価する	45分
第4回	生活を支援する情報システム(2) コミュニケーション支援	
	【予習】	0分
	【復習】コミュニケーション支援システムを使って生活してみる	45分
第5回	生活を支援する情報システム(3) パソコンのユーザー支援	
	【予習】	0分
	【復習】ユーザー支援を設定したパソコンを使用し、支援を評価する	45分
第6回	生活を支援する情報システム(4) スマートフォン・タブレットのユーザー支援	
	【予習】	0分
	【復習】ユーザー支援を設定したスマートフォン・タブレットを使用し、支援を評価する	45分
第7回	生活を見守る情報システム(1) 生活の中で自然に安否発信 ICTを活用した高齢者見守りと生活支援型コミュニティづくり岩手県立大学 社会福祉学部 小川晃子	
	【予習】	0分
	【復習】日常生活の動作で安否発信するシステムを理解する	45分
第8回	生活を見守る情報システム(2) センサーを使う	
	【予習】	0分
	【復習】センサーによる見守りを理解する	45分
第9回	生活を見守る情報システム(3) 監視と見守り	
	【予習】	0分
	【復習】見守られる立場から、見守りと監視について考察する	45分
第10回	生活を見守る情報システム(4) 情報の組み合わせ	
	【予習】	0分
	【復習】インフォーマルな情報とフォーマルな情報の組み合わせの「見守り」について理解する	45分

第11回	福祉施設の情報システム(1) 介護保険は情報システムを前提として始まった 介護ソフト(サンプル)ダウンロード	
	【予習】	0分
	【復習】 介護保険制度の中の情報システムの役割について理解する	45分
第12回	福祉施設の情報システム(2) ケアプラン作成	
	【予習】	0分
	【復習】 ケアプランの作成における情報システムの役割について理解する	45分
第13回	福祉施設の情報システム(3) 介護事務と情報システム 介護記録と情報システム RacNote 学内の仮サーバ一般ユーザ	
	【予習】	0分
	【復習】 介護事務における情報システムの役割について理解する	45分
第14回	福祉施設の情報システム(4) 介護記録と情報システム	
	【予習】	0分
	【復習】 介護記録を情報システムで支援する際の問題について考察する	45分
第15回	まとめ	
	【予習】 これまでの学習で、わからない点や疑問点はないかチェックする	45分
	【復習】	0分

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W153-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫 小野 淳一						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	介護事務概論 医療秘書実務 診療報酬請求事務						
関連科目	福祉ビジネス ・ 、インターンシップ								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する								
学習目標	日本国憲法と社会保障の関連性を理解する。 医療の歴史を理解し、健康と医療の関連について理解する。 医療事務に必要な基礎的知識を習得する。								
キーワード	健康 医療保険制度 医療的機関 外来業務 接遇								
テキスト・ 参考書等	医療事務[第2版] 医療秘書教育全国協議会編 長面川さより・丹野清美・齋藤麻衣子共著 建帛社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、高齢者医療制度、公費負担医療制度、介護保険制度、医事法規一般、医事業務、医学一般、薬学一般に関する基礎的な知識を有する。								
LO-2	患者接遇の基本が身についている。(窓口対応、電話対応)								
LO-3	医療チームの一員として、自分の健康感を持ち、健康な体作りや環境について意見述べることができる。								
LO-4	興味関心を持って授業に臨み、積極的に参加する。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20			30	10			100
LO-1	40	20							60
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4						10			10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、健康とは上橋菜穂子と津田篤太郎の対談から学ぶ 各自の健康観を考える	
	【予習】WHOの健康の定義を調べる	30分
	【復習】健康の概念を整理する。	30分
第2回	医療の歴史(1) 民間療法に関する文献学習を通して、東洋医学の一端に触れる。GW	
	【予習】民間療法について家族から情報を収集する。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第3回	医療の歴史(2) 民間療法に関する文献学習したことを発表する。	
	【予習】発表内容をまとめる。	30分
	【復習】民間療法をまとめる。	30分
第4回	医療の歴史(3) 東洋医学と西洋医学	
	【予習】西洋医学の特徴について調べる	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第5回	医療保険制度 (医療保険の概要、保険の給付、健康保険、国民健康保険ほか)	
	【予習】各自の健康保険の種類を調べてくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第6回	保険医療機関と窓口業務 (医事担当者の心得 外来・入院業務 窓口会計業務)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第7回	医療保険制度 (船員保険、各種共済組合法、退職者医療制度)、後期高齢者医療制度	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第8回	医療保険制度 (後期高齢者医療制度)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第9回	労働者災害補償保険・自動車損害賠償保険法	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第10回	医事法規一般(医療保障制度の基礎用語、医療法)	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

第11回	医事法規一般（医療保険各法）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第12回	医事法規一般（療養担当規則）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第13回	診療報酬請求業務	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第14回	診療録（医科医療用語・略語、カルテ読解に必要な事項）	
	【予習】テキスト該当箇所を読んでくる。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】今までに学習したことを振り返る。	30分
	【復習】本時で学習したことをノートにまとめる。	30分

授業科目名	医療秘書実務			科目コード	W153-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護事務概論、医療事務概論とインターンシップを履修していることが望ましい。			後継科目	医療と介護の報酬請求				
関連科目	医療事務概論、介護事務概論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク、メディカルクラーク								
授業の概要	一般的な秘書としての知識・技能について学習した上で、医療秘書に求められる知識・技能について学習する。特に、患者とのさまざまな場面における応対を中心に演習を行う。診察や検査にかかわる医療情報の処理業務や電話の応対、受付や診察案内等の来客対応、医療職場での多職種との連携等の幅広い業務を行うための知識技術を習得する。								
学習目標	秘書に求められる初歩的な知識・技能を身につける。(秘書検定3級レベル) 医療秘書に必要な知識・技能を身につけている。(医療秘書技能検定3級レベル)								
キーワード	秘書、医療、接遇								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務・介護事務職員として必要とされる資質に関する知識を説明できる。また、医療事務・介護事務職員の機能と役割、職務上の心得と仕事の進め方について説明できる。そして、患者の対応の基本知識を説明できる。								
LO-2	接遇の実際を身につけている。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10			30	10			100
LO-1	50	10				10			70
LO-2					30				30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第2回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第3回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第4回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第5回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第6回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第7回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第8回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第9回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第10回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分

第11回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第12回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第13回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第14回	介護報酬制度・介護報酬請求事務における各種報酬について理解を深める	
	【予習】介護福祉経営士テキストの各種報酬について調査してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】これまで授業で学んだことを理解してくる。	30分
	【復習】授業内容の振り返り。	30分

授業科目名	医療と介護の報酬請求			科目コード	W153-14				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小野 淳一 松島 紘子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	医学一般 . . . 、医療事務概論	後継科目							
関連科目	診療報酬 、介護事務概論								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書（レセプト）の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。また、介護報酬請求事務の算定方法を習得する。								
学習目標	基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 カルテ・ケアプランの記載事項を把握できるようにする。 カルテ・ケアプランから診療報酬明細書（レセプト）が作成できるようにする。								
キーワード	医療保険、診療、検査、薬、診療報酬								
テキスト・ 参考書等	配布資料 介護報酬サービスコード表								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務・介護事務に必要な知識を有する								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や診療・介護報酬請求に必要な技術を有する								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	50					20			70
LO-2		30							30
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、介護報酬とは、介護報酬の決め方、介護報酬点数表の算定	
	【予習】介護事務概論の配布資料を読んでくる。	90分
	【復習】事例問題を解く。	90分
第2回	居宅サービスの事例 1	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第3回	居宅サービスの事例 2	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第4回	居宅サービスの事例 3	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第5回	施設サービスの事例 1	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第6回	施設サービスの事例 2	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第7回	総合問題 1	
	【予習】介護事務概論テキストの資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第8回	総合問題 2	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第9回	総合問題 3	
	【予習】介護事務概論の資料を読んでくる	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第10回	診療報酬とは	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分

第11回	窓口対応 事例	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第12回	保健医療制度に関する知識問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第13回	保険医療制度に関する知識問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第14回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】医療事務概論テキストの該当項目を読んでくる。	90分
	【復習】本時の授業内容を整理する。質問事項を出す。宿題の事例をする。	90分
第15回	診療報酬請求事務 明細書点検 総合問題	
	【予習】14回までの学習内容を振り返り、わからないところを書き出してくる。	90分
	【復習】まとめをする。	90分

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W153-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	現代社会と福祉を履修していること	後継科目	医療と介護の報酬請求						
関連科目	医療秘書実務								
資格等 取得との関連	メディカルクレーク、ケアクレーク								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる								
LO-3									
LO-4	ケアワーク試験に対して意欲的に取り組むことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30	10			10			100
LO-1	30	20							50
LO-2	20	10							30
LO-3									
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他10点は、受講態度、出席状況から総合的に判断する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、ケアクラーク資格取得に必要な学習内容の概略を知る。人間関係、高齢者・障害者の心理、社会福祉、老人福祉、地域福祉、社会福祉援助技術他筆記試験に必要な知識を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	60分
第2回	介護関連施設について理解する。(在宅サービス)	
	【予習】在宅支援について調べてくる。	30分
	【復習】介護保険と高齢者福祉の手引きにて復習を行うこと。	30分
第3回	介護報酬請求業務の居宅サービスについて理解する。	
	【予習】介護保険における居宅サービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】本時の授業内容を振り返る。宿題をする。	60分
第4回	介護報酬請求事務について理解する。居宅サービス	
	【予習】居宅介護サービスについて理解する。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。宿題をする。	90分
第5回	介護報酬請求事務施設サービスについて理解する。	
	【予習】介護施設サービスについて調べてくる。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。宿題をする。	90分
第6回	薬学一般(医薬品の種類と薬効分類、各器官系に作用する薬物)	
	【予習】自分の家にある常備薬について、シートに記入する。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。	30分
第7回	介護報酬請求事務施設サービスについて理解する。	
	【予習】介護施設サービス地域密着型について調べてくる。	60分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。宿題をする。	90分
第8回	介護保険制度(介護支援専門員、要介護認定)	
	【予習】介護支援専門員の英語訳を調べる。	30分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。ノートを整理する。	30分

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W153-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	医療事務概論	後継科目	介護事務概論、診療報酬						
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで医療事務、介護事務の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務などの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。また、現場での学びを通して卒業後の進路選択や専門職としてのあり方について考察し、2年次に学習する「介護事務概論」やメディカルクラーク、ケアクラークの資格取得への動機づけとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみなどを理解する。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応に必要な技能を理解している。								
LO-3	医療・介護の事務組織の役割について考察することができる。								
LO-4	実習目的を自覚して意欲的に行動できる。計画的に取り組むことができる。マナーをきちんと守り、明るく、身だしなみを整えて行動することができる								
LO-5	医療機関や介護保険施設・事業所の多職種との連携・協働のあり方を理解できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			20		20				40
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					30				30
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論のテキストの該当項目を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る	60分
第2回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論テキストの該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第3回	介護保険事務の流れや受付業務、介護請求事務のしくみを理解できる。	
	【予習】介護保険制度のサービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第4回	福祉ビジネス分野の多様なサービスを理解する 福祉用具、販売事業 サービス付高齢者住宅	
	【予習】介護保険制度における福祉用具貸与・購入について調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第5回	(1) インターンシップで観察・体験したことをワークシートにまとめる。 (2) 観察・体験したことを発表・意見交換することで、学びを共有する。	
	【予習】4日間の見学体験したことを振り返る。	60分
	【復習】インターンシップ全体を通して、学んだことをまとめる。	60分
第6回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第7回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第8回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第9回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第10回		
	【予習】	分
	【復習】	分

第11回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第12回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第13回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第14回		
	【予習】	分
	【復習】	分
第15回		
	【予習】	分
	【復習】	分

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W153-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス - 医療・介護事務	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	学内の教員や学園内の教員の他外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	社会福祉業界を幅広く捉え、社会福祉業界を俯瞰して見れる視野を身に付けると共に今後のキャリア形成時の参考とする。								
キーワード									
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを十分に理解している。								
LO-2	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを理解している。								
LO-3	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスをある程度理解している。								
LO-4	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを理解しようする姿勢である。								
LO-5	富山県から発信されている特色ある取組及び全国で先進的に取組んでいる具体的な取組事例に触れ、日本における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを理解しようする姿勢があまりない。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		60						100
LO-1	40		20						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	担当教員から課題レポートを課すことを基本とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	60分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	30分
第2回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造性を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第3回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第4回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第5回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第6回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第7回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第8回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第9回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第10回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分

第11回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第12回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第13回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第14回	一般企業が取り組む介護事業とその発展性	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業内容を理解してくる。	0分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	0分

授業科目名	社会保障論			科目コード	W171-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	小平 達夫						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論						
関連科目	介護福祉論、ならびに高齢者福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座2「社会の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識と理解を有する。								
LO-2									
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる判断力を有する。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	50								50
LO-4									
LO-5									
備考	期末試験(筆記)で成績評価をおこないます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域福祉の発展	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域福祉の理念、地域福祉の歴史的展開、地域福祉の充実、災害と地域社会に関して、授業内容をまとめておく。	90分
第2回	地域共生社会、ニッポン一億総活躍プラン、地域包括ケア	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域共生社会を目指す社会的背景、地域共生社会の理念、地域共生社会に向けた取り組み、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムについてまとめておく。	90分
第3回	社会保障の基本的な考え方	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障の範囲、社会保障の意義と役割、社会保障の目的と機能、ライフサイクルから見た社会保障についてまとめておく。	90分
第4回	生活の基本機能	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第5回	地域のグローバル化と外国人ケア労働者との協働	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】外国人ケア労働者の国際労働移動について理解する	90分
第6回	地域のグローバル化と外国人ケア労働者との協働	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】外国人ケア労働者の国際労働移動について理解する	90分
第7回	医療保険、現代社会と社会保障制度（1）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】医療保険、雇用保険、労災保険、各種社会扶助、少子高齢化の進行と社会保障、財政問題と社会保障、社会保障における給付と負担の関係、持続可能な社会保障制度などについてまとめておく。	90分
第8回	医療保険、現代社会と社会保障制度（2）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】医療保険、雇用保険、労災保険、各種社会扶助、少子高齢化の進行と社会保障、財政問題と社会保障、社会保障における給付と負担の関係、持続可能な社会保障制度などについてまとめておく。	90分
第9回	高齢者保健福祉の動向、高齢者保健福祉に関する法体系	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】高齢者保健福祉に関する歴史、人口の高齢化と高齢者保健福祉、高齢者の健康保持と社会参加、高齢者保健福祉における今日的課題と展望、高齢社会対策基本法、老人福祉法、高齢者医療確保法についてまとめておく。	90分
第10回	介護保険制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護保険制度における組織・団体の役割、介護支援専門員の役割、介護保険制度の動向についてまとめておく。	90分

第11回	障害者保健福祉と障害者総合支援制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】障害者総合支援制度創設の背景及び目的、市町村・都道府県・国の役割、自立支援給付と地域生活支援事業、財源と利用者負担、障害福祉サービスの種類と内容及び利用手続き、障害支援区分の認定、協議会と基幹相談支援センター、相談支援事業と相談支援専門員、障害児を支える障害者総合支援制度についてまとめておく。	90分
第12回	個人の権利を守る制度・施策	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】虐待防止に関する制度・施策、サービス利用に関する制度・施策、その他の個人の権利を守る制度・施策をまとめておく。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（人々の権利を擁護する諸制度）	
	【予習】テキスト第5章の第1節をよく読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】介護職に求められる権利擁護の制度の種類や内容を整理しておく。	90分
第14回	保健医療に関する制度・施策	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】保健医療に関する制度・施策、生活習慣病の予防・対策に関する制度・施策、結核・感染症の予防・対策に関する制度・施策、HIV（エイズ）の予防・対策に関する制度・施策についてまとめておく。	90分
第15回	貧困対策・生活困窮支援に関する制度・施策、地域生活を支援する制度・施策	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】生活保護法、生活困窮者自立支援法、生活福祉資金貸付制度、就労支援・雇用促進に関する制度・施策、住生活を支援する制度・施策、自殺を予防する制度・施策、ひきこもり対策についてまとめておく。	90分

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W171-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉		後継科目	社会的養護					
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ あなたは子ども？	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する 第1回授業課題書式	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】5月8日4限クラスアワー 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-31				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論 ・ 、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・ 、リハビリテーション論、児童家庭福祉論								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワークの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	地域福祉論 地域福祉の理論と方法 著書 社会福祉学習双書 発行 全国社会福祉協議会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の歴史や経緯、今日の実践を理解できること。								
LO-2	地域課題に対して、求められる支援を提案できること。								
LO-3	今日の地域課題を汲みとったり、事例の意義を考えたりできる。								
LO-4	新聞をはじめとする報道や各種事例に関心をもって、さらに追求しようとする意欲と態度が見られる。								
LO-5	地域福祉のこれまでの実践に関して、その意義や役割をとらえることができている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	編入学希望者以外も履修できます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方の確認、地域福祉の概説、地域福祉事業・活動の実際、	
	【予習】教科書の読み込み	30分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第2回	地域福祉計画と地域福祉活動計画について	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第3回	地域福祉の理念、社会福祉法、自立生活支援、権利擁護、苦情解決、生活困窮者自立支援、社会的包摂、	
	【予習】教科書の読み込み	30分
	【復習】具体的な地域生活課題を考える。	60分
第4回	地域福祉の原則、地域福祉の概念、	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第5回	地域福祉における参加の意義、住民参加と協働、地域住民と市民について	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】ノートを基に振り返りをする	30分
第6回	地域福祉におけるアウトリーチの意義、	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	30分
第7回	社会福祉の基盤整備と地域福祉の歴史	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分
第8回	在宅福祉サービス、特定非営利活動促進法、社会福祉改革と地域福祉の進展、社協活動、社会福祉法と地域福祉などについて	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	30分
第9回	安心生活創造事業、これからの地域福祉のあり方、地域福祉の現状、地域福祉実践の多様な展開など	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	60分
	【復習】授業のノートで振り返りをする。	30分
第10回	新たな地域福祉の展開、地域福祉の主体、	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	60分
	【復習】ノートをもとに振り返りをする。	30分

第11回	地域福祉にかかる住民や専門職の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	60分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	60分
第12回	ボランティア活動、福祉教育	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	0分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	0分
第13回	地域福祉にかかる組織や団体の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	60分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	60分
第14回	社会福祉協議会、共同募金	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	60分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	60分
第15回	民生委員・児童委員、特定非営利活動法人、生協・農協、当事者団体・セルフヘルプグループ、企業の社会貢献活動など	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	60分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	60分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W171-32				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	関 好博						
実務経験	地域福祉の推進団体である社会福祉協議会での勤務で得た知識や経験を活かし、授業に反映させる。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障論	後継科目	なし						
関連科目	介護福祉論 ・ 、認知症ケア論 ・ 、障害者ケア論 ・ 、リハビリテーション論、児童家庭福祉論								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)、								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワークの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	地域福祉論 地域福祉の理論と方法 著書 社会福祉学習双書 発行 全国社会福祉協議会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の歴史や経緯、今日の実践を理解できること。								
LO-2	地域課題に対して、求められる支援を提案できること。								
LO-3	地域課題に対して、求められる支援を提案できること。								
LO-4	新聞をはじめとする報道や各種事例に関心をもって、さらに追求しようとする意欲と態度が見られる。								
LO-5	地域福祉のこれまでの実践に関して、その意義や役割をとらえることができている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	地域福祉論 と での通年科目として履修してください。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域福祉実践の事例紹介1（ふれあいサロンの意義と課題）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	60分
	【復習】事例紹介した内容に合致する動画や新聞記事などを探し、さらに学びを深める。	60分
第2回	地域福祉実践の事例紹介2（ふれまちなど地区社協活動へのこれまでの補助事業の概要と比較）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	60分
	【復習】事例紹介に関連する動画や新聞記事を探して、学びを深める。	60分
第3回	地域福祉実践の事例紹介3（認知症カフェが果たす役割と課題）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	60分
	【復習】紹介された事例に関連する動画や記事を探して、学びを深める。	60分
第4回	地域福祉実践の事例紹介4（市町村社協の地域福祉活動計画と行政の地域福祉計画）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	60分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	60分
第5回	地域福祉実践の事例紹介5（地域で取り組む福祉教育）	
	【予習】YouTubeで地域福祉をキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	60分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	30分
第6回	地域福祉の推進方法	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】1年次のボランティア演習で学んだボランティアコーディネーションについて振り返りをしておく。	60分
第7回	地域福祉の対象とニーズ把握、地域福祉の計画化	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】今日の内容の教科書の読み込みとまとめを行っておく。	60分
第8回	社会資源の活用・調整・開発	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】テキストの振り返りとノートのまとめを行う。	60分
第9回	地域福祉サービスの実際	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分
第10回	日常生活自立支援事業、	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】テキストとノートで振り返りをし、まとめておく。	30分

第11回	地域包括ケアシステム、	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分
第12回	地域における福祉サービスの評価と質の確保	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	60分
第13回	地域福祉の財源の確保	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分
第14回	災害救援と民間福祉	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分
第15回	災害時の避難支援、災害救援、被災後の生活支援	
	【予習】教科書の読み込み	60分
	【復習】紹介した内容に合致する教科書の読み込み	30分

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W171-50				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	生活と社会	後継科目							
関連科目	社会保障論								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解する。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助とは ソーシャルワークの定義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助とは ソーシャルワークの役割について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの構造について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの機能について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助における援助関係 援助関係の意義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助における援助関係 援助関係の質と自己覚知	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助の展開過程 相談援助のプロセス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助の展開過程 ケース発見からインテークまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程 問題把握からアセスメントまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程 支援目標の設定から支援の計画まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助の展開過程 支援の実施から経過観察まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助の展開過程 再アセスメントと支援目標の再設定まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助の展開過程 支援の終結とアフターケアまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助の展開過程 予防的対応とサービス開発について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	前期の振り返りとまとめ これまでの総まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	相談援助の理論と方法			科目コード	W171-51				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	生活と社会	後継科目							
関連科目	社会保障論、								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解できる。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助のための契約の技術 契約の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助のための契約の技術 契約の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントの特性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントで得た情報の使い方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助のための介入の技術 介入の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程における技術 経過観察、再アセスメントの技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程における技術 効果測定、評価とサービス開発の技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助のための面接の技術 面接の目的と展開	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助のための面接の技術 面接におけるコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助のための記録の技術 記録の意義と活用	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助のための記録の技術 記録の方法と今後の課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義とプレゼンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W181-10				
科目区分	専門科目 - キャリア	担当教員名	小平 達夫						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで基本となるマナーを身につけ、社会力を養います。就職支援センターと連携をとりながら、就職特別講座、就職実践講座を組み入れ、面接の個別指導をおこないます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。 2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。 3. 社会人としてのマナーを身につける。 4. ビジネス文書について理解を深める。 								
キーワード	キャリアプラン、接遇、ビジネス文書、人間関係								
テキスト・ 参考書等	2021 就職ガイドブック、適宜参考資料を配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての実践力を身につけるための一般的常識、ルール・マナーに関する知識を十分に習得している。								
LO-2	持ち前の特技や自己PRをしっかりと表現することができる。								
LO-3	よりよい人間関係を築くために、思慮深く、行動できること。								
LO-4	職業人として、専門職に必要な倫理観に関心を持ち、仕事への意欲や情熱を高めようと自己啓発能力を身につけている。								
LO-5	人と人とが気持ちよく過ごしていくためのルールや作法を身につけ、心豊かな人間関係を築くことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30		20				100
LO-1	50								50
LO-2			10		10				20
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 働くを考える 社会で求められる人材像について	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	20分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	25分
第2回	キャリア・職業人生について考える (エンプロイアビリティとジョブクラフティングについて)	
	【予習】100年人生について調査してくる。自分なりに働く目的を考えてくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第3回	就職活動の方法と自己理解 就職活動全体の流れについて理解する	
	【予習】面接・履歴書の書き方等について「キャリアガイド2021」にて理解してくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第4回	就職活動全体の流れについて理解する “印象の良い”履歴書の書き方	
	【予習】面接・履歴書の書き方等について「キャリアガイド2021」にて理解してくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る	25分
第5回	就職活動から見る「理念」と「実践」の重要性 と「印象の良い」面接方法	
	【予習】「理念」について調べてくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第6回	富山県内求人票の見方実践	
	【予習】就職支援コーナーにて事前に求人票の内容を確認してくる	20分
	【復習】履歴書の自己PRの欄をしっかりとめ、提出できるよう準備する	25分
第7回	社会に出るための金銭知識(クレジットカード、ブラックリスト、保証人、お金に関する重要な知識の習得)	
	【予習】信用情報という用語を理解してくる	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第8回	社会に出るための金銭知識(クレジットカード、ブラックリスト、保証人、お金に関する重要な知識の習得)	
	【予習】信用情報という用語を理解してくる	20分
	【復習】講義内容を振り返る	25分
第9回	特別講座 学科長講話 介護福祉の仕事	
	【予習】施設が求める人材について聞きたいことを考える	20分
	【復習】講義の内容を振り返り、専門職としてのあり方をまとめる	25分
第10回	3分野別(介護系・ビジネス系・進学)に分かれてのキャリアデザインについて	
	【予習】自分の進路先及びその業界について調査してくる	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分

第11回	3分野別（介護系・ビジネス系・進学）に分かれてのキャリアデザインについて	
	【予習】自分の進路先及びその業界について調査してくる。	20分
	【復習】講義内容を振り返る。	25分
第12回	面接指導 グループ面接	
	【予習】就職活動ハンドブックの面接についてを理解してくる	20分
	【復習】講義内容を振り返る。	25分
第13回	3分野別（介護系・ビジネス系・進学）に分かれてのキャリアデザインについて	
	【予習】自分の進路先及びその業界について調査してくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第14回	3分野別（介護系・ビジネス系・進学）に分かれてのキャリアデザインについて	
	【予習】3分野別（介護系・ビジネス系・進学）に分かれてのキャリアデザインについて	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	20分
	【復習】授業内容を振り返る。	25分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-30				
科目区分	専門科目 - キャリア		担当教員名	毛利 愉子 関 好博 井上 理絵 吉牟田 裕					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識に加えて、応用的な知識も解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て		後継科目	介護福祉総合演習					
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30						100	
LO-1	40	10						50	
LO-2									
LO-3	10	10						20	
LO-4	10	10						20	
LO-5	10							10	
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験1回目 1年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験1回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験2回目 1年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験2回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使用したテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように運動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神関する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・BPSD・周辺症状）、認知症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	0分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W181-31				
科目区分	専門科目 - キャリア		担当教員名	毛利 愉子 関 好博 井上 理絵 吉牟田 裕					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識に加えて、応用的な知識も解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉総合演習		後継科目	なし					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験（基礎編・実力編）を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習できる。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験 3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護） 外部模擬試験								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト 配布資料 して学ぶ。（平成25年介護福祉士国家試験対応問題集及びワークブックから選定）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解する。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4									
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	40								40
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他 A については、意見発表、グループワークでの活動などに点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期学習の進め方・自己学習、外部模擬試験、直前学習について理解できる。前期外部の模試結果を参考に自己の学習課題を設定し、自主学習の計画を立てる。	
	【予習】前期に購入した問題集及びテキストから苦手な科目を見直す。	90分
	【復習】自己の学習計画を見直し、計画した科目の問題に取り組む	90分
第2回	領域：こころとからだのしくみ：発達と老化の理解 過去の問題から難易度が高い問題に取り組む。発達の定義と人物について理解する	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。 人間関係とコミュニケーション【11】～【15】 人間関係とコミュニケーション【16】～【20】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する コミュニケーション技術【111】～【115】 コミュニケーション技術【116】～【120】	90分
第3回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。練習問題に取り組む。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて前期から理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る コミュニケーション技術【126】～【130】	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。難易度が高い問題や惑わされやすい問題への対応がわかり、練習問題に取り組む	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域：こころとからだのしくみ みじたく・移動・食事に関連したこころとからだのしくみを理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手とする問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域：こころとからだのしくみ 入浴・排せつ・睡眠・ターミナルに関連した、こころとからだのしくみについて理解する。過去の問題で難易度の高いもの、苦手な問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第7回	領域：こころとからだのしくみ認知症の理解 医学的に見た認知症の基礎・認知症に伴う心とからだの変化について理解する。過去の問題で、難易度が高い問題、紛らわしい問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第8回	領域：心とからだのしくみ 障害の理解 身体、精神、知的、発達障害、難病について障害の特性、障害の受容や適応機制、障害が及ぼす心理的影響、日常生活への影響について理解する。難易度の高い問題、苦手とする問題の対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	0分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	0分
第9回	領域：介護生活支援技術 生活の理解・生活支援について理解する。自立に向けた居住環境・みじたく・移動・食事・入浴と清潔保持・家事・睡眠・終末期の介護について分かる。難易度の高い問題への対応がわかり練習問題に取り組む。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第10回	領域：社会の理解 社会保障制度の発達、日本の社会保障制度のしくみ（社会保険と社会扶助）について理解する。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分

第11回	領域：社会の理解 介護保険制度（介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度のしくみ、介護サービスの利用までの流れ、居宅・介護予防サービス、地域密着型サービス、介護支援員専門員の役割について理解する。障害者総合支援法、生活保護制度について分かる。	
	【予習】前期に購入した問題集から紛らわしい問題をピックアップしてする。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第12回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第13回	外部模擬試験 実力編の実施	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第14回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り合格点がとれるよう試験に臨む	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分
第15回	内部模擬試験 今まで学習してきたところを振り返り試験に向けて計画的に進めていく。	
	【予習】後期に学習してきたプリント、問題集を使用し、試験に向けて計画的に予習を進めていく	90分
	【復習】誤ったところ、苦手とする科目について学習する	90分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W191-10				
科目区分	専門科目 - 研究	担当教員名	吉牟田 裕 関 好博						
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】	0分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(3) 研究テーマの深化	45分
	【復習】	0分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】	0分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】	0分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	0分
第16回	中間まとめ	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	0分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】	0分
	【復習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】	0分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】	0分
	【復習】 1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】	0分
	【復習】 2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】	0分
	【復習】 3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】	0分
	【復習】 4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	0分
	【復習】 発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	0分
	【復習】 発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】	0分
	【復習】 リハーサルの総括、発表原稿などの改善	0分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】 発表の練習	45分
	【復習】	0分

授業科目名	現代社会と福祉			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫 関 好博 中島 真由美					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	福祉ビジネス ・ 、介護福祉論 ・ 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士、医療事務、介護事務								
授業の概要	学科教員3人でのオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	学科の特徴である3つの学び（介護福祉分野、ソーシャルワーク分野、福祉ビジネス分野）の導入科目に位置づけ、高齢社会における福祉関連分野でのビジネスの可能性、社会福祉士をはじめとするソーシャルワークの専門性と活動領域、そして社会基盤である介護保険制度を支える介護福祉士の今日的役割などを紹介することで、その後の学習意欲の向上に結びつける。								
キーワード	相談援助、ケアワーク、シニアビジネス、								
テキスト・ 参考書等	「ふくしのしごとがわかる本」2019年版 東京都社会福祉協議会発行								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	今日の我が国における介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネスを取巻く社会環境を理解するとともに、基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉・ソーシャルワーク・福祉ビジネスの各分野求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉、ソーシャルワーク、福祉ビジネス分野で有効な思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	現代社会の動向に関心を向けることができ、与えられた課題に前向きに取り組む力を身につけている。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			90	10					100
LO-1			30						30
LO-2			30						30
LO-3			30						30
LO-4				10					10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特色ある社会福祉施設の取組み及び多職種連携について理解を深める（小平）	
	【予習】多職種連携について調べてくること	60分
	【復習】多職種連携と特色ある施設の考え方、取組み、運営方法について理解をする	30分
第2回	ビジネスの視点から特色ある施設を理解する（小平）	
	【予習】福祉とビジネスの関係性について調査してくること	0分
	【復習】ビジネスに対する理解とビジネスの重要な視点を理解する	0分
第3回	多職種連携の実践例を学ぶ（小平）	
	【予習】事前に具体的な「多職種連携」事例を調査してくること	0分
	【復習】「多職種連携」の実践例より「多職種連携」について説明ができるようになること	0分
第4回	多職種連携の実践例を学ぶ（小平）	
	【予習】【予習】事前に具体的な「多職種連携」事例を調査してくること	0分
	【復習】「多職種連携」の実践例より「多職種連携」について説明ができるようになること	0分
第5回	第1回目から第4回目のまとめと各施設を経営の視点より理解する（小平）	
	【予習】第1回目から第4回目まで復習してくること	0分
	【復習】福祉をビジネスから捉える視点を身につける	0分
第6回	社会福祉士について理解を深める（関） https://www.jacsw.or.jp/01_csw/05_rinrikoryo/files/rinri_kodo.pdf	
	【予習】社会福祉士の資格制度や倫理綱領などを、インターネットで調べてくる。	60分
	【復習】社会福祉士について、学んだことをまとめる。	60分
第7回	社会福祉方法論の考え方から社会福祉援助の価値について考える（関）	
	【予習】ジェノグラムについて調べてくる。	0分
	【復習】学んだジェノグラムの書き方について整理しておく。	0分
第8回	地域共生社会における社会福祉士の役割や在り方について理解を深める（関）	
	【予習】社会福祉士の新カリキュラムをネットで探して目を通してくる。	60分
	【復習】社会福祉士に期待されることについて学んだことをノートにまとめておく。	60分
第9回	社会福祉士と個人情報保護の関係について理解を深める(関)	
	【予習】個人情報とプライバシー情報の違いを理解しておく。	90分
	【復習】事例をもとに、個人情報保護の必要性について理解を深める。	90分
第10回	社会福祉士の業務の一端を日常生活自立支援事業などから学ぶ(関)	
	【予習】Webページで、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業に関するところを読んでくる。	90分
	【復習】社会福祉士と可能性や就職先などについてまとめておく。	60分

第11回	ケアワーカーの資格と主な役割(中島)	
	【予習】介護福祉士をはじめとする介護に関する資格制度について調べてくる。	90分
	【復習】これからの介護福祉士の役割や介護支援専門員の役割を整理しておく。	60分
第12回	ケアワーカーが求められる現場の種類と介護の専門性について(中島)	
	【予習】介護保険事業所や障害者支援施設について調べてくる。	60分
	【復習】介護と看護の比較をまとめておく。福祉施設の種類を整理しておく。	90分
第13回	精神保健分野の専門職と活躍の場、心の健康、引きこもりについて(中島)	
	【予習】精神保健福祉士、精神保健福祉センター、引きこもりについて調べておく。	90分
	【復習】授業内容に関してノートをもとに理解を深めておく。	60分
第14回	健康づくり運動と生活習慣病対策(中島)	
	【予習】健康日本21(第二次)について調べてくる。	90分
	【復習】メタボリックシンドロームやポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、ヘルスプロモーションなどの取組みをまとめておく。	90分
第15回	地域保健サービスの概要、地域保健と社会福祉等との主な関連施策(中島)	
	【予習】地域保健法について調べてくる。	90分
	【復習】保健所や保健センター等の役割を整理しておく。	60分

授業科目名	生活と社会			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	コミュニケーション論、現代社会と人間								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格(必修)								
授業の概要	家族あるいは地域社会が個人とどのようにつながっているのかを学びます。また、私たちが参加する組織や集団との関わりを考え、社会の中での個人を理解できることを目指します。そして、変化するライフスタイルや生活支援と福祉の体系などからも社会全体を捉えられるよう、演習を交えて進めていきます。								
学習目標	1 個人の暮らしと生活の在り方の意義、理念を理解する。 2 個人と家族、個人と地域、個人と社会の関係性を理解する。 3 自助、公助、共助の内容を理解する。								
キーワード	生活、家族、地域社会、社会・組織、ライフスタイル								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座「2 社会の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会学における用語をよく理解し、使いこなせるようになる。(地域)社会・生活・家族などといった社会生活を構成する要素と自分の生活を引き合わせて理解することができる。介護福祉士として、社会全般を捉えられるようになる。								
LO-2	社会学における用語を理解し、使いこなせるようになる。(地域)社会・生活・家族などといった社会生活を構成する要素と自分の生活を引き合わせて理解することができる。介護福祉士として、社会全般を捉えられるようになる。								
LO-3	社会学における用語をある程度理解し、使いこなせるようになる。(地域)社会・生活・家族などといった社会生活を構成する要素と自分の生活を引き合わせて理解することができる。介護福祉士として、社会全般を捉えられるようになる。								
LO-4	授業アンケートにその日の授業内容を正しく振り返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
LO-5	授業アンケートにその日の授業内容をある程度正しく振り返ることができている。与えられた課題に対し、前向きに取り組んでいる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70								70
LO-2									
LO-3									
LO-4						30			30
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会学について理解する	
	【予習】自分の周りの社会問題について考えておくこと	90分
	【復習】社会学の起源や歴史について理解を深める	90分
第2回	社会学の起源と時代背景を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第3回	社会学の起源と時代背景を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第4回	アメリカの社会学より社会的弱者の実態を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第5回	アメリカの社会学より社会的弱者の実態を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第6回	社会学の理論より現代日本の社会問題を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第7回	社会学の理論より現代日本の社会問題を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第8回	各種新聞より現代社会の課題と考える	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第9回	社会と生活の仕組み ライフスタイルの変化を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第10回	社会と生活のしくみ 家族の機能と役割を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分

第11回	社会と生活のしくみ 社会・組織の機能と役割を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第12回	社会と生活のしくみ 地域・地域社会を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第13回	社会と生活のしくみ 地域社会における生活支援を理解する	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第14回	第1回目から第7日目までのまとめ	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第15回	第8日目から13回目までのまとめ	
	【予習】	90分
	【復習】	90分

授業科目名	生活と情報			科目コード	W511-30				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	社会福祉調査論					
関連科目	福祉と情報								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「繰り返して慣れる！スピードマスター Office 2007 & 情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 ×パソコン教室の使い方、×タッチタイピング	
	【予習】	0分
	【復習】タッチタイピングの練習	45分
第2回	Word：チラシの作成(1) 教科書 P.259 「セキュリティと情報モラル STEP1 セキュリティを高めましょう」より LESSON 3 不正アクセスを防ぎましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	× 基本編 Word チラシを作成しましょう Section 5 セキュリティと情報モラル STEP2 情報モラルを学びましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	タイピング/ワープロの基礎 【実習室】タイピングの練習 http://drill.noa-ness.jp/?gc=380784 【知 識】教科書 P.60～79 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」STEP2 文書作成の Lesson1 確認テスト1 確認テスト2 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の P.37 タッチタイピングを予習する	45分
	【復習】教科書を見ないで、確認テスト 1/2 で正答率 80% を目指す	0分
第5回	文書の作成の基本 【実習室】チラシを作成しましょう 教材のダウンロード 【知 識】教科書 P.81～97 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」STEP2 文書作成の Lesson2 確認テスト4 確認テスト5 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】教科書 P.80 練習 7 の課題を作成する	25分
第6回	文書の作成の基本 【実習室】チラシを作成しましょう 教材のダウンロード 【知 識】教科書 P.60～97 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」STEP2 文書作成の Lesson2 確認テスト3 確認テスト6 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	【実習室】チラシを作成しましょう 【知 識】教科書 P.107～121 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」Section3 STEP2 表作成の Lesson1 確認テスト1 確認テスト2 を回答しなさい。 教科書を見ながら回答してよい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎 【実習室】チラシを作成しましょう 【知 識】教科書 P.107～121 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」Section3 STEP2 表作成の Lesson1 確認テスト1 確認テスト2 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成 【実習室】レポートに必要な機能を学びましょう 【知 識】教科書 P.107～129 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」Section3 STEP2 表作成の Lesson1 確認テスト3 と Lesson2 確認テスト4 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成 【実習室】レポートに必要な機能を学びましょう(図表番号～文書校正) 【知 識】教科書 P.130～152 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」Section3 STEP3 表作成の Lesson3 確認テスト5 確認テスト6 を回答しなさい。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】表計算の課題を完成させる	25分

第11回	<p>プレゼンテーションの基礎</p> <p>【実習室】レポートに必要な機能を学びましょう(文書校正) / 表を作成しましょう</p> <p>【知識】教科書 P.130～152 を読み、以下のウェブサイトの「テスト」Section3 STEP2 表作成の Lesson3 確認テスト7 と STEP3 グラフ作成の Lesson2 確認テスト1</p>	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	<p>プレゼンテーションの作成</p> <p>A・B班合同で演習を行います。とくに、隣の席の人と対面しないように気をつけてください。</p>	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	<p>図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション</p> <p>プレゼンテーションの作成</p> <p>A・B班合同で演習を行います。とくに、隣の席の人と対面しないように気をつけてください。</p>	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	<p>Section3 Excel 2016 Lesson3 計算しましょう</p>	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	<p>Section3 Excel 2016 Lesson4 グラフを作成しましょう</p>	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W511-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	生活支援の入り口は、自身と対象者の関係作りから始まる。本講義では、関係作りのため必須であるコミュニケーションの基礎について知識と理解を深め、個別・具体的な「コミュニケーション技術」を学ぶための基礎を固める。								
学習目標	介護実践するために、人間の理解や他者への情報の伝達に必要な「基礎的コミュニケーション能力」を習得するとともに、人間関係の形成やコミュニケーションの基礎理解を目指します。								
キーワード	コミュニケーション、自己覚知、理解、共感、認知世界								
テキスト・ 参考書等	人間の理解 株式会社メジカルフレンド								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間関係の形成のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を有する。								
LO-2	自らにかかるストレスに対し、適切な対応をとってバーンアウトを避ける技能を有する。								
LO-3	認知世界の違いを考慮してコミュニケーションに反映する判断力を有する。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5	他者にある程度共感でき、相手の立場に立ってある程度考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することがある程度できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	30			10			100
LO-1	40								40
LO-2		20							20
LO-3			30						30
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会で求められる人材について（新人編）の理解を深める	
	【予習】自分なりに新入社員として必要とされる能力について考えてくる	90分
	【復習】社会で最も求められている「コミュニケーション能力（新社会人）」についての理解を深める	90分
第2回	人間理解と尊厳（福祉とは何か：社会福祉の語源、人の幸福とは、多様な幸福のあり方等）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第3回	社会福祉と幸福（人の理性と共感能力、他者への思いやりとヒューマニズム、人間の尊厳と個人の尊重等）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第4回	生きる意味と自己実現（マズローの5段階欲求説、自己実現と価値観）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第5回	福祉と価値、福祉の価値観の葛藤、ジレンマへの対処と葛藤の調整等）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第6回	「個人の尊厳」と「基本的人権」、日本国憲法の基本的原理、基本的人権と権利擁護、福祉と倫理	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第7回	社会福祉の支援と専門職、人の幸福を支えること、介護福祉とは	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第8回	・他者に世話をゆだねるとは、介護福祉実践に求められる人間理解、人がその人らしく生きるということ、障害は不自由か、利用者と家族、利用者の個別化することの大切さ	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第9回	社会福祉が目指すもの、多様な価値観を知ることの大切さ、利用者を理解し支える専門性	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第10回	・介護を受ける人の気持ちを理解する・要介護者の尊厳ある状態とは・人権尊重・要介護者の介護サービス利用・介護と必然性・アドボカシー・介護と生活	
	【予習】	60分
	【復習】	120分

第11回	・介護の理念としての自立支援・当事者の自立の取組み・ノーマライゼーションと介護・障害者の自立支援・要介護者の身体的、精神的、社会自立支援・介護家族の自立支援	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第12回	・人間関係の機能（自己形成、自己形成過程の理論、人間の欲求等）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分
第13回	・人間関係のストレスとストレスコーピング（人間関係とストレス、ストレスコーピング）・人間関係形成の基本的プロセス、援助を必要とする人々との人間関係の形成等）	
	【予習】	90分
	【復習】	60分
第14回	・対人関係とコミュニケーション（コミュニケーションとは、コミュニケーションの意義、コミュニケーションの特性）・コミュニケーションの技法等	
	【予習】	90分
	【復習】	60分
第15回	・非言語コミュニケーション（非言語的コミュニケーションの機能と特性、欺瞞のコミュニケーション、非言語的コミュニケーションの場面と方向）・現代のコミュニケーションと人間関係、人間関係を育てるコミュニケーション	
	【予習】	60分
	【復習】	180分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W511-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	社会保障論、地域福祉論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	テキストを毎回1章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末となる7月末までに3回以上を課題とします。								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	小倉常明他編 「いちばんはじめのボランティア」 樹村房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	授業の気づきや学びを活かし、ボランティア体験学習を適切にこなすことができる。								
LO-3	与えられた課題について積極的に取り組み、テーマに基づいた自分なりの成果物（レポートなど）を作りだすことができる。								
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて深めるなどの取組みができています。								
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80	20					100
LO-1			20						20
LO-2				20					20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	LO-2は、感染予防ガウンの課題提出での評価です。今年は感染予防のため、ボランティア体験は課しません。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や関連用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	90分
第2回	ボランティア活動の理念について理解する。	
	【予習】テキスト第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】ボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	90分
第3回	ボランティア活動の法と制度について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】赤い羽根共同募金のホームページやそのほかの募金活動のホームページを探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	90分
第4回	ボランティア活動に出る際の心得を、練習問題から学ぶ。	
	【予習】過去のボランティア体験を振り返って、課題や問題に感じることをまとめてくる。	90分
	【復習】自分なりのボランティア活動時の留意点をまとめてみる。	90分
第5回	テキスト第4章ボランティア関係機関	
	【予習】住んでいる自治体の社会福祉協議会のWebページを見てくる。	90分
	【復習】社協のボランティアセンターの役割についてまとめておく。	90分
第6回	ボランティアコーディネーターとボランティアの関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第13章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】自分の考えをまとめておく。	90分
第7回	行政委嘱ボランティアについて考える	
	【予習】自発的行為であるボランティアにおける委嘱行為が果たす役割について思いを巡らす。	90分
	【復習】自分の住む自治体にどのような委嘱ボランティアが活動しているかを調べてみる。	90分
第8回	第5章 ボランティア活動の担い手について理解する。	
	【予習】県民ボランティア総合支援センターのWebページで、県内のNPO法人に関して調べてくる。	90分
	【復習】収集ボランティアの状況に対して理解を深める。	90分
第9回	ボランティア体験活動（感染予防ガウンづくり）	
	【予習】仕様書や指定の動画で作り方を確認するとともに、消耗品を各自で準備。	90分
	【復習】新型コロナ関連でのボランティア活動を調べてみる。	90分
第10回	第6章 地域社会とボランティア	
	【予習】テキストの該当ページを読んで、初出のワードについて調べておく。	90分
	【復習】ふれあいサロンと認知症カフェを比較しながら理解する。	90分

第11回	福祉施設とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第7章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】施設にボランティアに行った際には、どのような職員が担当し、どのような受入がなされ、ほかにどんな活動を受け入れているかなどをできるだけ見てくる。	90分
第12回	災害支援とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキスト第9章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】東日本大震災や阪神淡路大震災など、これまでの災害救援ボランティア活動の様子を、本やインターネットで確認しておく。	90分
第13回	第8章 福祉教育とボランティア活動	
	【予習】テキストを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】福祉教育の意義や取り組み方を整理しておく。	90分
第14回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキストを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	90分
	【復習】インターネット検索で、どんな企業がどのような社会貢献活動に取り組んでいるかを各自で調べる。	90分
第15回	これまでの振り返りと補足	
	【予習】ボランティアについて学んだ授業を振り返ってくる。	30分
	【復習】ボランティアの特徴や意義、ボランティアコーディネーターが果たす役割についてまとめてみる。	60分

授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W511-60				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について共に考え、介護場面における倫理的課題に対応できるための基礎を学びます。具体的には、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討し、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心得を学習します。そうした学習を通じて、「人生という物語」に対する共感的な理解の能力を高めながら、福祉・介護関連の仕事に携わることの責任を自覚し								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の尊厳と自立・自律の意義を理解する。 2. 人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3. 多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4. 介護場面における倫理的課題を理解する。 								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、身体拘束、自立・自律、権利擁護、倫理・道徳と法律、インフォームドコンセント、医療倫理、ケア倫理、物語論、生殖補助医療(A R T)、出生前診断、人工妊娠中絶、老老介護、認知症、地域包括ケアシステム、ア								
テキスト・ 参考書等	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新介護福祉士養成講座1)』(中央法規出版、2019)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教科書に出てきた専門用語や授業中に補足説明した関連事項を正確に整理し、基礎知識を体系的に獲得している。								
LO-2	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	[導入1]人間の尊厳と自立：人間の尊厳と人権・福祉理念について	
	【予習】	90分
	【復習】Web検索により関連事項について調べる。	90分
第2回	[導入2]人間の尊厳と自立：ドラマによるケーススタディ[1]	
	【予習】参考文献の指定範囲（p.2-p.50）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第3回	[導入3]人間の尊厳と自立：自立のあり方について	
	【予習】参考文献の指定範囲（p.51-p.78）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第1回小テストの準備をする。	90分
第4回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 授業資料(PDFファイル)	
	【予習】テキストの指定範囲（p.6-p.17）を熟読する。第1回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第1回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第5回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷（戦前）2 授業資料(PDFファイル)	
	【予習】テキストの指定範囲（p.34-p.41）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第6回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷（戦後）1 授業資料(PDF)	
	【予習】テキストの指定範囲（p.34-p.41）を熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第7回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷（戦後）1 授業資料(PDF)	
	【予習】テキストを熟読する。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。	90分
第8回	人権尊重と権利擁護 授業資料(PDF)	
	【予習】テキストの指定範囲を熟読する。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。	90分
第9回	権利擁護の視点 人間の尊厳と人権・福祉理念のまとめ 授業資料	
	【予習】テキストのを熟読する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義のポイントを整理する。	90分
第10回	自立のあり方 自立の概念の多様性 自立とは(1)	
	【予習】テキストを熟読する。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。	90分

第11回	自立とは(2) 授業資料	
	【予習】テキストを熟読する。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。	90分
第12回	介護を必要とする人々の自立と自立支援 授業資料	
	【予習】テキストの指定範囲 (p.104-p.112) を熟読する。第 4 回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第 4 回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第13回	尊厳死と安楽死；ドラマによるケーススタディ[7]	
	【予習】テキストの指定範囲 (p.113-p.122) を熟読する。We b 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。第 5 回小テストの準備をする。	90分
第14回	児童虐待と生命倫理；第 5 回小テスト (と の確認 10点分)	
	【予習】テキストの指定範囲 (p.152-p.170) を熟読する。第 5 回小テストの準備をする。	90分
	【復習】第 5 回小テストの復習をする。講義資料のポイントを整理する。	90分
第15回	発達障がいと生命倫理；[総まとめ] 生と死の倫理学 と福祉・介護	
	【予習】テキストの指定範囲 (p.171-p.182) を熟読する。We b 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。講義全体をふり返る。	90分

授業科目名	レクリエーション概論			科目コード	W511-70				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	岩上 厚子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	特になし		後継科目	レクリエーション活動援助法					
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	・レクリエーション支援の目的と、それを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学びます。								
学習目標	・レクリエーション支援者の役割は、対象者がレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるようにすることであると理解する。 ・対象者のライフステージに即した心の元気づくりを理解する。また、レクリエーション活動を実施することで地域のきずなづくりに貢献できることを理解する。								
キーワード	マズローの5段階欲求説 フロー理論 ハードル設定 ライフステージ								
テキスト・ 参考書等	「楽しさとおした心の元気づくり」 公益財団法人 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	レクリエーション支援の仕方、支援者としての姿勢を理解し、自分がどんな支援者になるのかという見通しが持てるようになること。								
LO-2									
LO-3	社会的課題から、楽しさと心の元気づくりに関するレクリエーション支援のあり方を考察することができること。								
LO-4	心身を元気にするレクリエーション支援の社会的役割に関心を持つことができること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2									
LO-3	30					20			50
LO-4			20						20
LO-5									
備考	主に講義形式で行いますが、グループワークも取り入れていきます。能動的な態度で臨みましょう。Aはグループワークへの取り組み度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・オリエンテーション ・レクリエーションを学ぶにあたって ・アイスブレイキングの体験	
	【予習】レクリエーションのイメージをまとめておく。	30分
	【復習】「レクリエーション」の言葉の整理をする。	30分
第2回	第1章 レクリエーション概論 ・レクリエーション支援の理解 ・レクリエーション・インストラクターの役割	
	【予習】教科書10ページから17ページを読む	60分
	【復習】	0分
第3回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・レクリエーション活動の楽しさを通じた心の元気づくりの理解	
	【予習】フロア理論、マズローの5段階欲求説について調べる	90分
	【復習】	0分
第4回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・対象者の心の元気づくりの理解	
	【予習】	0分
	【復習】障がいのある人への配慮を整理する	60分
第5回	第2章 楽しさと心の元気づくりの理論 ・心の元気と地域のきずなづくり	
	【予習】公民館や児童館などのチラシからどんな事業が行われているか調べる。	90分
	【復習】全国のレクリエーション協会のHPから地域のきずなづくりに関連する事業を調べる。	90分
第6回	第3章 レクリエーション支援の理論 ・信頼関係づくりの理論	
	【予習】	0分
	【復習】授業で体験したGWTの感想をまとめる。	60分
第7回	第3章 レクリエーション支援の理論 良好な集団づくりの理論	
	【予習】自分が感じた居心地のいい集団、悪い集団の体験談をまとめる。	60分
	【復習】	0分
第8回	第3章 レクリエーション支援の理論 ・レクリエーション運動の歴史と現代社会の課題	
	【予習】	0分
	【復習】地域やレクリエーション協会が主催する行事に参加する。	120分
第9回	第3章 レクリエーション支援の理論 ・自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力を育む理論	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	リスクマネジメント ・安全管理の方法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	レクリエーション活動援助法			科目コード	W511-71				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	岩上 厚子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	レクリエーション概論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	レクリエーション・インストラクター指定科目								
授業の概要	福祉分野において実際に援助者になった場合を想定し、具体的な援助技術の習得を目指します。単発的なレクリエーション財の獲得のみを目的とするのではなく、企画、立案の方法、財の選択・アレンジ・提供の方法などを演習と講義を組み合わせで行います。								
学習目標	個人や集団とのコミュニケーション能力、集団の中でのコミュニケーション促進方法を身につけ、アクティビティの選択方法、展開方法、相互作用の引き出し方と活用方法について学習し、対象者に合わせたレクリエーション財をアレンジできるようになること。								
キーワード	コミュニケーション、アイスブレイキング、ホスピタリティトレーニング、CSSプロセス、A-PIEプロセス								
テキスト・ 参考書等	「楽しさをおとした心の元気づくり」公益財団法人 日本レクリエーション協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	CSSプロセスの重要性を理解し、反応の捉え方、伝え広め方などの技法を身に付けていること。								
LO-2	A-PIEプロセスの手順を理解し支援計画を立てることができること。								
LO-3	実際にアレンジした素材・アクティビティを展開する際に、相互作用の活用方法等目的にあわせたレクリエーション・ワークを活用できること。								
LO-4									
LO-5	対象者との良好なコミュニケーションに不可欠な支援者の姿勢・態度・行動について理解し、対象者との良好な関係づくりや集団の雰囲気作りができること。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		80				100
LO-1					30				30
LO-2			20						20
LO-3					30				30
LO-4									
LO-5					20				20
備考	授業で体験できるレク財は限られています。積極的に現場実習に出かけ理論と実技を基にした「展開法」を学びましょう。詳細は、掲示板のポスターなどでお知らせします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レクリエーション支援の方法 ・ホスピタリティの体験的理解 (ホスピタリティ1)	
	【予習】テキスト55ページ～65ページをよく読んでおく。	60分
	【復習】	0分
第2回	レクリエーション支援の方法 ・ホスピタリティの習得 (ホスピタリティ2)	
	【予習】	0分
	【復習】「ゲームでホスピタリティ」を体験してみて気づきをまとめる。	60分
第3回	レクリエーション支援の方法 ・アイスブレイキング・モデルの体験 (アイスブレイキング1)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	レクリエーション支援の方法 ・アイスブレイキングの効果を高める支援技術の習得 (アイスブレイキング2)	
	【予習】	0分
	【復習】アイスブレイキングの展開法を具体的に書き出す。	60分
第5回	レクリエーション支援の方法 ハードル設定の習得 (身近な素材を使ったカードづくり)	
	【予習】日頃からカードづくりに必要な素材を収集しておく。	90分
	【復習】	0分
第6回	レクリエーション支援の方法 CSSプロセスの習得 (身近な素材を使ったカードづくり)	
	【予習】	0分
	【復習】カードの使い方、アレンジ法をまとめる。	30分
第7回	レクリエーション支援の方法 アレンジ法の習得 地域づくりと回想法	
	【予習】インターネットなどで回想法について調べる。	60分
	【復習】	0分
第8回	レクリエーション支援の方法 自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法の総合演習) ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくづくりの準備 (テーマを決める)	30分
	【復習】	0分
第9回	レクリエーション支援の方法 自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法の総合演習) ジャンボすごろくの作成	
	【予習】ジャンボすごろくの仕上げ	30分
	【復習】ハードル設定、CSSプロセスのキーワードをまとめる。	60分
第10回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「健康体操」	
	【予習】高齢者のなじみの歌を調べる	30分
	【復習】健康体操の復習	30分

第11回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「クラフト」	
	【予習】	0分
	【復習】地域のレクリエーション行事やレクリエーション協会の事業に参加する。	120分
第12回	レクリエーション活動の習得 モデル・プログラムの習得 「生涯スポーツ」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	支援演習 A-PIEプロセスに沿った支援計画	
	【予習】A-PIEプロセスについて調べる。	60分
	【復習】	0分
第14回	支援演習 「健康体操」（ケアピクスの理論に沿った支援）	
	【予習】	0分
	【復習】健康体操の復習（試験に向けて、キューイングを書き出す）	120分
第15回	まとめ・試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	運動と健康			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連									
授業の概要	生活環境の変化にともなって、生活習慣病の増加・体力の低下等が注目されるようになった現代社会において、特に運動不足に起因する運動不足病、また超高齢化社会の到来により生じる新たな課題への対応について、運動と健康面から生活のあり方を考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から考えるとともに、健康で豊かな生活を築き上げるために、運動がもつ意義や役割について理解する。								
キーワード	健康、運動、体力、生活習慣病、運動処方								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。								
LO-2	生涯にわたり健康・体力を自己管理することの大切さを理解し、健康管理に関して考察することができる。								
LO-3	健康や体力に関する諸課題を発見し、考察することができる。								
LO-4	各自の健康や体力に関心をもち、学習活動に積極的に参加することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	60						100
LO-1		40							40
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、健康と体力の概念と定義	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	20分
	【復習】授業の評価方法を理解する。健康と体力の概念を理解し確認する。	30分
第2回	平均寿命の推移と健康寿命	
	【予習】寿命の変化について調べる。	30分
	【復習】平均寿命の推移と健康寿命の現状について確認する。	20分
第3回	疾病傾向からみた現代生活と健康・体力の状況	
	【予習】高度経済成長以前と以後のライフスタイルの変化について調べる。	30分
	【復習】国内の疾病の現状を理解する。	20分
第4回	体力の推移、スポーツ記録	
	【予習】スポーツ記録について調べる。	30分
	【復習】行動体力について理解を深める。	20分
第5回	健康を目的とした体力づくり	
	【予習】トレーニングの基本原則について調べる。	30分
	【復習】健康のために必要な運動処方を確認する。	20分
第6回	現代社会とスポーツ、オリンピックの歴史	
	【予習】近代オリンピックについて調べる。	30分
	【復習】オリンピックの歴史を確認する。課題の作成。	120分
第7回	これからの健康	
	【予習】予防医学について調べる。	30分
	【復習】自分の健康管理について理解する。	20分
第8回	高齢者の運動処方 課題レポート作成	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味・関心のある課題を考える。	30分
	【復習】期末課題のレポートを作成する。	240分

授業科目名	健康スポーツ (バトミントン)			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	歩くことの意義を理解し、ウォーキングを実践し心拍数の変化や主観的運動強度をチェックしながら、フィットネスとしてのウォーキングを理解する。バドミントンの基本ストローク(サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ)の技術の向上を図るとともに、ゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指します。これまでの運動経験から受講生の技術に差があると予想されますが、レベル別のグルーピングや課題を設ける予定です。スポーツが苦								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、ウォーキング、バドミントン								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。								
LO-2	バドミントンの基本ストロークをゲームに応用できる。								
LO-3	自分で計画した運動内容、実施結果を分析し、考察できる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1						20			20
LO-2						30			30
LO-3			10						10
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。セルフモニタリングシート(期日、予習としてのトレーニング内容、セルフ評価などを記入)の様式を作成する。	45分
第2回	「歩くことの意義」「正しい歩き方」の内から、興味関心のある方を選び、課題レポートとして提出する。	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第3回	30分間のウォーキングを実践し、最初と最後の心拍数・主観的運動強度を記録する。	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第4回	40分間のウォーキングを実践し、最初と最後の心拍数・主観的運動強度を記録する。	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第5回	60分間(30分間×2回でも可)のウォーキングを実践し、最初と最後の心拍数・主観的運動強度を記録する。	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第6回	バドミントン用具の使い方と基本動作。あるいは、ウォーキングを実践しての「ウォーキングと健康について」課題レポート提出。	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第7回	バドミントンの基本ストローク。又は、「バドミントンのルール」について課題レポート提出	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第8回	バドミントン・シングルスゲームの進め方	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第9回	シングルスゲームと審判法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第10回	シングルスゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分

第11回	班編成とダブルスゲームの進め方	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第12回	ダブルスゲームと審判法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第13回	班対抗ダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】セルフモニタリングシートの記録と反省	5分
第14回	班対抗ダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
	【復習】セルフモニタリングシートのまとめとして反省の総括、体の変化、運動継続の秘訣などを記したレポートを作成する。	30分
第15回	班対抗ダブルスゲーム	
	【予習】セルフモニタリングシートにレポートを加え、全てのシートを確認し、提出する。	5分
	【復習】	0分

授業科目名	健康スポーツ (ゴルフ)			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	健康 (バドミントン) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費10,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査(学内教室)	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドースイングを行う。(1日10分×実習までの10日間) レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ（スノースポーツ）			科目コード	W531-11				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ ・ (ゴルフコース) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費21,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。（スキー場での事前滑降を推奨する）	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ (ゴルフ)			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康 (バドミントン) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	健康スポーツ を取得済みで、ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しむための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費10,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査(学内教室)	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×2日間) レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン(古沢ゴルフ練習場)	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。(1日10分×実習までの10日間) レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	健康スポーツ (スノースポーツ)			科目コード	W531-12				
科目区分	教養科目 - 健康 - 健康とスポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	健康スポーツ ・ (ゴルフコース) 健康スポーツ ・ (スノースポーツコース) 運動と健康								
資格等 取得との関連									
授業の概要	健康スポーツ を取得済みで、スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・栂池高原スキー場で行います。授業に関わる経費21,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。（スキー場での事前滑降を推奨する）	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	英語			科目コード	W551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一 シェリー・スキャンラン					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	望月：英語の基本的な語彙や表現を学びます。主に福祉の分野のトピックを取り上げ、英語の読解力とコミュニケーション能力の向上をはかります。 Scanlan：This class will help students communicate in both written and oral English. Each week students will focus on a different topic of everyday English.								
学習目標	望月：総合的な英語力の向上を目指します。主に福祉の分野で使われる表現を学びます。 Scanlan：Students will focus on developing vocabulary and grammar skills. (語彙と文法力を伸ばすことに重点を置きます。)								
キーワード	英語の語彙 文法 日常生活 福祉								
テキスト・ 参考書等	望月：プリント使用。 Scanlan：Materials provided by teachers. (プリント使用。)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	30				40			100
LO-1	10	10							20
LO-2	10	10							20
LO-3	10	10							20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	【成績評価方法】 望月：最終試験 60%、授業への参加・予習状況 [その他、A] 40% で評価します。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行います。 Scanlan：Grades will be based on inclass work and homework [A] (40%) and a final test (60%).								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction: what do you do? (イントロダクション、あなたは、どんなことをしていますか?)	
	【予習】 None. (なし。)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習をする。)	20分
第2回	What do you do? cont./pair interviews (あなたは、どんなことをしていますか?二人ずつペアになって、インタビューをする。)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson. (前回の授業で出された宿題に取り組む。)	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第3回	How often do you.....? (あなたは、・・・[週に]どれくらいやっていますか?)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第4回	Talking about likes and dislikes (好きなこと、嫌いなことについて)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第5回	Where were you? (以前は、どこで何をしていましたか?)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第6回	Review and activities (復習、教室内の活動)	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	120分
第7回	Final test (最終試験)	
	【予習】 Preparation for final test (最終試験の準備)	120分
	【復習】 What do you do?, How often do you.....?, Likes and dislikes, Where were you? (あなたは、どんなことをしていますか?好きなこと、嫌いなことについて。以前は、どこで何をしていましたか?)	60分
第8回	資料 : 福祉の分野で使用される基本的な語彙・表現(1): 体の各部位の名称資料 資料 : Japan needs more nurses and care-workers (日本には、もっと多くの看護師と介護福祉士が必要である)	
	【予習】 上記の会話文に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	0分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	20分
第9回	資料 : A nurse is talking to a 75 year-old patient (看護師が75歳の患者に話しかける) 資料 : 英語のことわざ・引用句	
	【予習】 上記の会話文及びことわざ・引用句に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第10回	資料 : 福祉の分野で使用される基本的な語彙・表現(2): 老年期に関する表現 資料 : Adult Diapers Outsell Baby Diapers (1) (大人用のおむつの売り上げ、赤ちゃん用のおむつの売り上げを上回る)	
	【予習】 上記の語彙・表現の一覧表及び新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分

第11回	資料 : Adult Diapers Outsell Baby Diapers (2) (大人用のおむつの売り上げ、赤ちゃん用のおむつの売り上げを上回る)	
	【予習】 上記の語彙・表現の一覧表及び新聞記事に出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第12回	資料 : AED (1) (自動体外式除細動器)	
	【予習】 上記のエッセイに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第13回	資料 : AED (2) (自動体外式除細動器)	
	【予習】 上記のエッセイに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第14回	資料 : Prevention of Cancer: Get our wellness newsletter (1) (癌の予防 : 健康のためのニュース)	
	【予習】 上記のニュースに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 わからなかった単語、表現、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第15回	資料 : Prevention of Cancer: Get our wellness newsletter (2) (癌の予防 : 健康のためのニュース)	
	【予習】 上記のニュースに出てくる単語・表現の意味・発音・用法等について英和辞典で調べておく。また、わからない点を質問のかたちにまとめておく。	40分
	【復習】 最終試験に向けて、第 8 - 15回の授業で扱った会話文、新聞記事、ニュースの復習を行う。	120分

授業科目名	教養演習			科目コード	W591-10				
科目区分	教養科目 - 教養演習		担当教員名	小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	・身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			15	10		100
LO-1			15						15
LO-2						15			15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5							10		10
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）	
	【予習】	0分
	【復習】 本日の過去の教養演習の発表内容を参考にしつつ、自分の発表内容の題材について考える	0分
第2回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解し、自分の研究のテーマを考える	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	新聞の読み方について学び、自分の興味関心のある記事を見つけ出し次回の授業にて発表する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	前回の授業を受けて各自が調査した内容を発表し意見交換を行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、各自テーマを決定する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	グループ毎の振り返りとまとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分